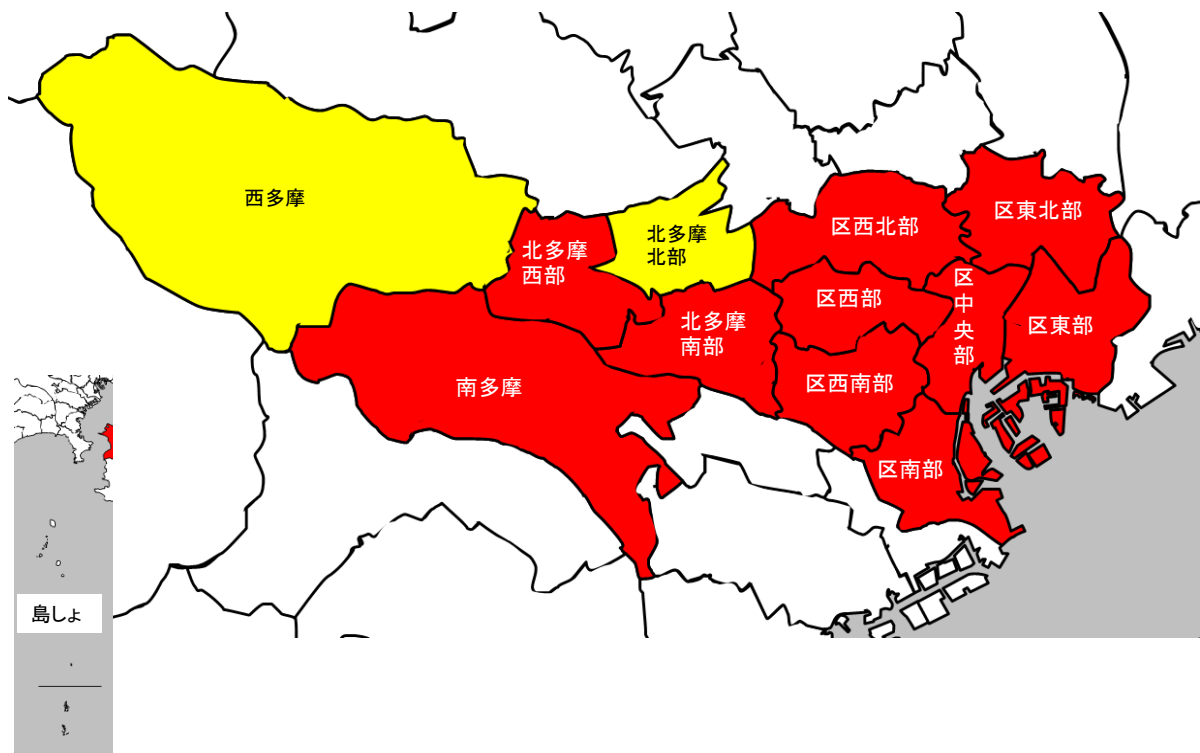


13. 東京都

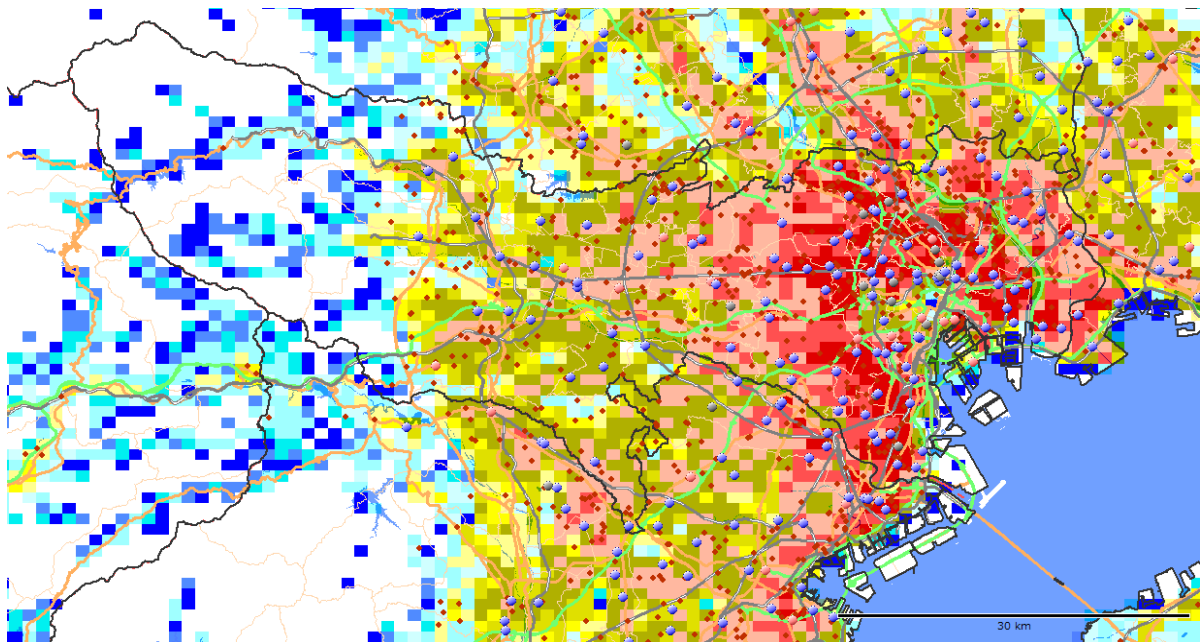


目次

東京都	13	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	13	-	8
1. 区中央部医療圏	13	-	26
2. 区南部医療圏	13	-	31
3. 区西南部医療圏	13	-	36
4. 区西部医療圏	13	-	41
5. 区西北部医療圏	13	-	46
6. 区東北部医療圏	13	-	51
7. 区東部医療圏	13	-	56
8. 西多摩医療圏	13	-	61
9. 南多摩医療圏	13	-	66
10. 北多摩西部医療圏	13	-	71
11. 北多摩南部医療圏	13	-	76
12. 北多摩北部医療圏	13	-	81
13. 島しょ医療圏	13	-	86

13. 東京都

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(東京都) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東京都は、総人口約13,515千人(2015年)、面積2,178km²、人口密度は6,205人/km²である。

*人口の将来予測： 東京都の総人口は2025年に13,846千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に13,759千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の1,469千人が、2025年にかけて1,946千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には2,067千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東京都の一人当たり医療費(国保)は305千円(偏差値40)、介護給付費は251千円(偏差値50)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東京都の一人当たり急性期医療密度指数は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数は0.62で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が57(病院医師数56、診療所医師数62)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東京都の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、135,881人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が71,185床(偏差値40)、高齢者住宅等が64,696床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、91,881人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設36、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム62、軽費ホーム45、グループホーム40、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、19,956人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-30%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

東京都の総人口は、2005年12,576,601人が、2015年に13,515,271人と7%増加し、2025年の人口が13,845,936人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

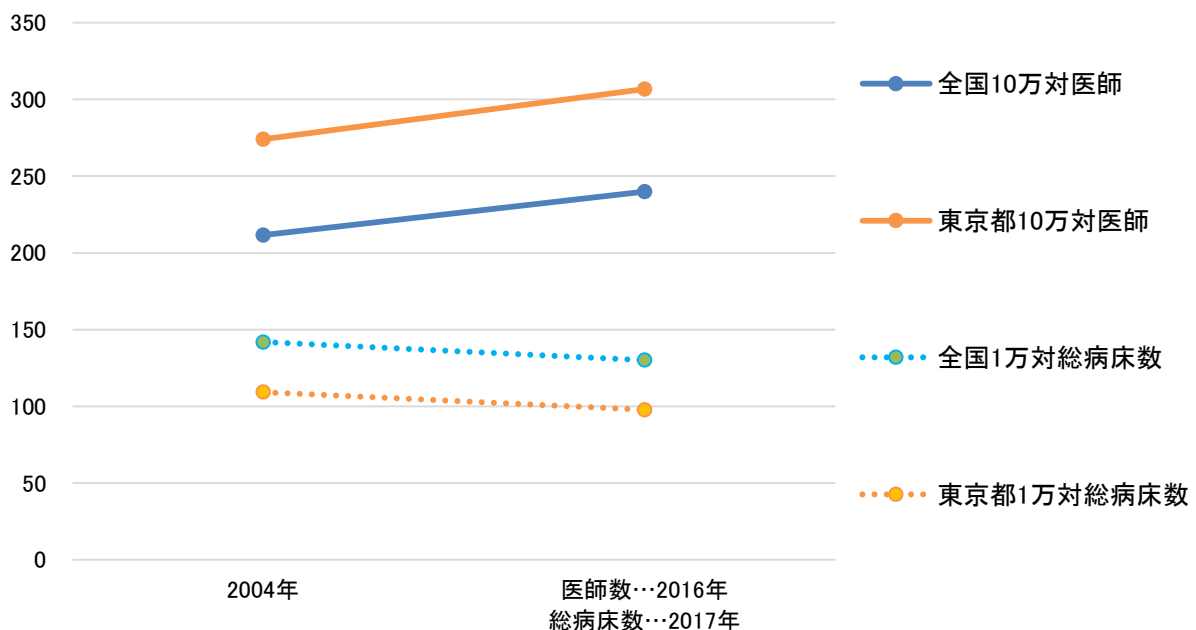
2004年の病院数が665(人口10万人当たり5.3病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2017年に647(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、13年間で18病院が減少した。

2004年の診療所数が12,197(人口10万人当たり97診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2017年に13,257(人口10万人当たり98診療所(全国平均80)偏差値60)と、1,060診療所が増加した。

2004年の総病床数が137,402床(人口1万人当たり109(全国平均142)偏差値44)であったが、2017年に132,077床(人口1万人当たり98(全国平均130)偏差値44)と、5,325床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が34,463人(人口10万人当たり274人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2016年に41,445人(人口10万人当たり307人(全国平均240人)偏差値57)と、6,982人の増加、率にして20%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

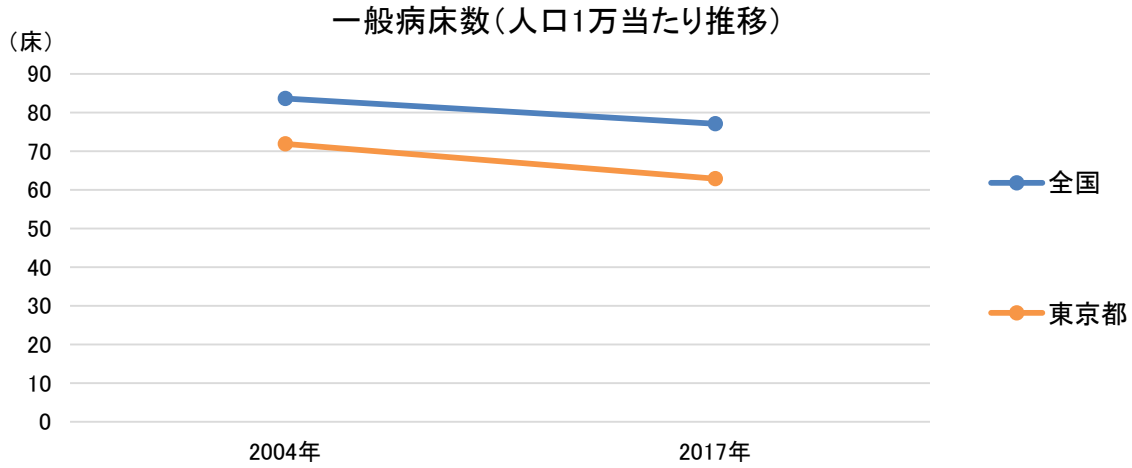
人口当たり医師数・総病床数の推移



13.東京都(2018年版)

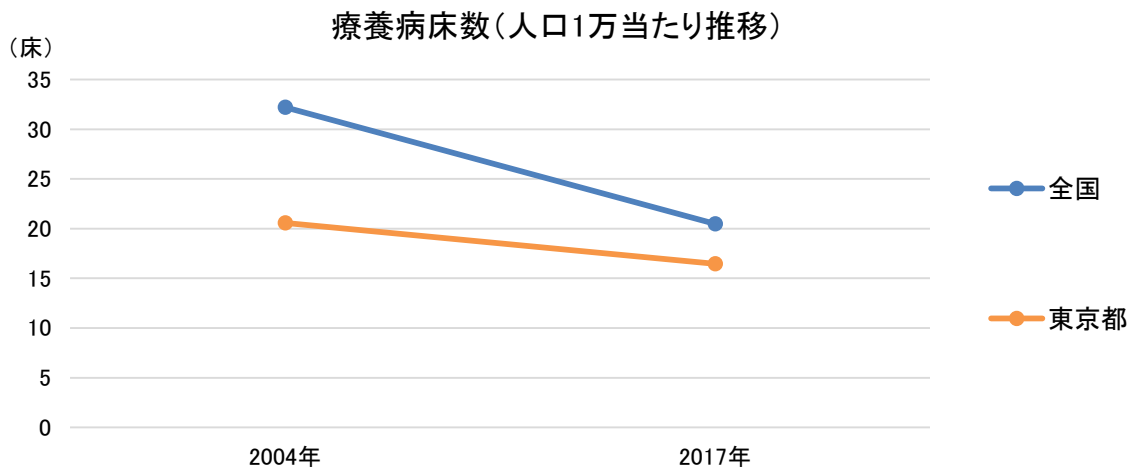
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が90,472床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に84,959床(人口1万人当たり63(全国平均77)偏差値45)と、5,513床の減少、率にして6%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



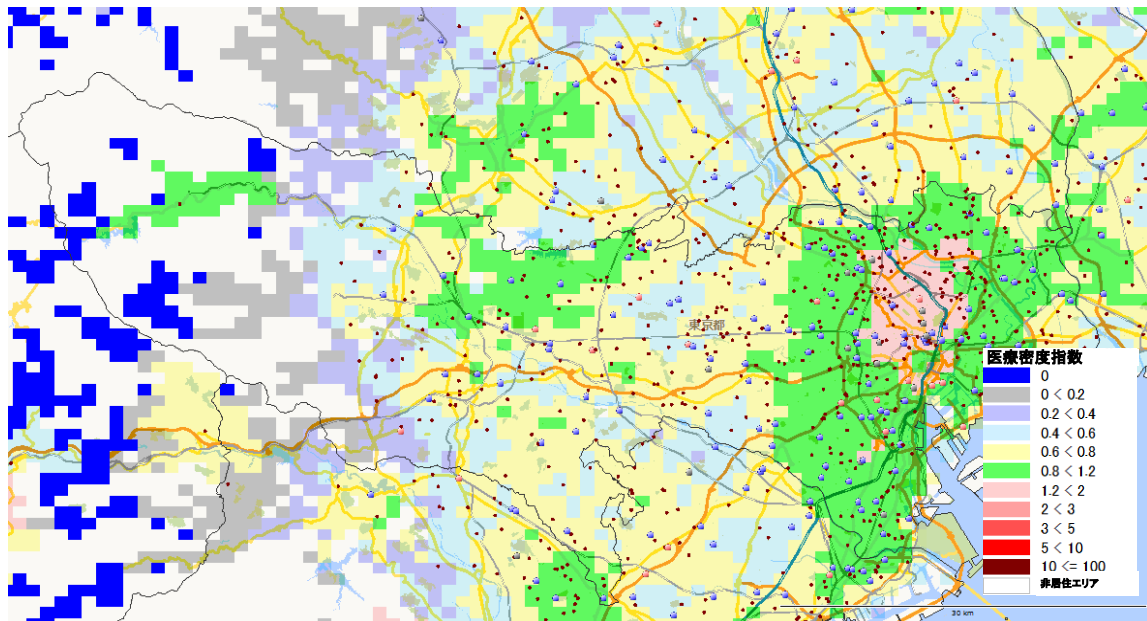
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が20,102床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に24,189床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、4087床の増加、率にして20%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



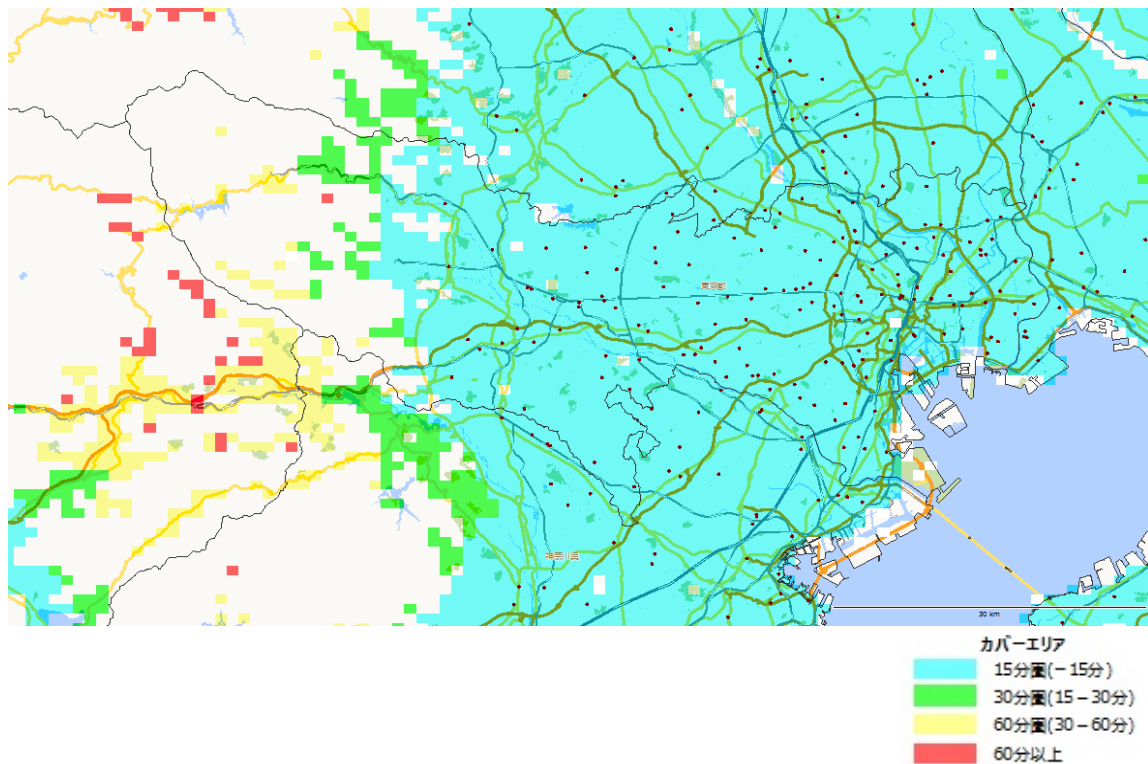
(東京都) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 13-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
東京都	13,515	1位	2,178	45位	6,204.7		23%	13,846	13,759	1,469	1,946	2,067	2%	-1%	32%	6%
区中央部	861	6%	64	3%	13,524.0	大都市型	19%	982	1,067	80	104	119	14%	9%	30%	14%
区南部	1,104	8%	84	4%	13,220.8	大都市型	22%	1,165	1,195	113	147	151	6%	3%	30%	3%
区西南部	1,406	10%	88	4%	16,002.5	大都市型	21%	1,449	1,468	146	191	217	3%	1%	31%	14%
区西部	1,226	9%	68	3%	18,060.6	大都市型	22%	1,255	1,264	130	166	181	2%	1%	28%	9%
区西北部	1,916	14%	114	5%	16,817.8	大都市型	23%	2,002	2,044	215	288	318	4%	2%	34%	10%
区東北部	1,325	10%	98	5%	13,494.5	大都市型	25%	1,299	1,240	157	191	178	-2%	-5%	22%	-7%
区東部	1,436	11%	104	5%	13,827.2	大都市型	21%	1,480	1,482	139	179	175	3%	0%	29%	-2%
西多摩	391	3%	573	26%	682.6	地方都市型	28%	365	314	51	71	72	-7%	-14%	39%	1%
南多摩	1,430	11%	325	15%	4,405.2	大都市型	25%	1,412	1,307	163	245	257	-1%	-7%	50%	5%
北多摩西部	641	5%	90	4%	7,114.0	大都市型	24%	640	616	72	98	105	0%	-4%	36%	7%
北多摩南部	1,023	8%	96	4%	10,641.5	大都市型	21%	1,046	1,037	107	143	163	2%	-1%	34%	14%
北多摩北部	731	5%	77	4%	9,560.4	大都市型	25%	728	708	90	118	128	0%	-3%	31%	8%
島しょ	26	0%	399	18%	66.3	過疎地域型	33%	23	18	4	5	4	-12%	-22%	25%	-20%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資_図表 13-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
東京都	0.91	0.62	124,185	160,927	-29.6%
区中央部	1.19	0.45	5,430	8,168	-50.4%
区南部	1.05	0.36	8,131	12,275	-51.0%
区西南部	1.06	0.43	10,111	15,033	-48.7%
区西部	1.00	0.57	8,250	15,001	-81.8%
区西北部	0.96	0.66	17,417	24,725	-42.0%
区東北部	1.05	0.54	13,084	16,051	-22.7%
区東部	0.87	0.31	10,576	14,355	-35.7%
西多摩	0.69	1.84	9,775	5,398	44.8%
南多摩	0.70	1.01	17,089	19,599	-14.7%
北多摩西部	0.75	0.77	6,353	8,259	-30.0%
北多摩南部	0.71	0.53	9,454	12,089	-27.9%
北多摩北部	0.69	0.81	8,187	9,565	-16.8%
島しょ	0.18	0.37	328	409	-24.8%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日経総研WP no.375))
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 13-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
東京都	305	40	0.979	106	41	0.894	174	42	1.030	251	50
区中央部	284	36	0.957	94	37	0.823	165	37	1.032	278	57
区南部	333	47	1.018	117	44	0.923	190	51	1.074	254	50
区西南部	282	35	0.934	92	36	0.792	164	36	1.009	283	59
区西部	267	32	0.930	88	35	0.799	155	31	1.003	270	55
区西北部	298	39	0.975	106	41	0.900	169	39	1.020	260	52
区東北部	313	42	0.991	107	41	0.879	183	47	1.069	264	53
区東部	319	44	1.006	109	42	0.894	186	48	1.080	229	43
西多摩	318	43	0.928	120	45	0.909	174	42	0.935	206	37
南多摩	325	45	0.946	116	44	0.880	184	47	0.984	219	40
北多摩西部	312	42	0.936	113	43	0.882	173	41	0.958	231	44
北多摩南部	304	40	0.937	106	41	0.846	173	41	0.987	251	50
北多摩北部	318	43	0.956	115	44	0.900	178	44	0.985	245	48
島しょ	322	44	0.945	147	54	1.113	155	31	0.838	257	51
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 13-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000	
東京都	903	49	1.007	415	46	0.933	447	55	1.072	
区中央部	950	53	1.052	436	48	0.961	474	62	1.141	
区南部	969	54	1.078	450	49	1.002	478	63	1.149	
区西南部	943	52	1.039	425	47	0.927	477	63	1.147	
区西部	947	52	1.044	443	48	0.965	462	59	1.112	
区西北部	932	51	1.038	439	48	0.980	454	57	1.091	
区東北部	924	50	1.041	414	45	0.951	471	61	1.128	
区東部	890	48	1.007	391	43	0.903	461	59	1.105	
西多摩	785	39	0.881	386	43	0.871	358	32	0.863	
南多摩	839	43	0.949	388	43	0.894	410	46	0.986	
北多摩西部	852	44	0.960	405	45	0.924	405	44	0.974	
北多摩南部	867	46	0.964	387	43	0.860	439	53	1.055	
北多摩北部	843	44	0.946	396	44	0.897	406	45	0.975	
島しょ	724	34	0.793	363	40	0.781	337	27	0.810	
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省									

13.東京都(2018年版)

資_図表 13-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
東京都	647	7.7%	4.8	46	13,257	13.1%	98	60
区中央部	49	8%	5.7	48	2,276	17%	264	148
区南部	44	7%	4.0	44	1,040	8%	94	58
区西南部	52	8%	3.7	44	1,758	13%	125	74
区西部	43	7%	3.5	43	1,421	11%	116	69
区西北部	94	15%	4.9	46	1,665	13%	87	54
区東北部	91	14%	6.9	51	963	7%	73	46
区東部	54	8%	3.8	44	1,058	8%	74	47
西多摩	30	5%	7.7	52	243	2%	62	41
南多摩	78	12%	5.5	47	979	7%	68	44
北多摩西部	25	4%	3.9	44	502	4%	78	49
北多摩南部	45	7%	4.4	45	858	6%	84	52
北多摩北部	41	6%	5.6	48	474	4%	65	42
島しょ	1	0%	3.8	44	20	0%	75	48
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 13-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
東京都	13,257	13.1%	98	60	12,902	13.7%	95	61	355	4.9%	2.6	45
区中央部	2,276	17%	264	148	2,246	17%	261	150	30	8%	3.5	46
区南部	1,040	8%	94	58	1,017	8%	92	60	23	6%	2.1	44
区西南部	1,758	13%	125	74	1,719	13%	122	76	39	11%	2.8	45
区西部	1,421	11%	116	69	1,382	11%	113	71	39	11%	3.2	46
区西北部	1,665	13%	87	54	1,614	13%	84	55	51	14%	2.7	45
区東北部	963	7%	73	46	923	7%	70	48	40	11%	3.0	46
区東部	1,058	8%	74	47	1,024	8%	71	48	34	10%	2.4	44
西多摩	243	2%	62	41	228	2%	58	42	15	4%	3.8	47
南多摩	979	7%	68	44	946	7%	66	46	33	9%	2.3	44
北多摩西部	502	4%	78	49	487	4%	76	51	15	4%	2.3	44
北多摩南部	858	6%	84	52	842	7%	82	54	16	5%	1.6	43
北多摩北部	474	4%	65	42	463	4%	63	44	11	3%	1.5	43
島しょ	20	0%	75	48	11	0%	42	33	9	3%	34.0	98
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 13-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(481)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(537)
東京都	128,279	8.3%	949	44	3,798	3.9%	28	45	132,077	8.0%	977	44
区中央部	13,600	11%	1,580	57	283	7%	33	45	13,883	11%	1,613	56
区南部	8,155	6%	739	40	226	6%	20	44	8,381	6%	759	40
区西南部	11,114	9%	791	41	388	10%	28	45	11,502	9%	818	41
区西部	10,693	8%	872	43	302	8%	25	44	10,995	8%	897	42
区西北部	17,197	13%	898	43	514	14%	27	45	17,711	13%	924	43
区東北部	10,889	8%	822	42	535	14%	40	46	11,424	9%	862	42
区東部	8,512	7%	593	37	443	12%	31	45	8,955	7%	624	37
西多摩	6,689	5%	1,711	60	165	4%	42	46	6,854	5%	1,753	58
南多摩	17,472	14%	1,221	50	388	10%	27	45	17,860	14%	1,249	49
北多摩西部	4,381	3%	684	39	170	4%	27	45	4,551	3%	710	39
北多摩南部	10,992	9%	1,075	47	176	5%	17	44	11,168	8%	1,092	46
北多摩北部	8,531	7%	1,166	49	144	4%	20	44	8,675	7%	1,186	48
島しょ	54	0%	204	29	64	2%	242	67	118	0%	445	34
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 13-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
東京都	81,280	9.1%	601	46	24,070	7.4%	178	46	22,279	6.7%	165	45
区中央部	12,679	16%	1,473	85	585	2%	68	41	298	1%	35	39
区南部	6,197	8%	561	44	1,760	7%	159	45	178	1%	16	38
区西南部	7,733	10%	550	43	2,042	8%	145	45	1,307	6%	93	42
区西部	8,888	11%	725	51	1,446	6%	118	43	315	1%	26	39
区西北部	10,056	12%	525	42	3,947	16%	206	48	3,162	14%	165	45
区東北部	7,082	9%	534	43	2,317	10%	175	46	1,449	7%	109	43
区東部	6,882	8%	479	40	1,405	6%	98	42	165	1%	11	38
西多摩	1,833	2%	469	40	2,237	9%	572	66	2,615	12%	669	69
南多摩	6,211	8%	434	38	4,078	17%	285	51	7,141	32%	499	61
北多摩西部	3,257	4%	508	41	1,080	4%	169	46	38	0%	6	38
北多摩南部	6,066	7%	593	45	1,392	6%	136	44	3,427	15%	335	54
北多摩北部	4,344	5%	594	45	1,781	7%	243	49	2,184	10%	299	52
島しょ	52	0%	196	27	0	0%	0	37	0	0%	0	38
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

13.東京都(2018年版)

資_図表 13-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
東京都	6,771	8.4%	50	47	4,230	5.7%	31	46
区中央部	239	4%	28	42	316	7%	37	47
区南部	632	9%	57	49	342	8%	31	46
区西南部	853	13%	61	49	634	15%	45	48
区西部	700	10%	57	49	304	7%	25	45
区西北部	1,289	19%	67	51	472	11%	25	45
区東北部	842	12%	64	50	367	9%	28	45
区東部	336	5%	23	41	436	10%	30	46
西多摩	173	3%	44	46	200	5%	51	49
南多摩	531	8%	37	44	503	12%	35	46
北多摩西部	287	4%	45	46	286	7%	45	48
北多摩南部	507	7%	50	47	235	6%	23	44
北多摩北部	382	6%	52	48	127	3%	17	43
島しょ	0	0%	0	36	8	0%	30	46
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 13-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
東京都	25,824	23,569	118	102,263	58,628	22,953	28.7%	44	0.5%	48
区中央部	6,056	5,843	80	7,511	6,854	453	46.0%	51	15.0%	54
区南部	978	978	0	7,325	5,246	1,749	15.7%	39	0.0%	48
区西南部	4,991	4,007	38	5,812	3,606	1,885	52.6%	53	2.0%	49
区西部	1,719	1,637	0	8,834	7,182	1,390	18.6%	40	0.0%	48
区西北部	1,178	1,148	0	15,976	9,022	3,865	11.3%	38	0.0%	48
区東北部	168	151	0	10,611	6,882	2,273	2.1%	34	0.0%	48
区東部	1,689	1,643	0	6,723	5,167	1,377	24.1%	42	0.0%	48
西多摩	1,231	1,177	0	5,458	1,051	1,842	52.8%	53	0.0%	48
南多摩	1,360	1,207	0	16,022	5,097	3,947	19.1%	40	0.0%	48
北多摩西部	1,336	1,292	0	3,042	1,948	1,094	39.9%	48	0.0%	48
北多摩南部	2,607	2,289	0	8,474	3,896	1,338	37.0%	47	0.0%	48
北多摩北部	2,459	2,145	0	6,475	2,677	1,740	44.5%	50	0.0%	48
島しょ	52	52	0	0	0	0	100.0%	71		
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 13-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
東京都	348,720	8.8%	2,580	48	96,708	10.5%	716	50
区中央部	144,420	41%	16,780	103	11,412	12%	1,326	73
区南部	22,344	6%	2,024	46	5,688	6%	515	42
区西南部	26,232	8%	1,866	45	11,184	12%	796	53
区西部	31,644	9%	2,582	48	9,420	10%	768	52
区西北部	23,916	7%	1,248	43	12,192	13%	636	47
区東北部	13,260	4%	1,001	42	7,668	8%	579	44
区東部	23,988	7%	1,671	44	10,500	11%	731	50
西多摩	3,804	1%	973	42	2,340	2%	599	45
南多摩	20,400	6%	1,426	43	7,944	8%	555	44
北多摩西部	10,080	3%	1,573	44	8,952	9%	1,397	75
北多摩南部	22,428	6%	2,193	46	6,912	7%	676	48
北多摩北部	6,204	2%	848	41	2,472	3%	338	35
島しょ	0	0%	0	38	24	0%	91	26
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 13-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
東京都	41,445	13.6%	307	57	26,914	13.3%	199	56	14,531	14.2%	108	62
区中央部	10,106	24%	1,174	154	7,465	28%	867	148	2,641	18%	307	147
区南部	3,140	8%	284	55	2,075	8%	188	54	1,065	7%	96	57
区西南部	4,351	10%	310	58	2,429	9%	173	52	1,922	13%	137	74
区西部	5,722	14%	467	75	3,959	15%	323	73	1,763	12%	144	77
区西北部	4,730	11%	247	51	2,959	11%	154	49	1,771	12%	92	55
区東北部	2,173	5%	164	42	1,104	4%	83	39	1,069	7%	81	50
区東部	2,741	7%	191	45	1,601	6%	112	43	1,140	8%	79	49
西多摩	638	2%	163	41	417	2%	107	43	221	2%	57	40
南多摩	2,441	6%	171	42	1,396	5%	98	41	1,045	7%	73	47
北多摩西部	1,143	3%	178	43	612	2%	96	41	531	4%	83	51
北多摩南部	2,983	7%	292	56	2,089	8%	204	56	894	6%	87	53
北多摩北部	1,249	3%	171	42	802	3%	110	43	447	3%	61	42
島しょ	28	0%	106	35	6	0%	23	31	22	0%	83	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

13.東京都(2018年版)

資_図表 13-13 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
東京都	3,420	15.2%	25.3	58	1,989	14.7%	14.7	59	1,684	15.0%	12.5	59
区中央部	972	28%	112.9	154	336	17%	39.0	110	432	26%	50.2	153
区南部	244	7%	22.1	55	131	7%	11.9	53	112	7%	10.1	53
区西南部	335	10%	23.8	57	293	15%	20.8	71	213	13%	15.2	66
区西部	501	15%	40.9	75	236	12%	19.3	68	254	15%	20.7	79
区西北部	326	10%	17.0	49	226	11%	11.8	52	176	10%	9.2	51
区東北部	164	5%	12.4	44	124	6%	9.4	47	81	5%	6.1	43
区東部	203	6%	14.1	46	149	7%	10.4	49	117	7%	8.1	48
西多摩	58	2%	14.8	47	24	1%	6.1	40	20	1%	5.1	41
南多摩	187	5%	13.1	45	122	6%	8.5	46	96	6%	6.7	45
北多摩西部	82	2%	12.8	45	77	4%	12.0	53	46	3%	7.2	46
北多摩南部	249	7%	24.3	57	187	9%	18.3	66	108	6%	10.6	54
北多摩北部	99	3%	13.5	45	83	4%	11.3	51	28	2%	3.8	38
島しょ	0	0%	0	31	1	0%	3.8	36	1	0%	3.8	37
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 13-14 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
東京都	892	15.9%	6.6	60	1,462	14.9%	10.8	59	1,083	14.1%	8.0	57
区中央部	192	22%	22.3	133	303	21%	35.2	134	223	21%	25.9	125
区南部	85	10%	7.7	65	111	8%	10.1	57	91	8%	8.2	58
区西南部	116	13%	8.3	68	171	12%	12.2	64	127	12%	9.0	61
区西部	132	15%	10.8	79	211	14%	17.2	79	142	13%	11.6	71
区西北部	96	11%	5.0	53	177	12%	9.2	55	137	13%	7.2	54
区東北部	48	5%	3.6	46	103	7%	7.8	50	78	7%	5.9	49
区東部	56	6%	3.9	48	109	7%	7.6	50	90	8%	6.3	51
西多摩	7	1%	1.8	38	16	1%	4.1	39	11	1%	2.8	38
南多摩	56	6%	3.9	48	74	5%	5.2	42	58	5%	4.1	42
北多摩西部	27	3%	4.2	49	46	3%	7.2	48	22	2%	3.4	40
北多摩南部	55	6%	5.4	54	99	7%	9.7	56	71	7%	6.9	53
北多摩北部	22	2%	3.0	44	42	3%	5.7	44	33	3%	4.5	44
島しょ	0	0%	0	30	0	0%	0	26	0	0%	0	27
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 13-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
東京都	1,295	14.1%	9.6	57	2,756	13.0%	20.4	55	1,786	10.8%	13.2	51
区中央部	260	20%	30.2	117	803	29%	93.3	158	304	17%	35.3	98
区南部	52	4%	4.7	43	196	7%	17.8	52	167	9%	15.1	55
区西南部	170	13%	12.1	64	241	9%	17.1	51	202	11%	14.4	53
区西部	141	11%	11.5	62	361	13%	29.5	68	199	11%	16.2	57
区西北部	170	13%	8.9	55	272	10%	14.2	47	226	13%	11.8	48
区東北部	70	5%	5.3	44	166	6%	12.5	44	149	8%	11.2	46
区東部	55	4%	3.8	40	209	8%	14.6	47	156	9%	10.9	46
西多摩	33	3%	8.4	54	35	1%	9.0	39	26	1%	6.7	36
南多摩	137	11%	9.6	57	150	5%	10.5	41	117	7%	8.2	40
北多摩西部	26	2%	4.1	41	79	3%	12.3	44	66	4%	10.3	44
北多摩南部	118	9%	11.5	63	161	6%	15.7	49	120	7%	11.7	47
北多摩北部	63	5%	8.6	54	79	3%	10.8	42	54	3%	7.4	38
島しょ	0	0%	0	29	4	0%	15.1	48	0	0%	0	22
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 13-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
東京都	652	10.9%	4.8	50	828	12.2%	6.1	53	769	13.5%	5.7	54
区中央部	140	21%	16.3	105	188	23%	21.8	120	256	33%	29.7	133
区南部	62	10%	5.6	54	71	9%	6.4	55	53	7%	4.8	51
区西南部	57	9%	4.1	47	83	10%	5.9	52	65	8%	4.6	50
区西部	98	15%	8.0	66	108	13%	8.8	65	122	16%	10.0	68
区西北部	81	12%	4.2	48	88	11%	4.6	47	73	9%	3.8	48
区東北部	25	4%	1.9	37	37	4%	2.8	39	23	3%	1.7	41
区東部	48	7%	3.3	43	54	7%	3.8	43	51	7%	3.6	47
西多摩	16	2%	4.1	47	13	2%	3.3	42	9	1%	2.3	43
南多摩	39	6%	2.7	41	71	9%	5.0	48	31	4%	2.2	42
北多摩西部	28	4%	4.4	48	27	3%	4.2	45	17	2%	2.7	44
北多摩南部	40	6%	3.9	46	63	8%	6.2	54	48	6%	4.7	51
北多摩北部	18	3%	2.5	39	25	3%	3.4	42	21	3%	2.9	45
島しょ	0	0%	0	28	0	0%	0	27	0	0%	0	35
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

13.東京都(2018年版)

資_図表 13-17 専門医数 (麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
東京都	964	13.6%	7.1	55	248	15.5%	1.8	56	526	13.9%	3.9	55
区中央部	276	29%	32.1	130	93	38%	10.8	147	117	22%	13.6	105
区南部	86	9%	7.8	57	17	7%	1.5	53	24	5%	2.2	46
区西南部	96	10%	6.8	54	22	9%	1.6	53	46	9%	3.3	51
区西部	134	14%	10.9	66	28	11%	2.3	60	61	12%	5.0	60
区西北部	91	9%	4.7	47	26	10%	1.4	51	63	12%	3.3	52
区東北部	39	4%	2.9	42	6	2%	0.5	42	26	5%	2.0	45
区東部	76	8%	5.3	49	16	6%	1.1	49	43	8%	3.0	50
西多摩	17	2%	4.3	46	5	2%	1.3	50	9	2%	2.3	46
南多摩	34	4%	2.4	40	12	5%	0.8	46	50	10%	3.5	53
北多摩西部	20	2%	3.1	42	9	4%	1.4	51	25	5%	3.9	55
北多摩南部	73	8%	7.1	55	8	3%	0.8	45	48	9%	4.7	59
北多摩北部	22	2%	3.0	42	6	2%	0.8	46	13	2%	1.8	44
島しょ	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	0%	3.8	54
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 13-18 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテ ーション科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
東京都	415	19.4%	3.1	61	255	10.1%	1.9	49
区中央部	137	33%	15.9	163	38	15%	4.4	67
区南部	30	7%	2.7	58	25	10%	2.3	52
区西南部	58	14%	4.1	69	35	14%	2.5	54
区西部	56	13%	4.6	73	34	13%	2.8	56
区西北部	40	10%	2.1	53	28	11%	1.5	46
区東北部	15	4%	1.1	46	10	4%	0.8	41
区東部	20	5%	1.4	48	18	7%	1.3	45
西多摩	2	0%	0.5	41	3	1%	0.8	41
南多摩	12	3%	0.8	43	15	6%	1.0	43
北多摩西部	9	2%	1.4	48	16	6%	2.5	54
北多摩南部	29	7%	2.8	59	19	7%	1.9	49
北多摩北部	7	2%	1.0	44	14	5%	1.9	50
島しょ	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 13-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
東京都	97,703	8.5%	723	44	78,458	8.5%	581	44	19,245	8.5%	142	45
区中央部	15,937	16%	1,852	83	12,142	15%	1,411	78	3,795	20%	441	87
区南部	7,242	7%	656	41	6,035	8%	547	43	1,207	6%	109	40
区西南部	9,025	9%	642	41	6,954	9%	495	41	2,071	11%	147	46
区西部	10,313	11%	841	48	8,236	10%	672	48	2,077	11%	169	49
区西北部	12,272	13%	641	41	10,006	13%	522	42	2,266	12%	118	42
区東北部	7,260	7%	548	38	5,664	7%	427	38	1,595	8%	120	42
区東部	7,896	8%	550	38	6,283	8%	438	38	1,613	8%	112	41
西多摩	2,793	3%	715	44	2,434	3%	623	46	359	2%	92	38
南多摩	8,765	9%	613	40	7,296	9%	510	41	1,468	8%	103	39
北多摩西部	3,897	4%	608	40	3,000	4%	468	39	897	5%	140	45
北多摩南部	7,680	8%	751	45	6,544	8%	640	47	1,136	6%	111	41
北多摩北部	4,499	5%	615	40	3,841	5%	525	42	658	3%	90	38
島しょ	125	0%	472	35	23	0%	86	24	102	1%	386	79
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 13-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
東京都	10,849	7.8%	80	45	48,813	16.2%	361	63
区中央部	666	6%	77	44	14,546	30%	1,690	199
区南部	868	8%	79	45	3,624	7%	328	59
区西南部	1,101	10%	78	45	4,351	9%	310	57
区西部	1,009	9%	82	45	4,846	10%	395	66
区西北部	1,765	16%	92	47	5,332	11%	278	54
区東北部	1,147	11%	87	46	2,671	5%	202	46
区東部	906	8%	63	42	3,107	6%	216	48
西多摩	363	3%	93	47	656	1%	168	43
南多摩	1,134	10%	79	45	3,489	7%	244	51
北多摩西部	493	5%	77	44	1,552	3%	242	51
北多摩南部	768	7%	75	44	2,831	6%	277	54
北多摩北部	627	6%	86	46	1,780	4%	243	51
島しょ	2	0%	8	32	28	0%	106	37
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 13-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
東京都	1,477	10.4%	1.0	53	115	8.3%	0.1	49	1,007	9.2%	0.7	51
区中央部	162	11%	2.0	76	5	4%	0.1	47	79	8%	1.0	64
区南部	133	9%	1.2	57	6	5%	0.1	45	77	8%	0.7	50
区西南部	205	14%	1.4	62	7	6%	0.0	45	123	12%	0.8	58
区西部	170	12%	1.3	60	6	5%	0.0	44	93	9%	0.7	52
区西北部	236	16%	1.1	55	19	17%	0.1	51	131	13%	0.6	47
区東北部	127	9%	0.8	49	26	23%	0.2	62	103	10%	0.7	49
区東部	129	9%	0.9	51	8	7%	0.1	46	98	10%	0.7	51
西多摩	17	1%	0.3	38	5	4%	0.1	52	30	3%	0.6	46
南多摩	101	7%	0.6	44	14	12%	0.1	50	86	9%	0.5	43
北多摩西部	45	3%	0.6	44	6	5%	0.1	50	50	5%	0.7	51
北多摩南部	85	6%	0.8	48	7	6%	0.1	47	78	8%	0.7	52
北多摩北部	64	4%	0.7	46	6	5%	0.1	47	57	6%	0.6	48
島しょ	3	0%	0.7	46	0	0%	0	38	2	0%	0.5	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 13-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
東京都	135,881	8.0%	93	43	71,185	7.1%	48	40	64,696	9.3%	44	51
区中央部	5,812	4%	72	31	3,254	5%	41	33	2,558	4%	32	43
区南部	8,667	6%	77	34	3,706	5%	33	27	4,961	8%	44	51
区西南部	11,259	8%	77	34	3,979	6%	27	22	7,280	11%	50	55
区西部	8,715	6%	67	28	3,752	5%	29	24	4,963	8%	38	47
区西北部	19,083	14%	89	41	9,653	14%	45	37	9,430	15%	44	51
区東北部	15,386	11%	98	47	8,314	12%	53	43	7,072	11%	45	52
区東部	10,945	8%	79	35	5,873	8%	42	35	5,072	8%	36	46
西多摩	9,983	7%	196	105	8,895	12%	175	142	1,088	2%	21	36
南多摩	18,890	14%	116	57	9,665	14%	59	48	9,225	14%	56	59
北多摩西部	7,206	5%	100	48	4,219	6%	59	48	2,987	5%	42	49
北多摩南部	10,319	8%	96	45	4,315	6%	40	33	6,004	9%	56	59
北多摩北部	9,258	7%	102	49	5,241	7%	58	47	4,017	6%	44	51
島しょ	358	0%	83	38	319	0%	74	60	39	0%	9	29
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 13-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
東京都	21,021	5.7%	14	36	45,339	7.9%	31	46	4,825	8.1%	3.3	49
区中央部	889	4%	11	31	2,318	5%	29	44	47	1%	0.6	42
区南部	786	4%	7	24	2,527	6%	22	37	393	8%	3.5	50
区西南部	1,115	5%	8	25	2,614	6%	18	33	250	5%	1.7	45
区西部	868	4%	7	23	2,723	6%	21	36	161	3%	1.2	44
区西北部	3,266	16%	15	38	5,578	12%	26	41	809	17%	3.8	50
区東北部	3,115	15%	20	46	4,873	11%	31	46	326	7%	2.1	46
区東部	2,328	11%	17	40	3,359	7%	24	39	186	4%	1.3	44
西多摩	1,415	7%	28	59	6,680	15%	131	147	800	17%	15.7	80
南多摩	2,641	13%	16	39	5,909	13%	36	51	1,115	23%	6.8	58
北多摩西部	1,532	7%	21	48	2,627	6%	37	51	60	1%	0.8	43
北多摩南部	1,597	8%	15	37	2,409	5%	22	37	309	6%	2.9	48
北多摩北部	1,469	7%	16	39	3,403	8%	38	52	369	8%	4.1	51
島しょ	0	0%	0	12	319	1%	74	89	0	0%	0	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 13-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
東京都	40,806	17.2%	27.8	62	660	2.8%	0.4	45	9,867	4.9%	6.7	40
区中央部	1,612	4%	20.1	55	118	18%	1.5	50	446	5%	5.6	38
区南部	3,138	8%	27.7	62	110	17%	1.0	48	936	9%	8.3	43
区西南部	4,936	12%	33.7	68	0	0%	0	43	983	10%	6.7	40
区西部	3,429	8%	26.3	61	170	26%	1.3	49	899	9%	6.9	41
区西北部	6,084	15%	28.3	63	0	0%	0	43	1,332	13%	6.2	39
区東北部	3,434	8%	21.9	57	60	9%	0.4	45	1,276	13%	8.1	43
区東部	3,427	8%	24.6	59	118	18%	0.8	47	1,158	12%	8.3	43
西多摩	551	1%	10.8	47	0	0%	0	43	180	2%	3.5	35
南多摩	6,261	15%	38.3	72	30	5%	0.2	44	950	10%	5.8	39
北多摩西部	1,476	4%	20.5	56	14	2%	0.2	44	456	5%	6.3	40
北多摩南部	4,339	11%	40.5	74	40	6%	0.4	45	640	6%	6.0	39
北多摩北部	2,119	5%	23.5	58	0	0%	0	43	602	6%	6.7	40
島しょ	0	0%	0	37	0	0%	0	43	9	0%	2.1	32
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 13-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
東京都	13,363	5.8%	9.1	43	1,667	7.5%	1.1	49	11,696	5.6%	8.0	43
区中央部	382	3%	4.8	36	0	0%	0	43	382	3%	4.8	38
区南部	777	6%	6.9	39	241	14%	2.1	54	536	5%	4.7	38
区西南部	1,361	10%	9.3	43	213	13%	1.5	51	1,148	10%	7.8	43
区西部	465	3%	3.6	35	0	0%	0	43	465	4%	3.6	36
区西北部	2,014	15%	9.4	43	348	21%	1.6	51	1,666	14%	7.8	42
区東北部	2,302	17%	14.7	51	0	0%	0	43	2,302	20%	14.7	53
区東部	369	3%	2.7	33	0	0%	0	43	369	3%	2.7	35
西多摩	357	3%	7.0	40	149	9%	2.9	59	208	2%	4.1	37
南多摩	1,984	15%	12.1	47	183	11%	1.1	49	1,801	15%	11.0	47
北多摩西部	1,041	8%	14.5	50	188	11%	2.6	57	853	7%	11.9	49
北多摩南部	985	7%	9.2	43	120	7%	1.1	49	865	7%	8.1	43
北多摩北部	1,296	10%	14.3	50	225	13%	2.5	56	1,071	9%	11.9	49
島しょ	30	0%	7.0	40	0	0%	0	43	30	0%	7.0	41
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 13-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
東京都	13,921	8.1%	9.5	45	8,758	7.3%	6.0	43	5,163	10.0%	3.5	53
区中央部	729	5%	9.1	44	376	4%	4.7	37	353	7%	4.4	61
区南部	918	7%	8.1	39	528	6%	4.7	36	390	8%	3.4	53
区西南部	1,499	11%	10.2	49	779	9%	5.3	40	720	14%	4.9	66
区西部	994	7%	7.6	37	524	6%	4.0	33	471	9%	3.6	54
区西北部	2,037	15%	9.5	45	1,346	15%	6.3	44	691	13%	3.2	51
区東北部	1,363	10%	8.7	42	836	10%	5.3	40	527	10%	3.4	52
区東部	1,187	9%	8.5	41	687	8%	4.9	38	500	10%	3.6	54
西多摩	829	6%	16.3	75	681	8%	13.4	80	148	3%	2.9	48
南多摩	1,670	12%	10.2	49	1,242	14%	7.6	51	427	8%	2.6	45
北多摩西部	677	5%	9.4	45	411	5%	5.7	42	265	5%	3.7	55
北多摩南部	1,054	8%	9.8	47	678	8%	6.3	45	377	7%	3.5	53
北多摩北部	937	7%	10.4	49	645	7%	7.1	49	292	6%	3.2	51
島しょ	28	0%	6.5	32	25	0%	5.8	42	3	0%	0.7	27
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 13-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
東京都	111,837	7.4%	76	37	91,881	7.1%	63	35	19,956	9.0%	13.6	50
区中央部	5,487	5%	68	31	4,195	5%	52	26	1,292	6%	16.1	54
区南部	7,014	6%	62	25	5,708	6%	50	25	1,306	7%	11.5	46
区西南部	9,476	8%	65	28	7,334	8%	50	24	2,142	11%	14.6	52
区西部	8,465	8%	65	28	6,654	7%	51	25	1,810	9%	13.9	51
区西北部	16,684	15%	78	38	13,224	14%	62	35	3,459	17%	16.1	55
区東北部	13,452	12%	86	45	10,822	12%	69	41	2,630	13%	16.8	56
区東部	9,849	9%	71	33	7,999	9%	57	31	1,850	9%	13.3	49
西多摩	7,210	6%	142	90	6,878	7%	135	101	332	2%	6.5	37
南多摩	13,388	12%	82	42	11,666	13%	71	43	1,723	9%	10.5	45
北多摩西部	5,589	5%	78	38	4,662	5%	65	37	927	5%	12.9	49
北多摩南部	7,954	7%	74	35	6,549	7%	61	34	1,405	7%	13.1	49
北多摩北部	6,972	6%	77	38	5,935	6%	66	38	1,037	5%	11.5	46
島しょ	296	0%	69	31	254	0%	59	32	42	0%	9.8	43
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 13-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
東京都	168,121	13.7%	114	61	68,716	13.4%	47	62	137,620	11.3%	94	57
区中央部	11,719	7%	146	70	4,758	7%	59	71	8,457	6%	105	62
区南部	14,033	8%	124	64	6,026	9%	53	67	9,257	7%	82	53
区西南部	22,433	13%	153	72	10,216	15%	70	79	15,493	11%	106	62
区西部	13,188	8%	101	57	7,029	10%	54	67	13,332	10%	102	60
区西北部	25,030	15%	117	62	8,173	12%	38	55	21,757	16%	101	60
区東北部	27,600	16%	176	79	5,935	9%	38	55	17,811	13%	114	65
区東部	12,325	7%	89	54	6,064	9%	44	59	12,965	9%	93	57
西多摩	1,872	1%	37	39	1,340	2%	26	46	2,033	1%	40	37
南多摩	16,112	10%	99	57	6,348	9%	39	56	12,439	9%	76	51
北多摩西部	7,216	4%	100	57	3,720	5%	52	66	5,864	4%	82	53
北多摩南部	8,839	5%	82	52	4,834	7%	45	61	10,026	7%	94	57
北多摩北部	7,587	5%	84	52	4,259	6%	47	62	7,876	6%	87	55
島しょ	167	0%	39	40	14	0%	3	29	310	0%	72	49
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

13.東京都(2018年版)

資_図表 13-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
東京都		12,576,601	13,515,271	7%	13,845,936	10%	19%	7%	28%
区中央部	大都市型	680,856	860,669	26%	982,355	44%	28%	15%	47%
区南部	大都市型	1,012,031	1,103,937	9%	1,165,015	15%	18%	8%	27%
区西南部	大都市型	1,308,563	1,405,501	7%	1,448,969	11%	19%	8%	28%
区西部	大都市型	1,144,930	1,225,772	7%	1,254,764	10%	14%	7%	22%
区西北部	大都市型	1,796,419	1,915,881	7%	2,002,021	11%	18%	10%	30%
区東北部	大都市型	1,240,892	1,325,299	7%	1,298,951	5%	19%	1%	20%
区東部	大都市型	1,305,962	1,435,681	10%	1,480,371	13%	21%	5%	28%
西多摩	地方都市型	398,832	390,897	-2%	364,620	-9%	16%	4%	20%
南多摩	大都市型	1,364,453	1,430,411	5%	1,411,574	3%	23%	9%	34%
北多摩西部	大都市型	618,886	640,617	4%	640,428	3%	18%	7%	26%
北多摩南部	大都市型	968,714	1,022,646	6%	1,046,144	8%	17%	8%	27%
北多摩北部	大都市型	707,319	731,469	3%	728,025	3%	17%	6%	24%
島しょ	過疎地域型	28,744	26,491	-8%	22,699	-21%	0%	-8%	-7%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など)
 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。

資_図表 13-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
東京都	665	5.3	45	647	4.8	46	-18	-3%
区中央部	60	8.8	54	49	5.7	48	-11	-18%
区南部	47	4.6	44	44	4.0	44	-3	-6%
区西南部	56	4.3	43	52	3.7	44	-4	-7%
区西部	47	4.1	42	43	3.5	43	-4	-9%
区西北部	103	5.7	46	94	4.9	46	-9	-9%
区東北部	80	6.4	48	91	6.9	51	11	14%
区東部	51	3.9	42	54	3.8	44	3	6%
西多摩	29	7.3	50	30	7.7	52	1	3%
南多摩	76	5.6	46	78	5.5	47	2	3%
北多摩西部	23	3.7	41	25	3.9	44	2	9%
北多摩南部	47	4.9	44	45	4.4	45	-2	-4%
北多摩北部	45	6.4	48	41	5.6	48	-4	-9%
島しょ	1	3.5	41	1	3.8	44	0	0%

出典 <病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月
 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月

資_図表 13-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
東京都	12,197	97	60	13,257	98	60	1,060	9%
区中央部	1,885	277	150	2,276	264	148	391	21%
区南部	1,016	100	62	1,040	94	58	24	2%
区西南部	1,557	119	71	1,758	125	74	201	13%
区西部	1,440	126	75	1,421	116	69	-19	-1%
区西北部	1,581	88	56	1,665	87	54	84	5%
区東北部	892	72	48	963	73	46	71	8%
区東部	914	70	47	1,058	74	47	144	16%
西多摩	253	63	44	243	62	41	-10	-4%
南多摩	911	67	45	979	68	44	68	7%
北多摩西部	469	76	50	502	78	49	33	7%
北多摩南部	796	82	53	858	84	52	62	8%
北多摩北部	465	66	45	474	65	42	9	2%
島しょ	18	63	43	20	75	48	2	11%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 13-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
東京都	34,463	274	57	41,445	307	57	6,982	20%
区中央部	8,204	1,205	168	10,106	1,174	154	1,902	23%
区南部	2,749	272	57	3,140	284	55	391	14%
区西南部	3,676	281	58	4,351	310	58	675	18%
区西部	5,235	457	79	5,722	467	75	487	9%
区西北部	3,844	214	50	4,730	247	51	886	23%
区東北部	1,809	146	42	2,173	164	42	364	20%
区東部	1,788	137	41	2,741	191	45	953	53%
西多摩	501	126	40	638	163	41	137	27%
南多摩	2,064	151	43	2,441	171	42	377	18%
北多摩西部	924	149	43	1,143	178	43	219	24%
北多摩南部	2,416	249	55	2,983	292	56	567	23%
北多摩北部	1,219	172	45	1,249	171	42	30	2%
島しょ	34	118	39	28	106	35	-6	-18%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 13-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
東京都	137,402	109	44	132,077	98	44	-5,325	-4%
区中央部	15,606	229	66	13,883	161	56	-1,723	-11%
区南部	9,041	89	41	8,381	76	40	-660	-7%
区西南部	13,040	100	42	11,502	82	41	-1,538	-12%
区西部	11,586	101	43	10,995	90	42	-591	-5%
区西北部	19,479	108	44	17,711	92	43	-1,768	-9%
区東北部	10,518	85	40	11,424	86	42	906	9%
区東部	7,697	59	35	8,955	62	37	1,258	16%
西多摩	6,880	173	55	6,854	175	58	-26	0%
南多摩	17,567	129	48	17,860	125	49	293	2%
北多摩西部	4,344	70	37	4,551	71	39	207	5%
北多摩南部	11,134	115	45	11,168	109	46	34	0%
北多摩北部	10,392	147	51	8,675	119	48	-1,717	-17%
島しょ	118	41	32	118	45	34	0	0%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 13-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
東京都	90,472	72	46	84,959	63	45	-5,513	-6%
区中央部	14,619	215	96	12,951	150	78	-1,668	-11%
区南部	7,352	73	46	6,417	58	43	-935	-13%
区西南部	9,225	70	45	8,121	58	43	-1,104	-12%
区西部	9,633	84	50	9,190	75	49	-443	-5%
区西北部	12,029	67	44	10,554	55	42	-1,475	-12%
区東北部	7,076	57	41	7,598	57	42	522	7%
区東部	6,566	50	38	7,310	51	40	744	11%
西多摩	1,944	49	38	1,979	51	40	35	2%
南多摩	6,654	49	38	6,599	46	38	-55	-1%
北多摩西部	3,301	53	39	3,410	53	41	109	3%
北多摩南部	6,495	67	44	6,227	61	44	-268	-4%
北多摩北部	5,462	77	48	4,488	61	44	-974	-18%
島しょ	116	40	35	115	43	37	-1	-1%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 13-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
東京都	20,102	21	43	24,189	16	46	4,087	20%
区中央部	596	10	37	596	7	38	0	0%
区南部	1,261	16	41	1,766	16	46	505	40%
区西南部	1,245	12	38	2,042	14	44	797	64%
区西部	1,519	15	40	1,446	11	42	-73	-5%
区西北部	3,516	23	45	3,963	18	48	447	13%
区東北部	1,942	20	43	2,336	15	45	394	20%
区東部	896	11	38	1,420	10	41	524	58%
西多摩	2,348	70	72	2,256	44	71	-92	-4%
南多摩	3,185	35	51	4,078	25	54	893	28%
北多摩西部	843	19	43	1,097	15	45	254	30%
北多摩南部	1,216	17	41	1,407	13	44	191	16%
北多摩北部	1,535	28	48	1,781	20	49	246	16%
島しょ	0	0	32	1	0	32	1	100%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

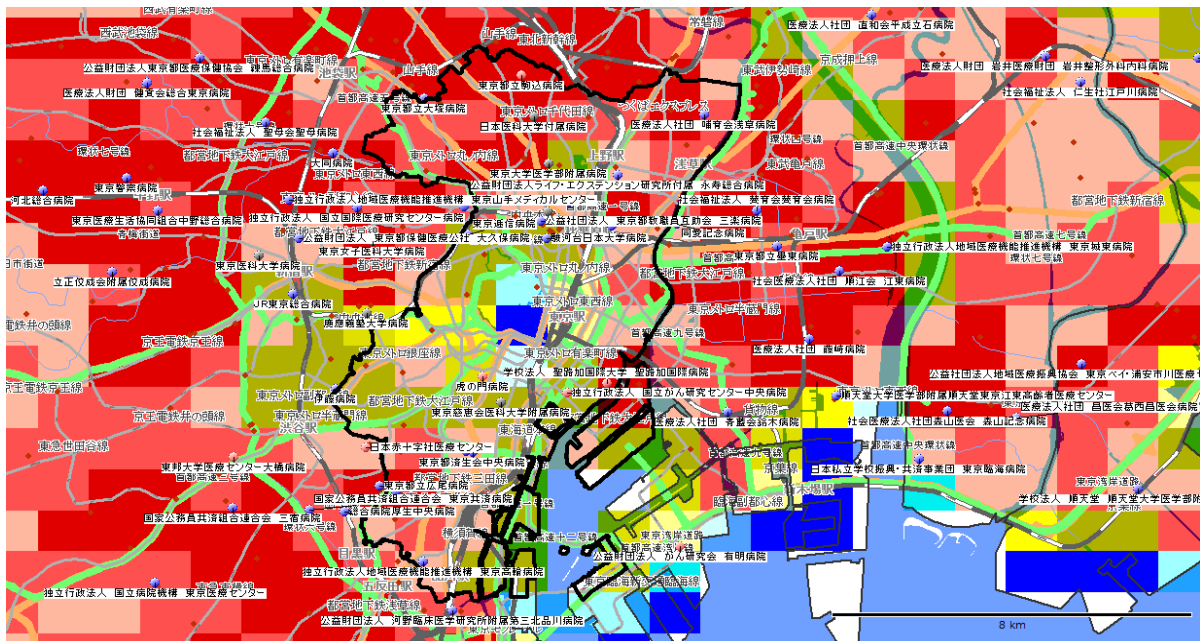
くちゅうおうぶ

13-1. 区中央部医療圏

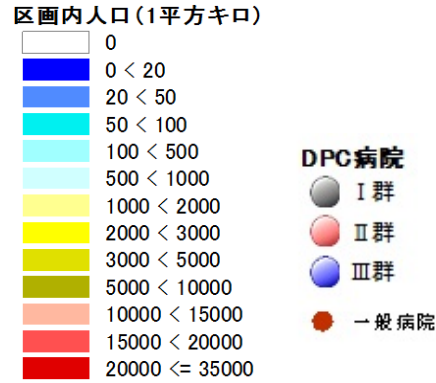
構成市区町村 [千代田区](#) [台東区](#) [中央区](#) [港区](#) [文京区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(区中央部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 区中央部(千代田区)は、総人口約861千人(2015年)、面積64km²、人口密度は13,524人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 区中央部の総人口は2025年に982千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年に1,067千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の80千人が、2025年にかけて104千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には119千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 区中央部の一人当たり医療費(国保)は284千円(偏差値36)、介護給付費は278千円(偏差値57)であり、医療費は低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 区中央部の一人当たり急性期医療密度指数は1.19、一人当たり慢性期医療密度指数は0.45で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が154(病院医師数148、診療所医師数147)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は83と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は85で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は103と非常に多い。区中央部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国際医療福祉大学三田病院(Ⅲ群)、東京都済生会中央病院(Ⅲ群・救命)、日本大学病院(Ⅲ群・救命)、国立がん研究センター中央病院(Ⅱ群)、東京都立駒込病院(Ⅱ群)、虎の門病院(Ⅱ群)、聖路加国際病院(Ⅱ群・救命)、三井記念病院(Ⅱ群)、東京大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、東京医科歯科大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、順天堂大学医学部附属順天堂医院(Ⅰ群)、日本医科大学付属病院(Ⅰ群・救命)、東京慈恵会医科大学付属病院(Ⅰ群)、1000例以上の東京通信病院(Ⅲ群)、永寿総合病院(Ⅲ群)、北里研究所病院(Ⅲ群)、500例以上のJCHO東京高輪病院(Ⅲ群)、三楽病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は148で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 区中央部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,812人(75歳以上1,000人当たりの偏差値31)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,254床(偏差値33)、高齢者住宅等が2,558床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,195人(75歳以上1,000人当たりの偏差値26)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設31、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム55、軽費ホーム50、グループホーム38、サ高住36である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値76と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値64と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,292人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-50%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区中央部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区中央部医療圏の総人口は、2005年680,856人が、2015年に860,669人と26%増加し、2025年の人口が982,355人と予測され、2005年→2025年の間に44%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に28%増加し、2015年から2025年にかけて15%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

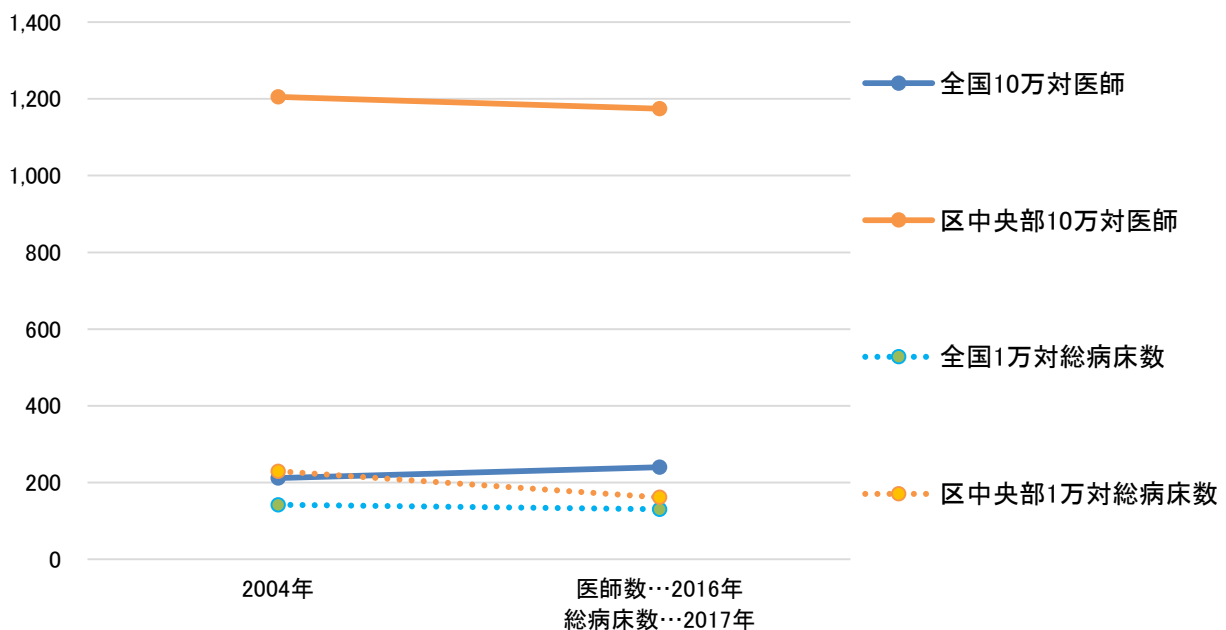
2004年の病院数が60(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2017年に49(人口10万人当たり5.7病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、13年間で11病院が減少した。

2004年の診療所数が1,885(人口10万人当たり277診療所(全国平均76)偏差値150)であったが、2017年に2,276(人口10万人当たり264診療所(全国平均80)偏差値148)と、391診療所が増加した。

2004年の総病床数が15,606床(人口1万人当たり229(全国平均142)偏差値66)であったが、2017年に13,883床(人口1万人当たり161(全国平均130)偏差値56)と、1,723床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

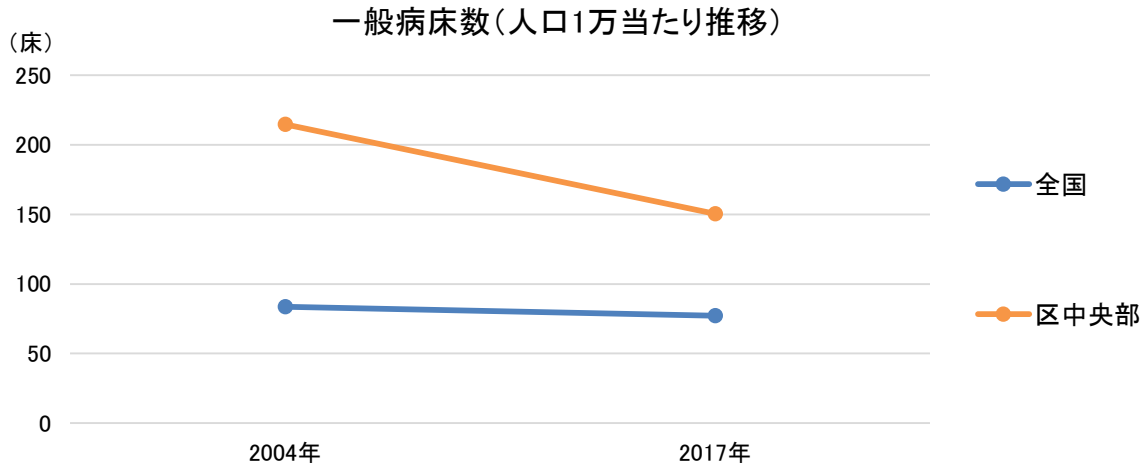
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が8,204人(人口10万人当たり1,205人(全国平均212人)偏差値168)であったが、2016年に10,106人(人口10万人当たり1,174人(全国平均240人)偏差値154)と、1,902人の増加、率にして23%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



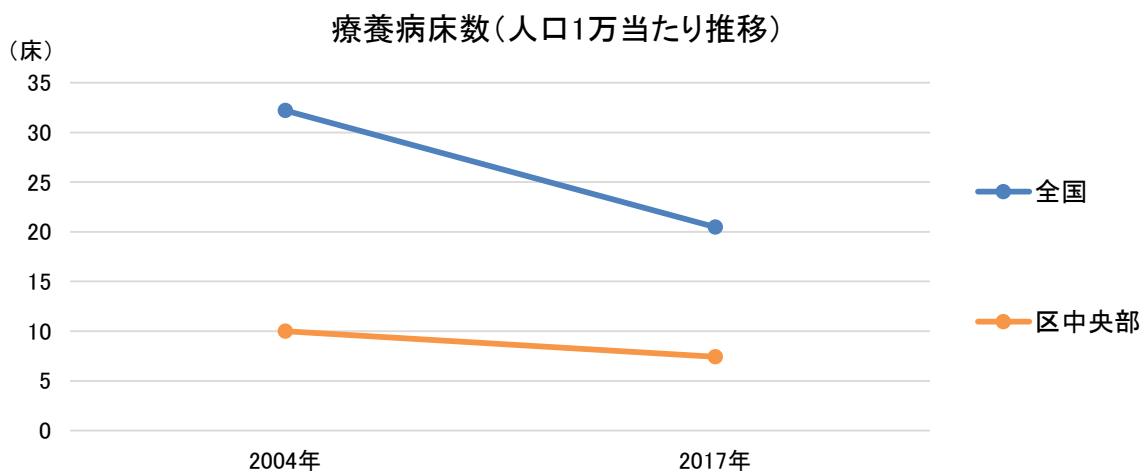
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が14,619床(人口1万人当たり215(全国平均84)偏差値96)であったが、2017年に12,951床(人口1万人当たり150(全国平均77)偏差値78)と、1,668床の減少、率にして11%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



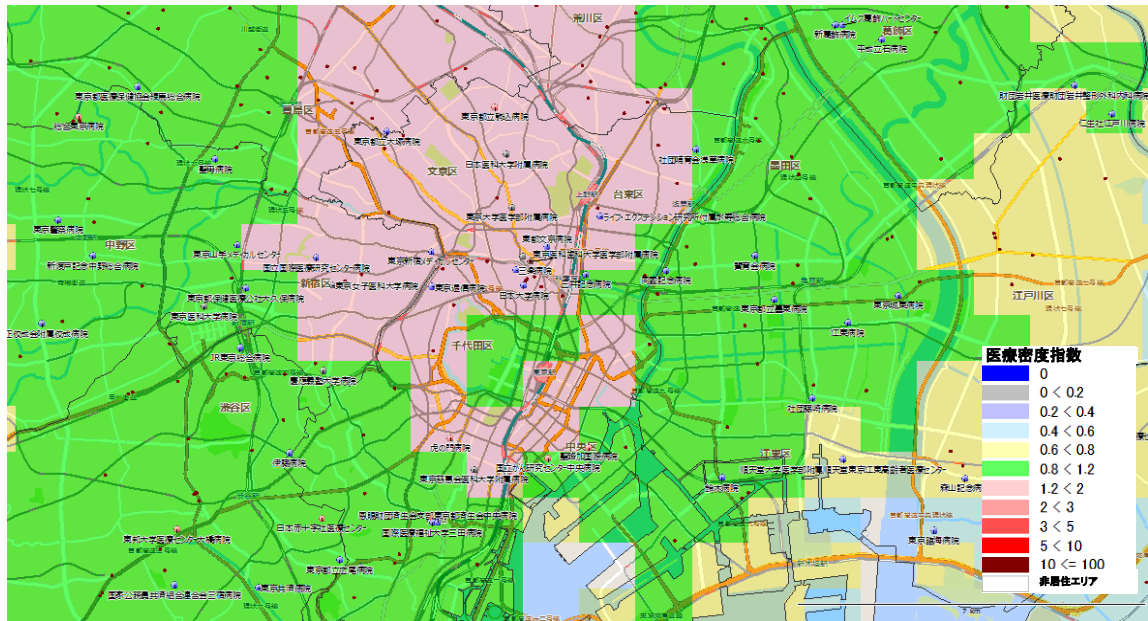
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が596床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2017年に596床(75歳以上1,000人当たり7(全国平均20)偏差値38)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。



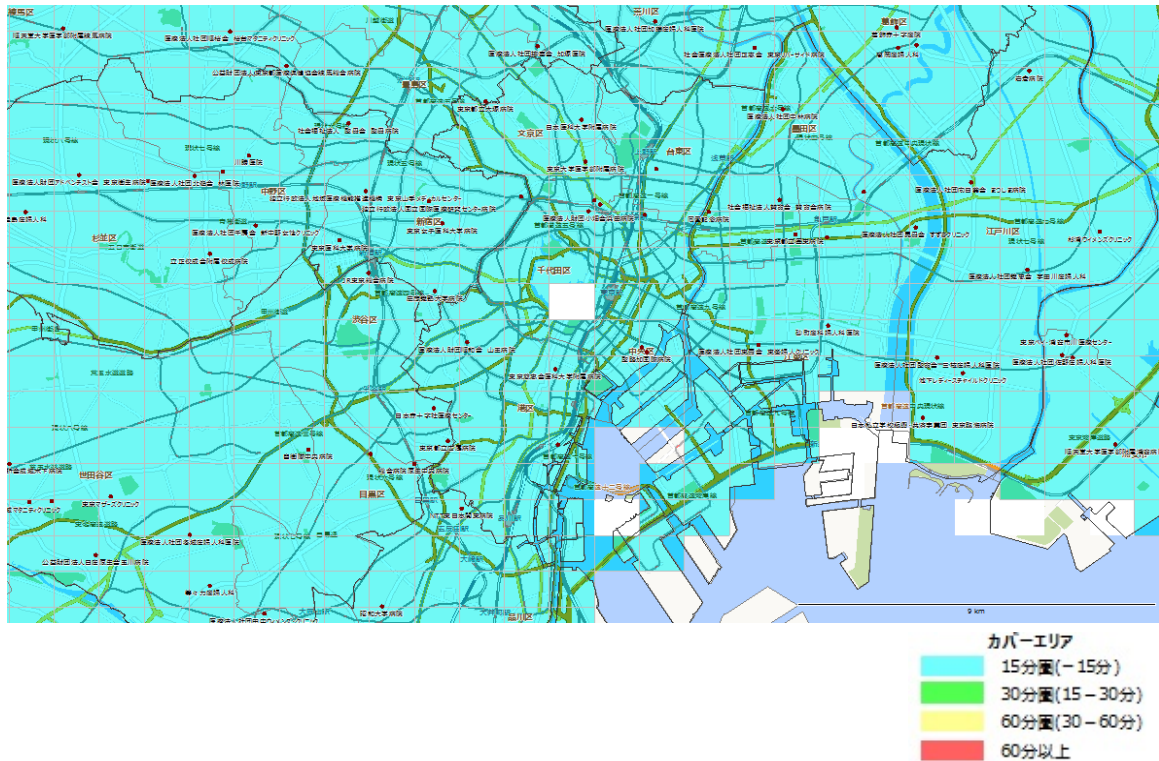
(区中央部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

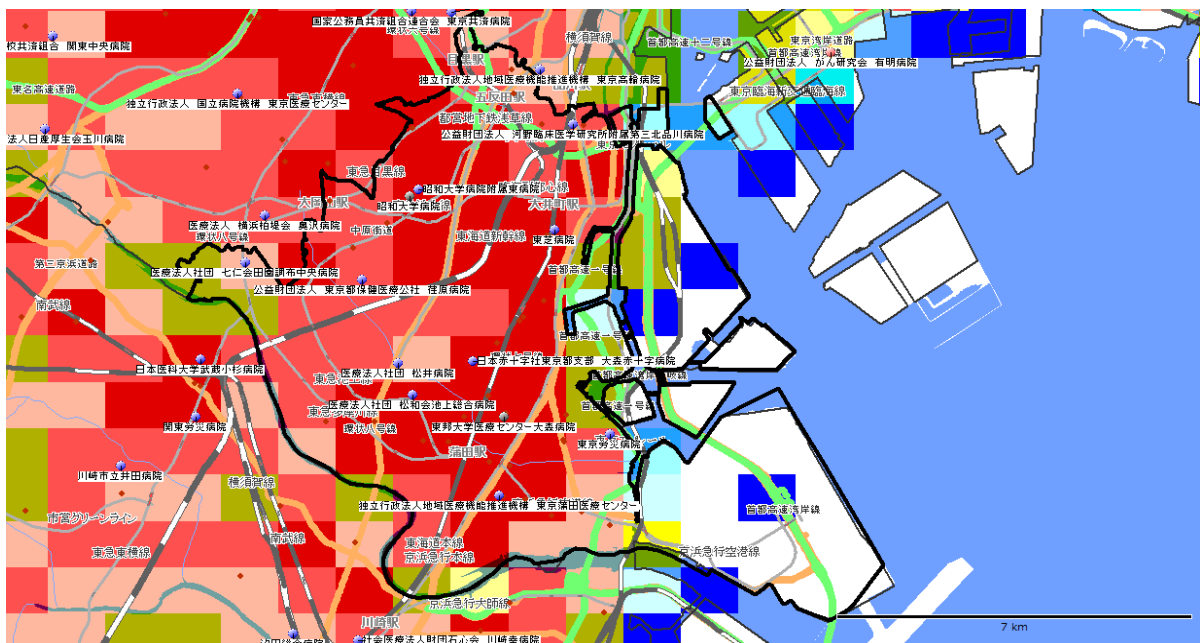


くなんぶ 13-2. 区南部医療圏

構成市区町村 [品川区](#) [大田区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(区南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 区南部(品川区)は、総人口約1,104千人(2015年)、面積84km²、人口密度は13,221人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 区南部の総人口は2025年に1,165千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年に1,195千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の113千人が、2025年にかけて147千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には151千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 区南部の一人当たり医療費(国保)は333千円(偏差値47)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 区南部の一人当たり急性期医療密度指数は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数は0.36で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が55(病院医師数54、診療所医師数57)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。区南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNTT東日本関東病院(Ⅱ群)、東邦大学医療センター大森病院(Ⅰ群・救命)、昭和大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の荏原病院(Ⅲ群)、大森赤十字病院(Ⅲ群)、東京労災病院(Ⅲ群)、500例以上の池上総合病院(Ⅲ群)、牧田総合病院(Ⅲ群)、東芝病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は38で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 区南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,667人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,706床(偏差値27)、高齢者住宅等が4,961床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,708人(75歳以上1,000人当たりの偏差値25)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設24、特別養護老人ホーム37、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム62、軽費ホーム48、グループホーム43、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,306人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-51%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区南部医療圏の総人口は、2005年1,012,031人が、2015年に1,103,937人と9%増加し、2025年の人口が1,165,015人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

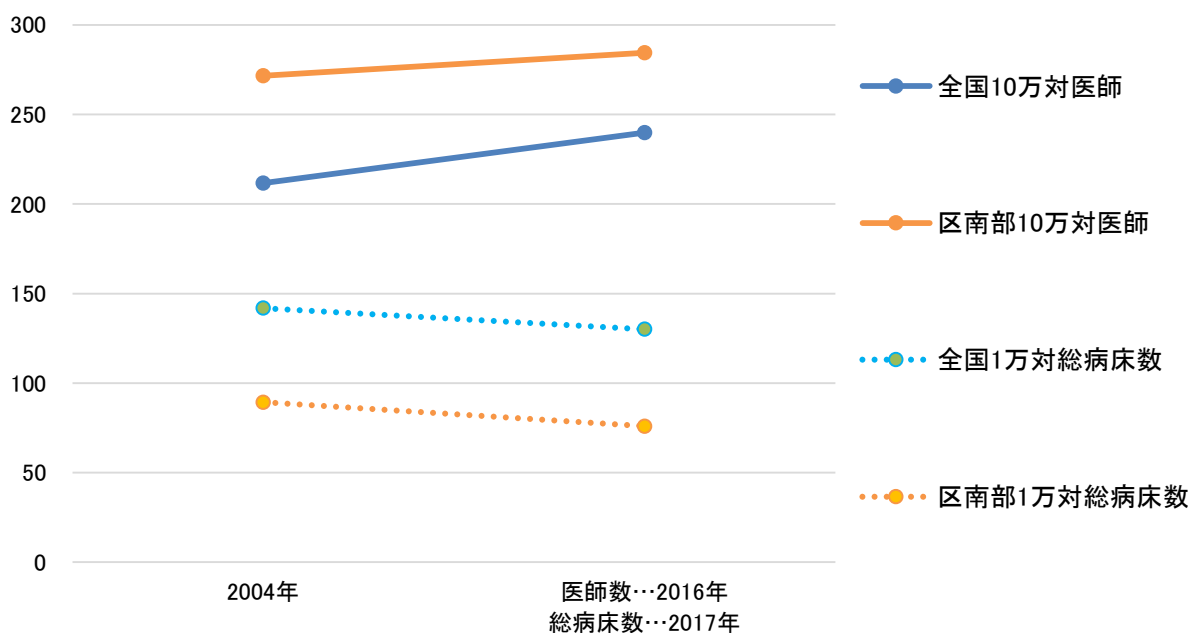
2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2017年に44(人口10万人当たり4病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が1,016(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2017年に1,040(人口10万人当たり94診療所(全国平均80)偏差値58)と、24診療所が増加した。

2004年の総病床数が9,041床(人口1万人当たり89(全国平均142)偏差値41)であったが、2017年に8,381床(人口1万人当たり76(全国平均130)偏差値40)と、660床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,749人(人口10万人当たり272人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2016年に3,140人(人口10万人当たり284人(全国平均240人)偏差値55)と、391人の増加、率にして14%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

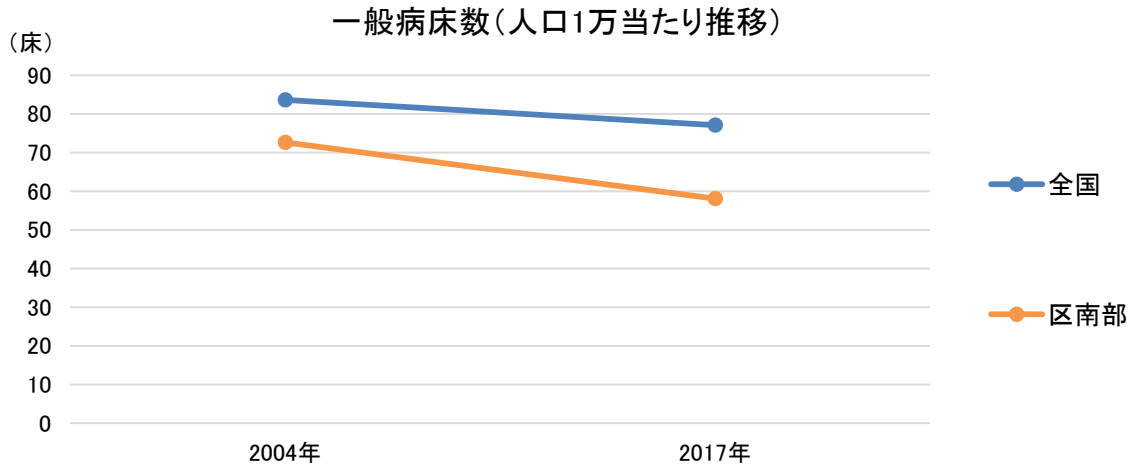
人口当たり医師数・総病床数の推移



13.東京都(2018年版)

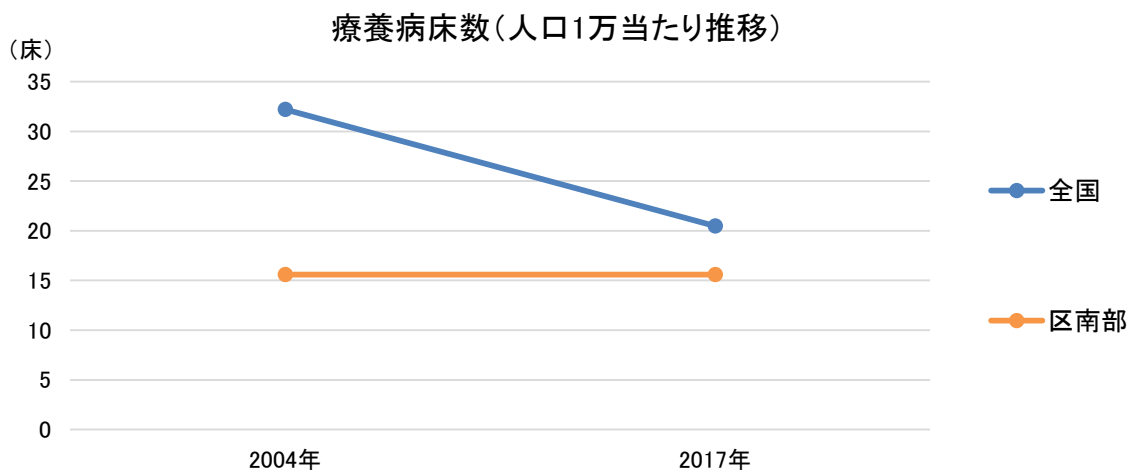
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,352床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に6,417床(人口1万人当たり58(全国平均77)偏差値43)と、935床の減少、率にして13%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



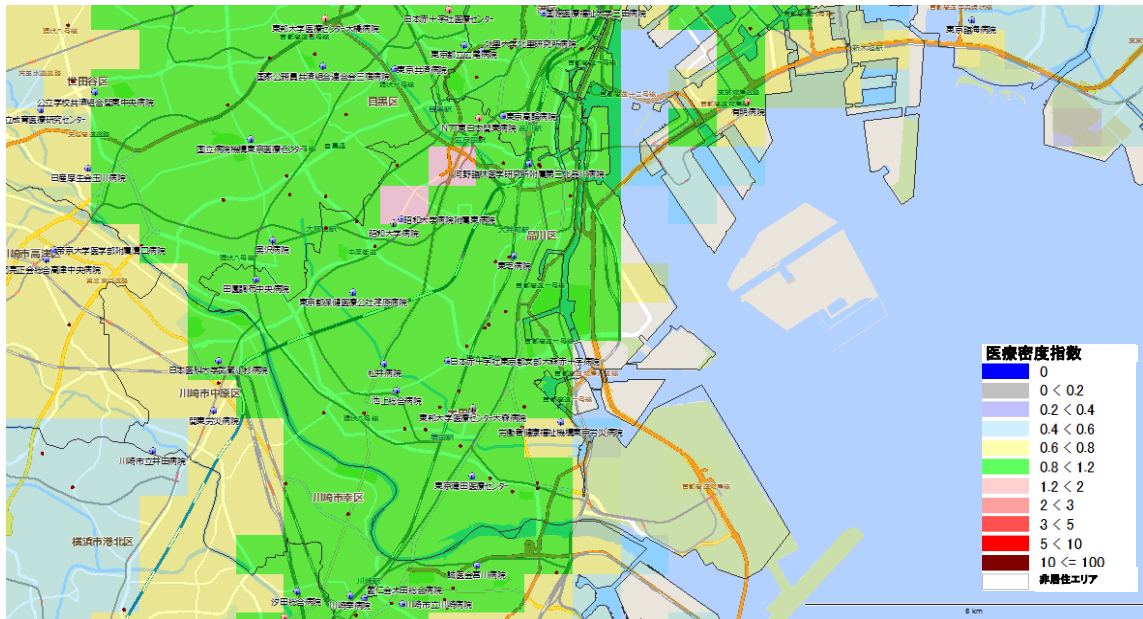
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,261床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均32)偏差値41)であったが、2017年に1,766床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、505床の増加、率にして40%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



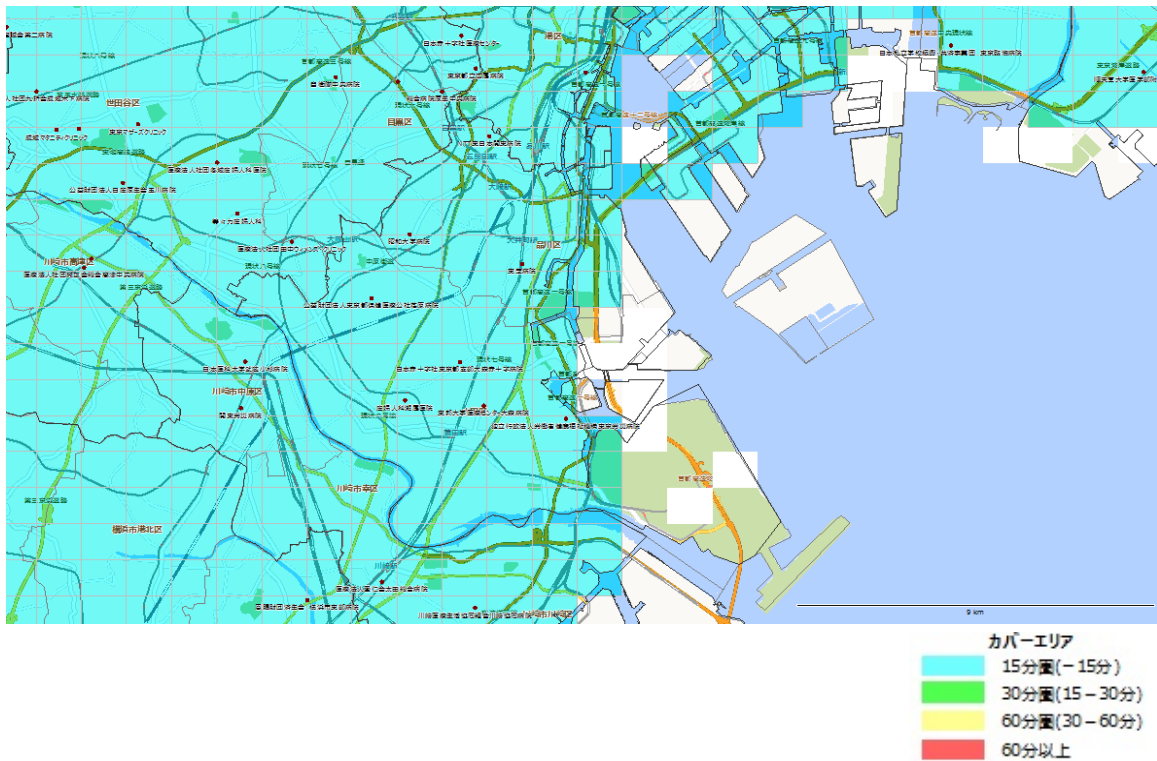
(区南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

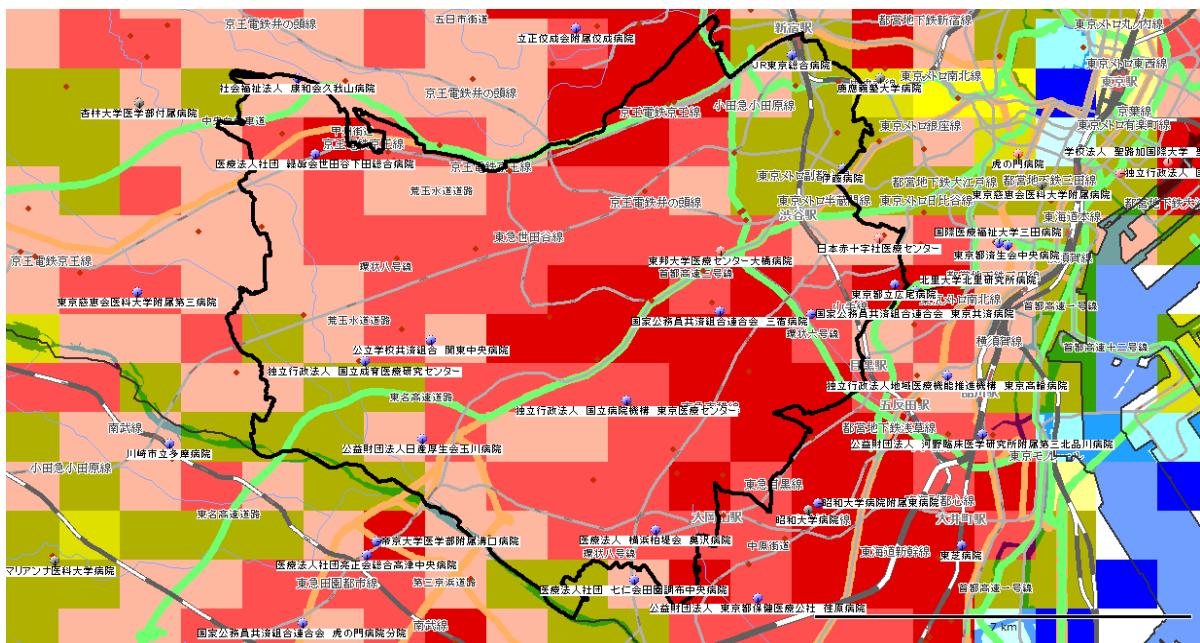


くせいなんぶ 13-3. 区西南部医療圏

構成市区町村 [目黒区](#) [世田谷区](#) [渋谷区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)

0
0 < 20
20 < 50
50 < 100
100 < 500
500 < 1000
1000 < 2000
2000 < 3000
3000 < 5000
5000 < 10000
10000 < 15000
15000 < 20000
20000 <= 35000

DPC病院

- I 群
- II 群
- III 群
- 一般病院

(区西南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 区西南部(目黒区)は、総人口約1,406千人(2015年)、面積88km²、人口密度は16,003人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 区西南部の総人口は2025年に1,449千人へと増加し(2015年比+3%)、2040年に1,468千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の146千人が、2025年にかけて191千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には217千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 区西南部の一人当たり医療費(国保)は282千円(偏差値35)、介護給付費は283千円(偏差値59)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 区西南部の一人当たり急性期医療密度指数は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数は0.43で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が58(病院医師数52、診療所医師数74)と、総医師数は多く、診療所医師数は非常に多い。総看護師数の偏差値は41と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。区西南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立成育医療研究センター(Ⅲ群)、東邦大学医療センター大橋病院(Ⅲ群)、NHQ東京医療センター(Ⅱ群・救命)、日本赤十字社医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の伊藤病院(Ⅲ群)、JR東京総合病院(Ⅲ群)、東京都立広尾病院(Ⅲ群・救命)、関東中央病院(Ⅲ群)、玉川病院(Ⅲ群)、厚生中央病院(Ⅲ群)、500例以上の久我山病院(Ⅲ群)、三宿病院(Ⅲ群)、東京共済病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は74で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 区西南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,259人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,979床(偏差値22)、高齢者住宅等が7,280床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,334人(75歳以上1,000人当たりの偏差値24)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設25、特別養護老人ホーム33、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム68、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住43である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値62と多く、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、2,142人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-49%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区西南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区西南部医療圏の総人口は、2005年1,308,563人が、2015年に1,405,501人と7%増加し、2025年の人口が1,448,969人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

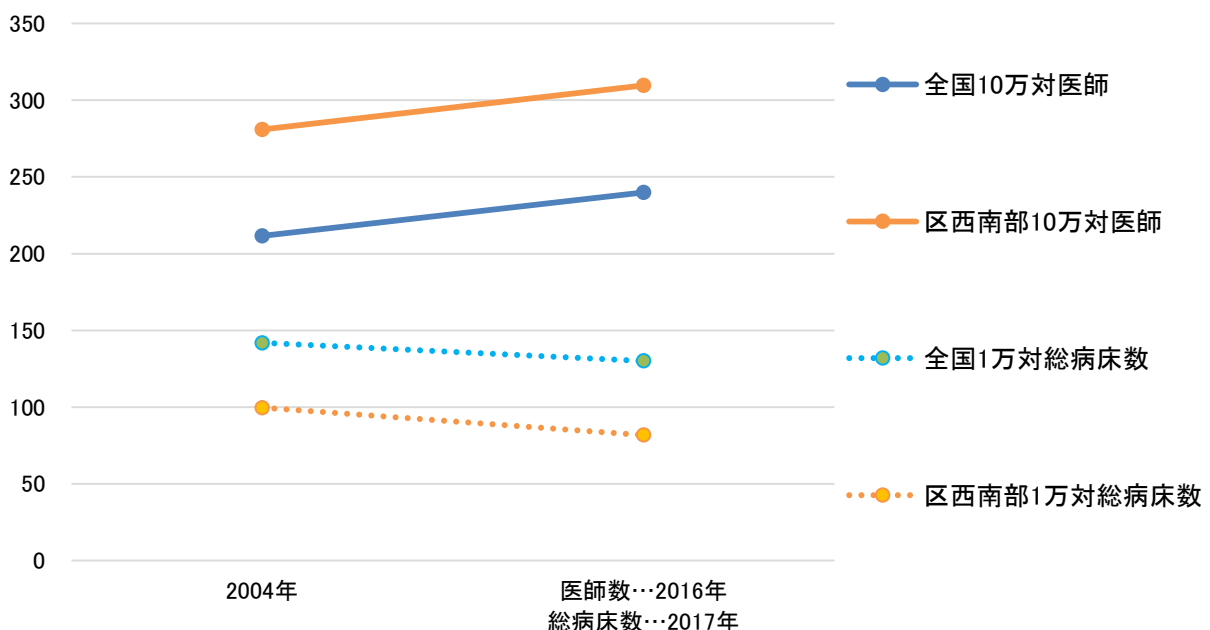
2004年の病院数が56(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2017年に52(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が1,557(人口10万人当たり119診療所(全国平均76)偏差値71)であったが、2017年に1,758(人口10万人当たり125診療所(全国平均80)偏差値74)と、201診療所が増加した。

2004年の総病床数が13,040床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2017年に11,502床(人口1万人当たり82(全国平均130)偏差値41)と、1,538床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

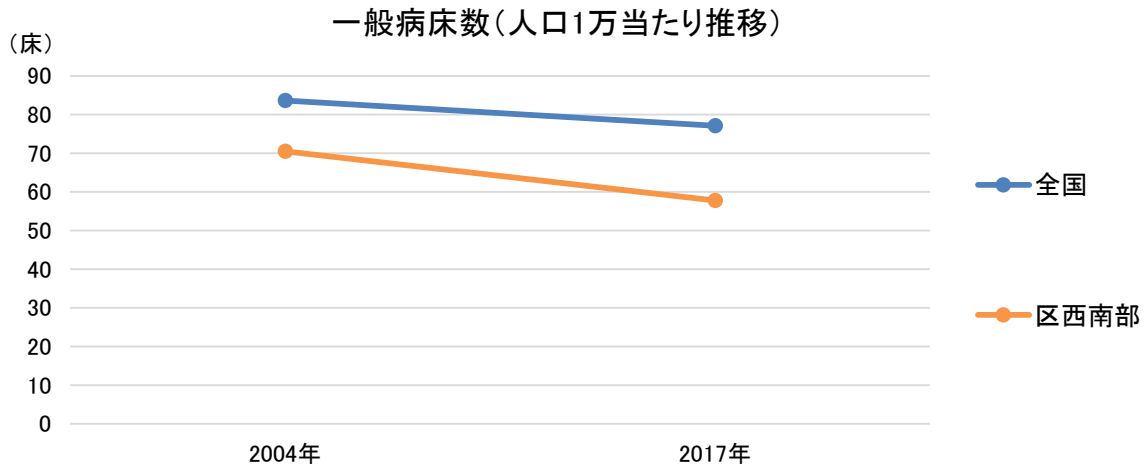
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,676人(人口10万人当たり281人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2016年に4,351人(人口10万人当たり310人(全国平均240人)偏差値58)と、675人の増加、率にして18%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



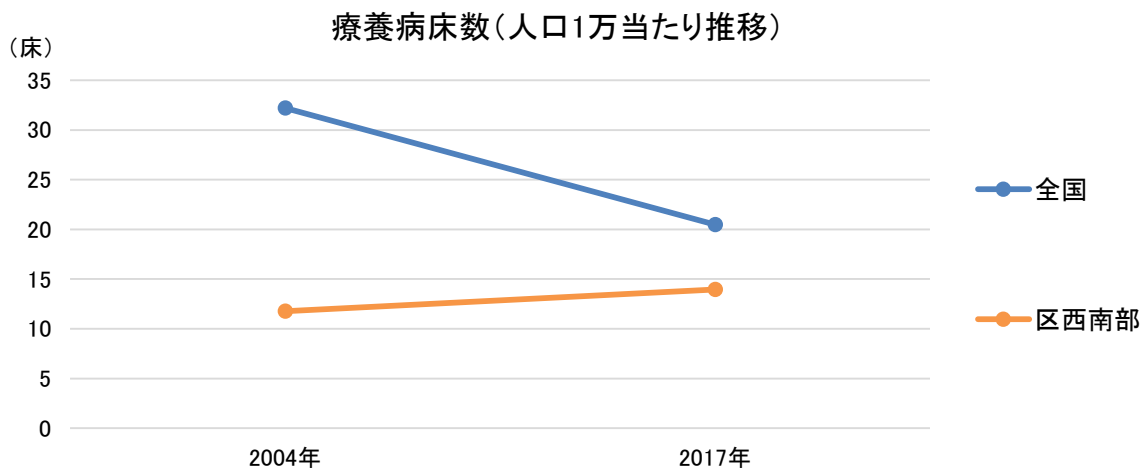
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9,225床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2017年に8,121床(人口1万人当たり58(全国平均77)偏差値43)と、1,104床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



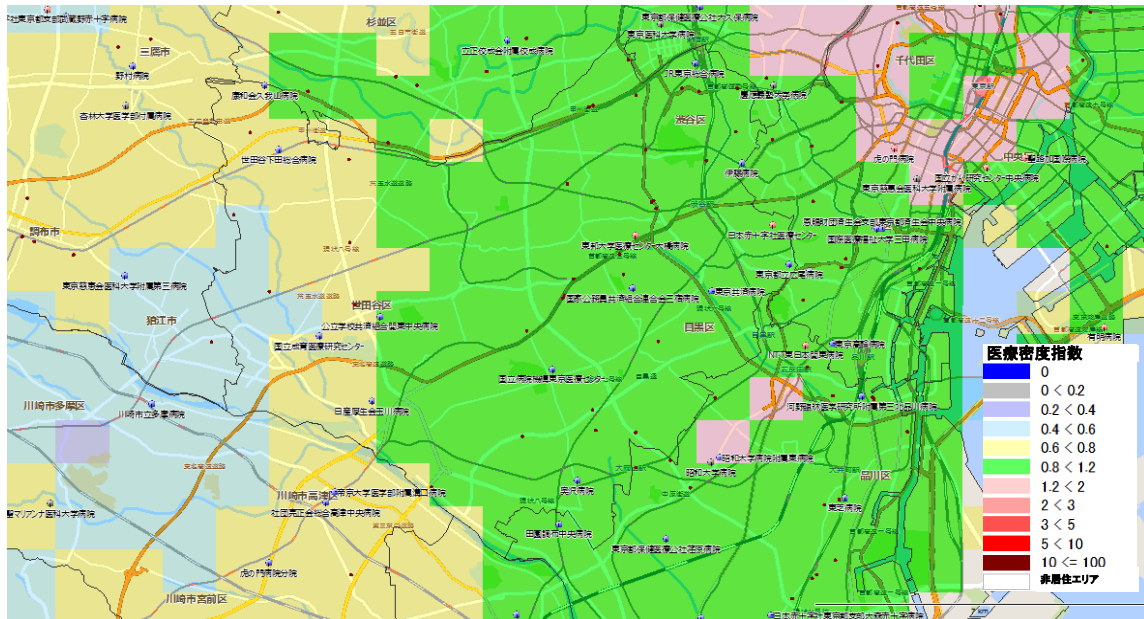
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,245床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均32)偏差値38)であったが、2017年に2,042床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値44)と、797床の増加、率にして64%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



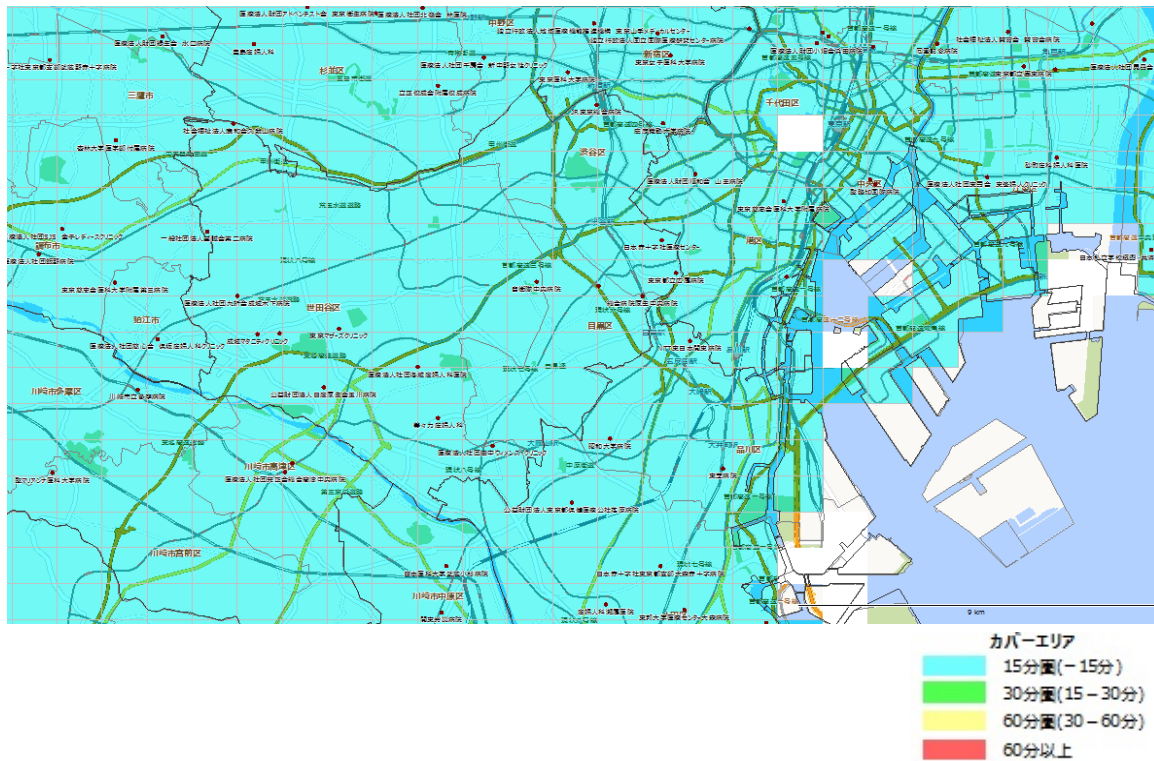
(区西南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

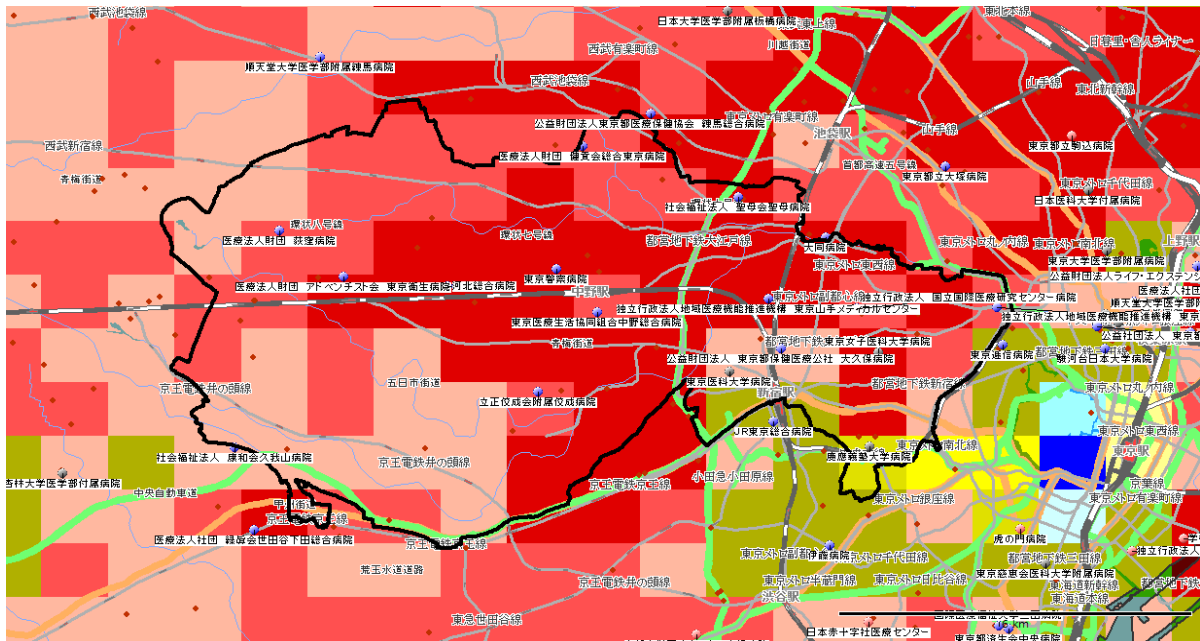


くせいぶ 13-4. 区西部医療圏

構成市区町村 [新宿区](#) [中野区](#) [杉並区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(区西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 区西部(新宿区)は、総人口約1,226千人(2015年)、面積68km²、人口密度は18,061人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 区西部の総人口は2025年に1,255千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に1,264千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の130千人が、2025年にかけて166千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には181千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 区西部の一人当たり医療費(国保)は267千円(偏差値32)、介護給付費は270千円(偏差値55)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 区西部の一人当たり急性期医療密度指数は1、一人当たり慢性期医療密度指数は0.57で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が75(病院医師数73、診療所医師数77)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。区西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立国際医療研究センター病院(Ⅲ群・救命)、荻窪病院(Ⅲ群)、東京警察病院(Ⅲ群)、慶應義塾大学病院(I群)、東京女子医科大学病院(I群・救命)、東京医科大学病院(I群・救命)、1000例以上の立正佼成会附属佼成病院(Ⅲ群)、河北総合病院(Ⅲ群)、総合東京病院(Ⅲ群)、新渡戸記念中野総合病院(Ⅲ群)、大久保病院(Ⅲ群)、JCHO東京山手メディカルセンター(Ⅲ群)、JCHO東京新宿メディカルセンター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は69で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 区西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,715人(75歳以上1,000人当たりの偏差値28)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,752床(偏差値24)、高齢者住宅等が4,963床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,654人(75歳以上1,000人当たりの偏差値25)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設23、特別養護老人ホーム36、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム61、軽費ホーム49、グループホーム41、サ高住35である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,810人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-82%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区西部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区西部医療圏の総人口は、2005年1,144,930人が、2015年に1,225,772人と7%増加し、2025年の人口が1,254,764人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

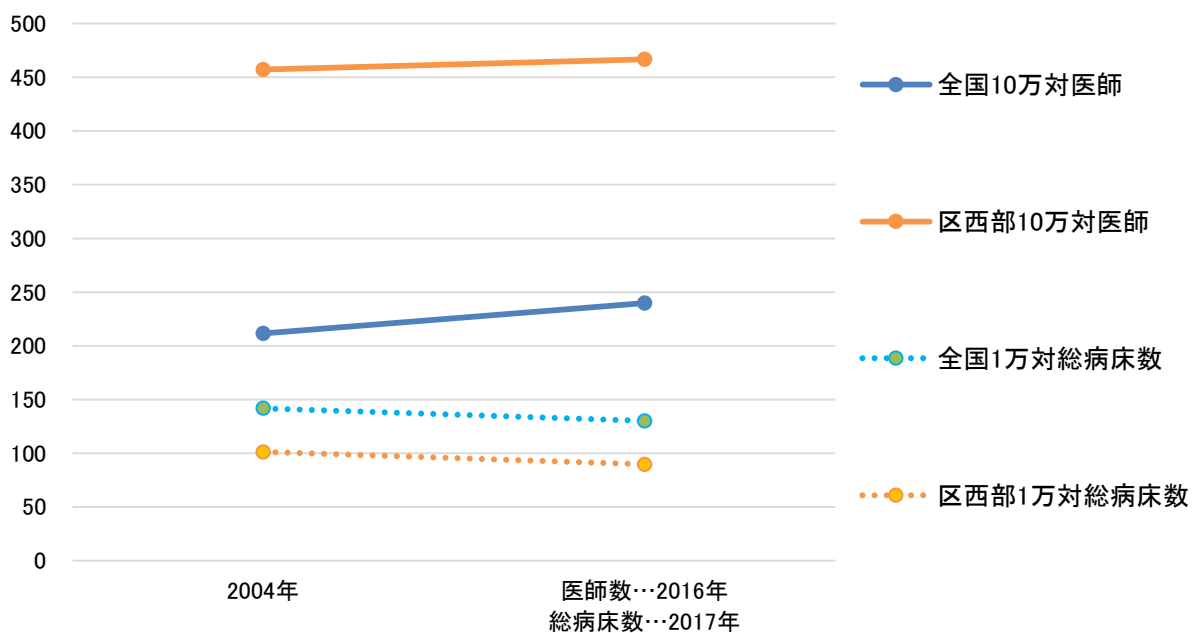
2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.1病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2017年に43(人口10万人当たり3.5病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、13年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が1,440(人口10万人当たり126診療所(全国平均76)偏差値75)であったが、2017年に1,421(人口10万人当たり116診療所(全国平均80)偏差値69)と、19診療所が減少した。

2004年の総病床数が11,586床(人口1万人当たり101(全国平均142)偏差値43)であったが、2017年に10,995床(人口1万人当たり90(全国平均130)偏差値42)と、591床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が5,235人(人口10万人当たり457人(全国平均212人)偏差値79)であったが、2016年に5,722人(人口10万人当たり467人(全国平均240人)偏差値75)と、487人の増加、率にして9%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

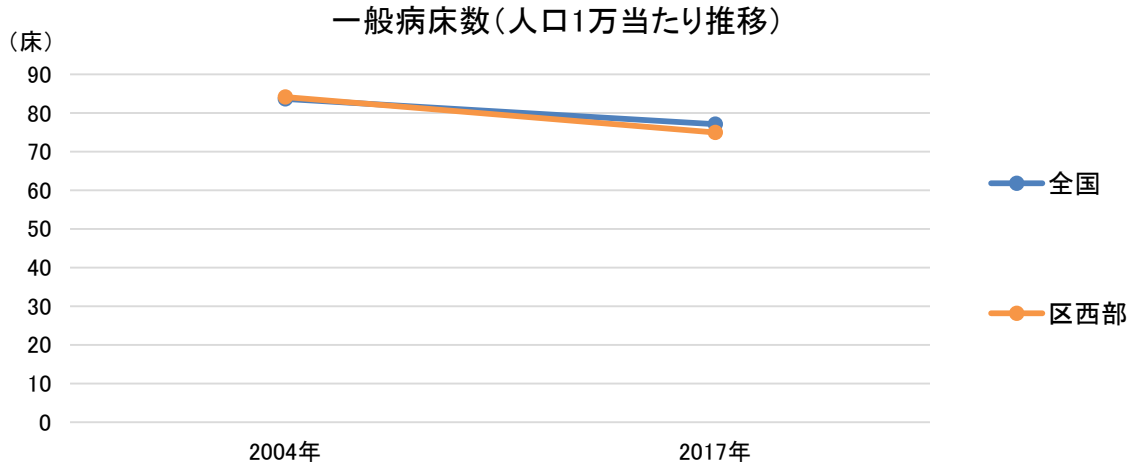
人口当たり医師数・総病床数の推移



13.東京都(2018年版)

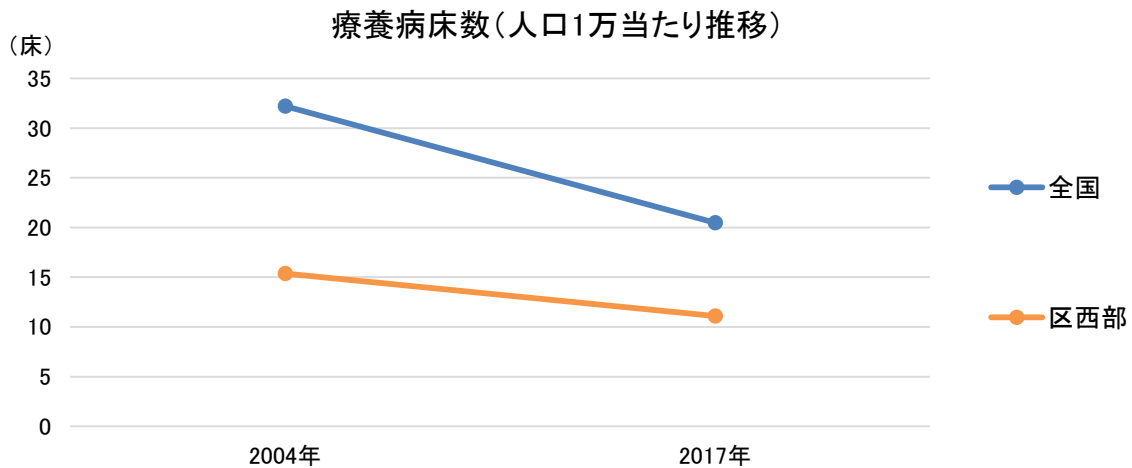
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9,633床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2017年に9,190床(人口1万人当たり75(全国平均77)偏差値49)と、443床の減少、率にして5%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



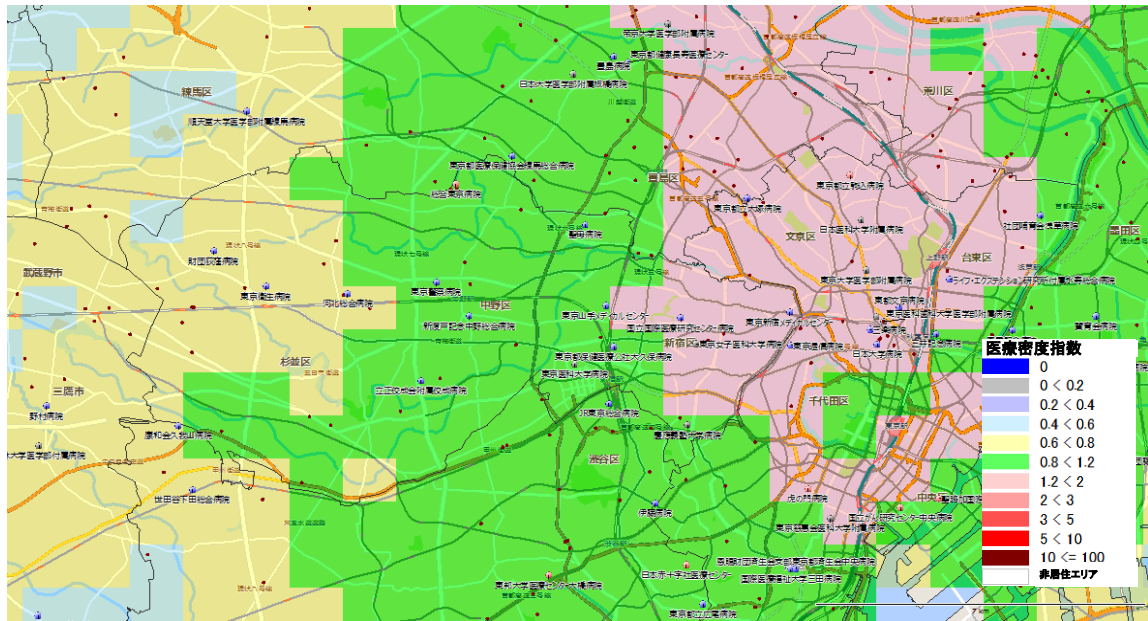
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,519床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2017年に1,446床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値42)と、73床の減少、率にして5%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



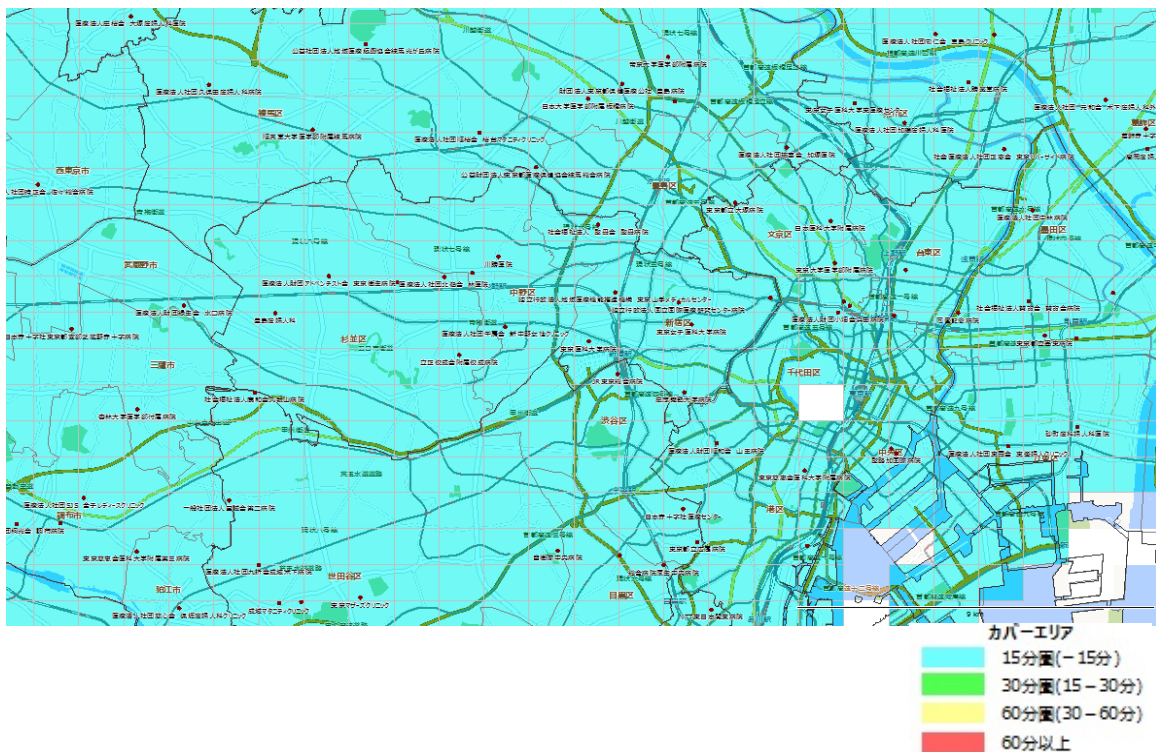
(区西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-4-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

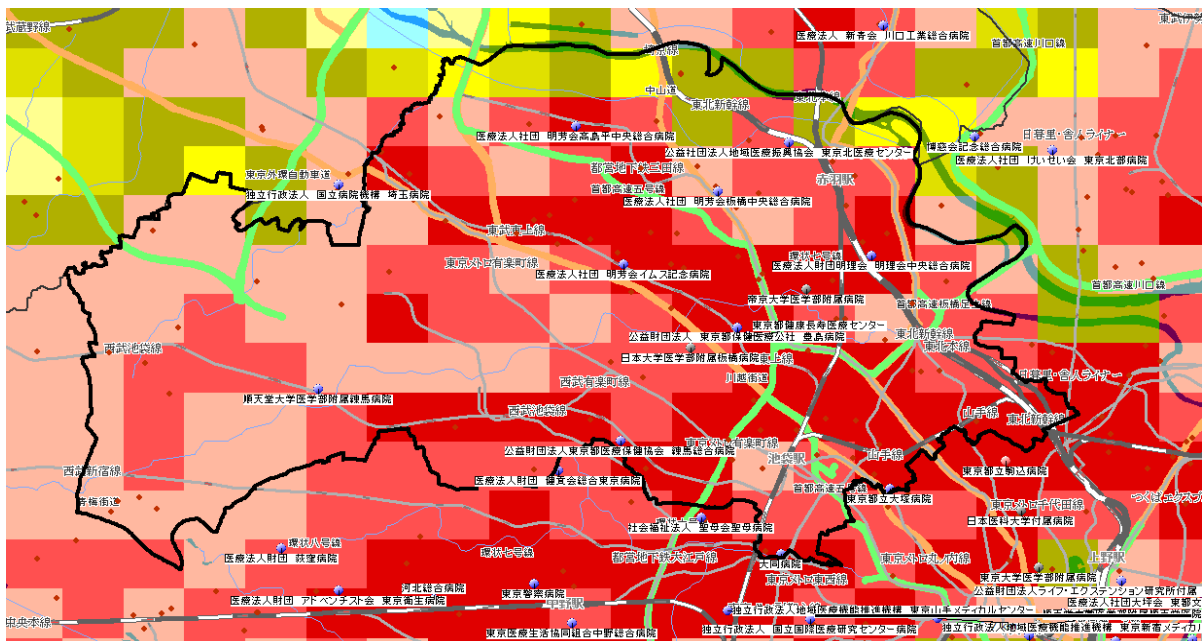


くせいほくぶ 13-5. 区西北部医療圏

構成市区町村 [豊島区](#) [北区](#) [板橋区](#) [練馬区](#)

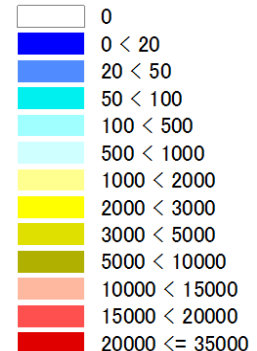
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(区西北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 区西北部(豊島区)は、総人口約1,916千人(2015年)、面積114km²、人口密度は16,818人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 区西北部の総人口は2025年に2,002千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年に2,044千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の215千人が、2025年にかけて288千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には318千人へと増加する(2025年比+10%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 区西北部の一人当たり医療費(国保)は298千円(偏差値39)、介護給付費は260千円(偏差値52)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 区西北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数は0.66で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が51(病院医師数49、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は41と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。区西北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の順天堂大学医学部附属練馬病院(Ⅲ群)、板橋中央総合病院(Ⅱ群)、帝京大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、日本大学医学部附属板橋病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の練馬光が丘病院(Ⅲ群)、練馬総合病院(Ⅲ群)、高島平中央総合病院(Ⅲ群)、豊島病院(Ⅲ群)、東京北医療センター(Ⅲ群)、東京都立大塚病院(Ⅲ群)、500例以上の東京腎泌尿器センター大和病院(Ⅲ群)、東京都健康長寿医療センター(Ⅲ群)、明理会中央総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 区西北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19,083人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,653床(偏差値37)、高齢者住宅等が9,430床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,224人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム63、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム39、サ高住43である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、3,459人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-42%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区西北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区西北部医療圏の総人口は、2005年1,796,419人が、2015年に1,915,881人と7%増加し、2025年の人口が2,002,021人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

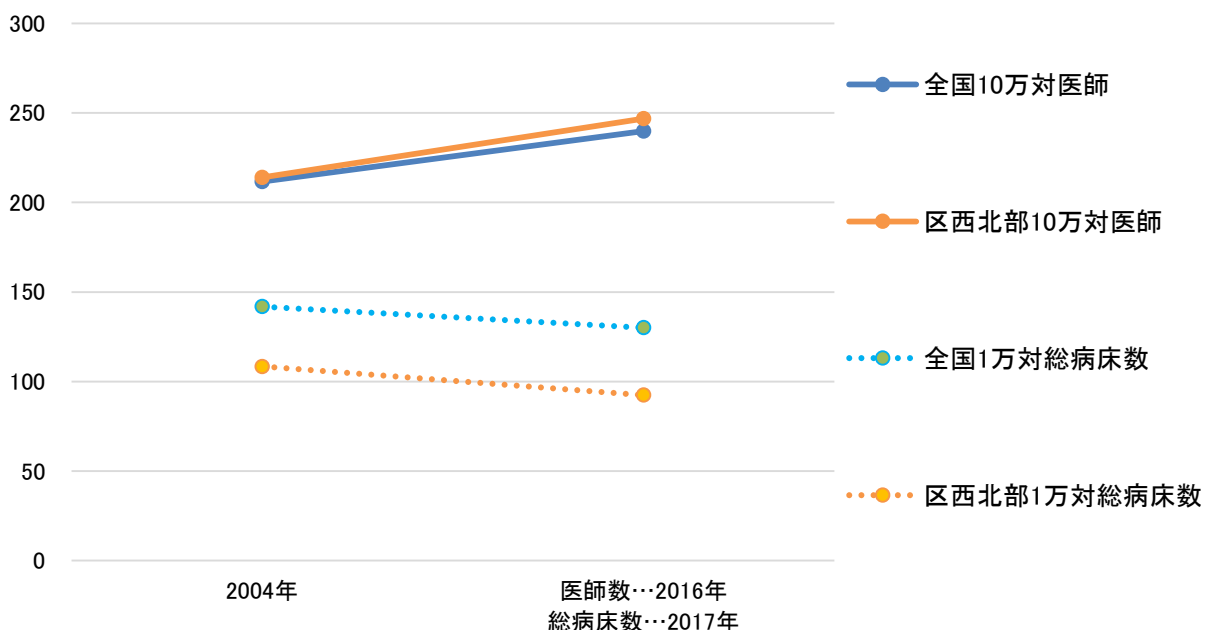
2004年の病院数が103(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に94(人口10万人当たり4.9病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、13年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が1,581(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2017年に1,665(人口10万人当たり87診療所(全国平均80)偏差値54)と、84診療所が増加した。

2004年の総病床数が19,479床(人口1万人当たり108(全国平均142)偏差値44)であったが、2017年に17,711床(人口1万人当たり92(全国平均130)偏差値43)と、1,768床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

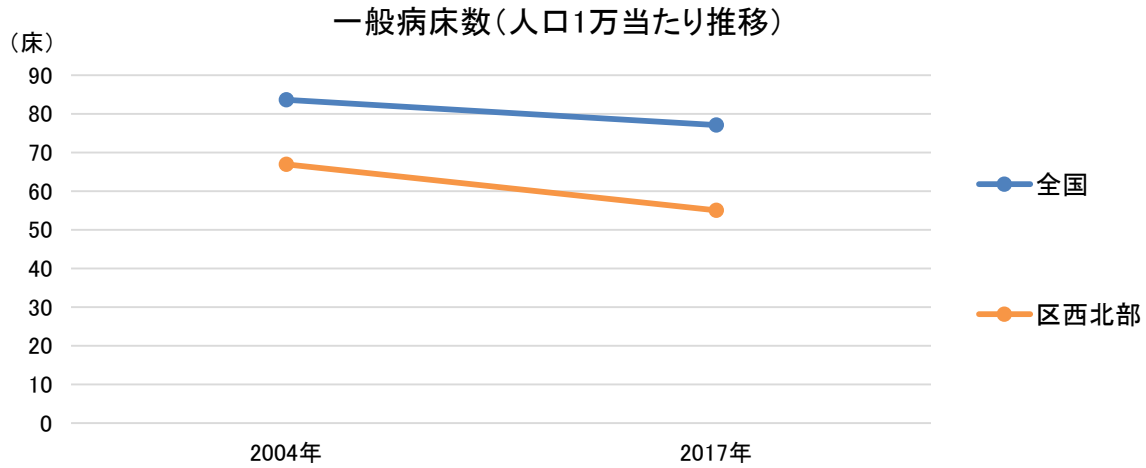
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,844人(人口10万人当たり214人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2016年に4,730人(人口10万人当たり247人(全国平均240人)偏差値51)と、886人の増加、率にして23%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



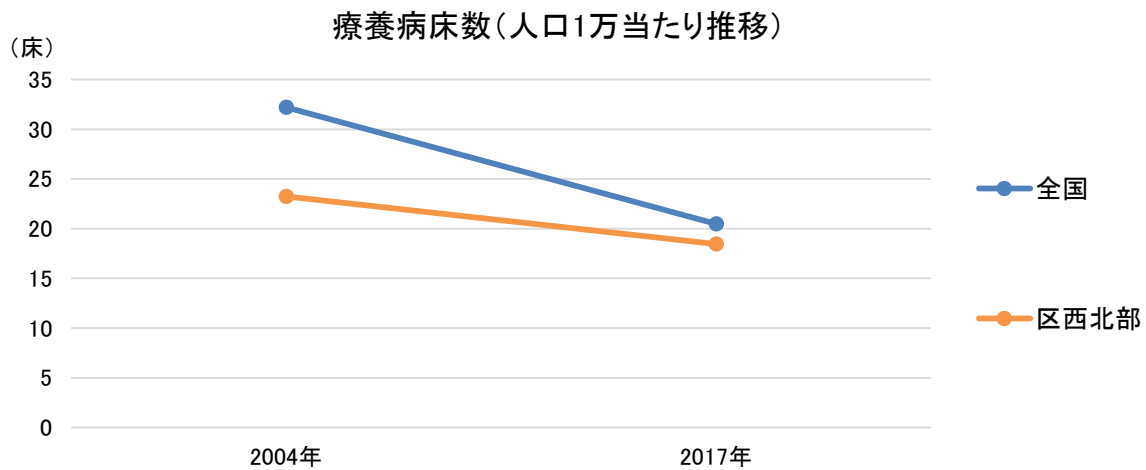
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12,029床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2017年に10,554床(人口1万人当たり55(全国平均77)偏差値42)と、1,475床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



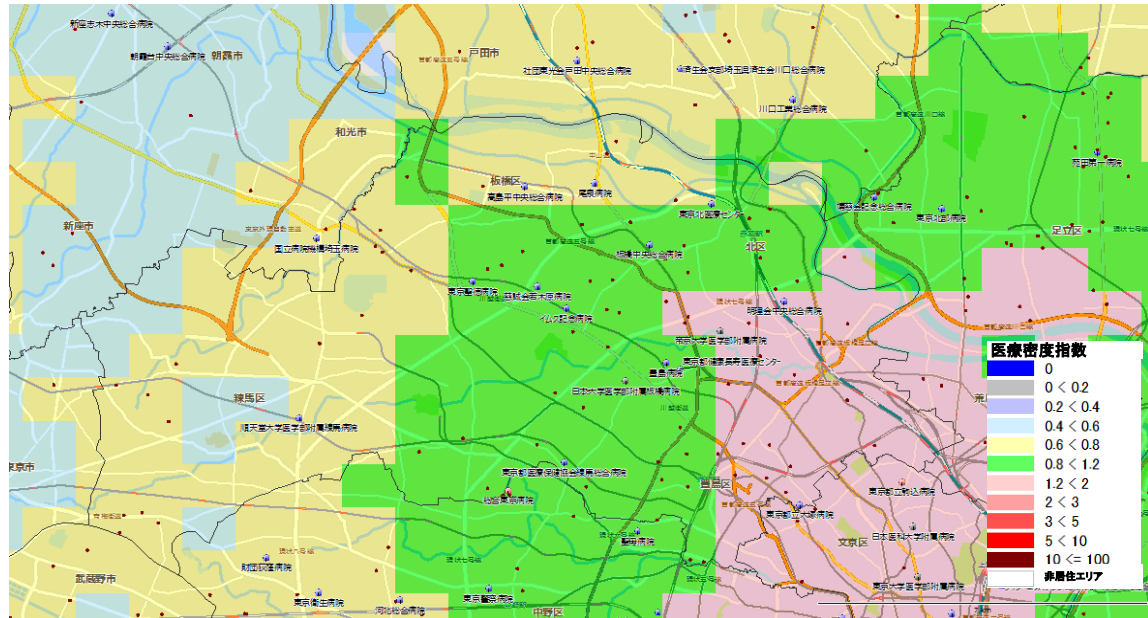
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,516床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に3,963床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、447床の増加、率にして13%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



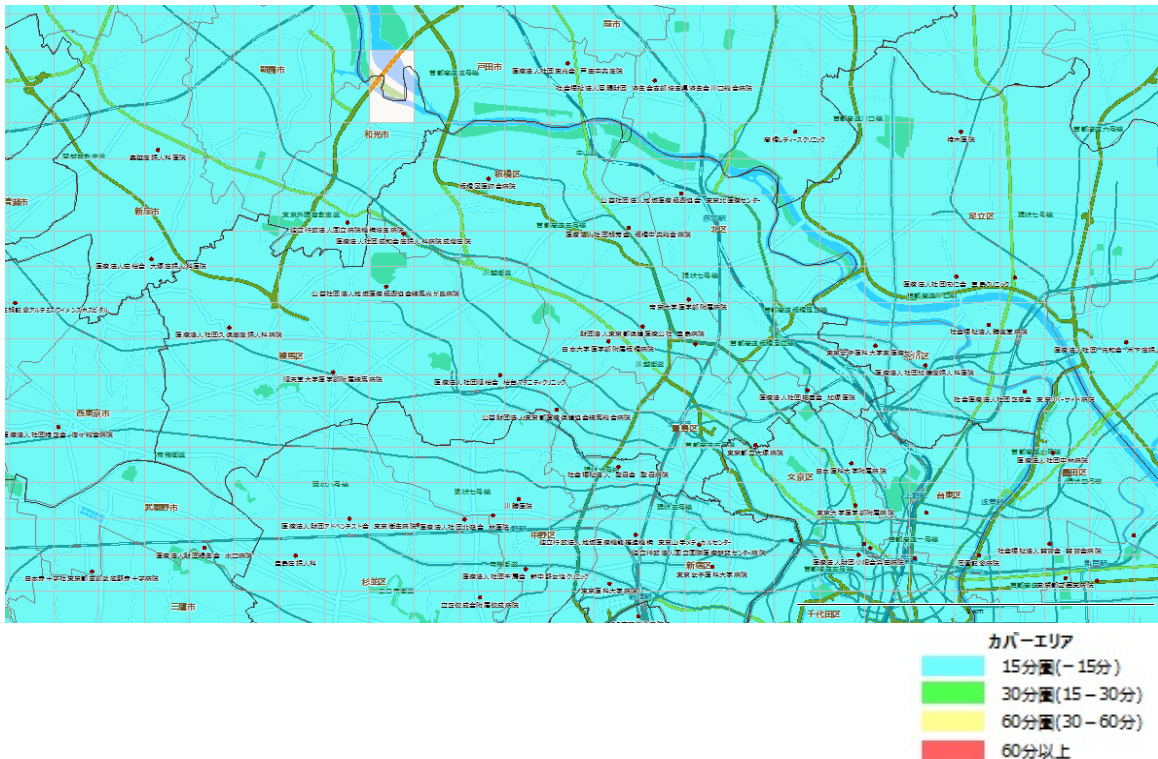
(区西北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

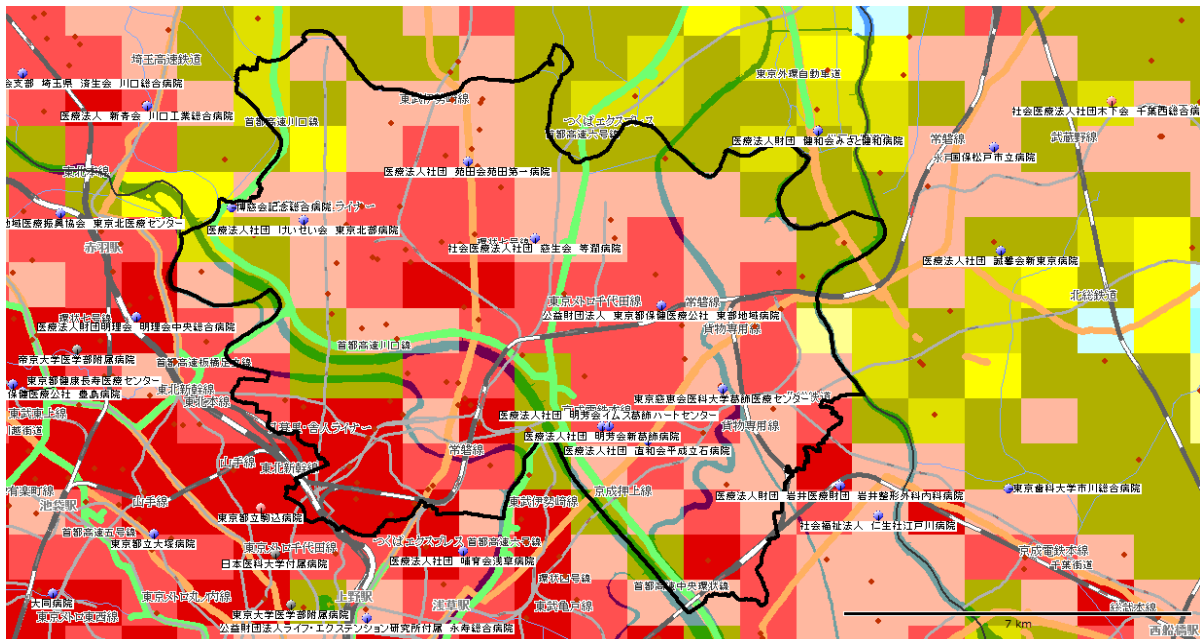


13-6. くとうほくぶ 区東北部医療圏

構成市区町村 [荒川区](#) [足立区](#) [葛飾区](#)

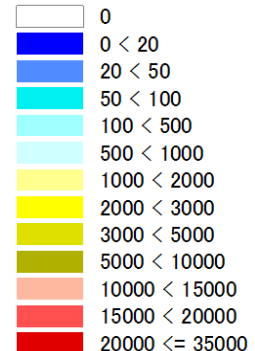
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



(区東北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 区東北部(荒川区)は、総人口約1,325千人(2015年)、面積98km²、人口密度は13,495人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 区東北部の総人口は2025年に1,299千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に1,240千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の157千人が、2025年にかけて191千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には178千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 区東北部の一人当たり医療費(国保)は313千円(偏差値42)、介護給付費は264千円(偏差値53)であり、医療費は低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 区東北部の一人当たり急性期医療密度指数は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数は0.54で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数39、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。区東北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東京慈恵会医科大学葛飾医療センター(Ⅲ群)、東京女子医科大学東医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の東部地域病院(Ⅲ群)、500例以上の平成立石病院(Ⅲ群)、苑田第一病院(Ⅲ群)、東京北部病院(Ⅲ群)、博慈会記念総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 区東北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15,386人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が8,314床(偏差値43)、高齢者住宅等が7,072床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10,822人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム57、軽費ホーム45、グループホーム43、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値62と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2,630人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区東北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区東北部医療圏の総人口は、2005年1,240,892人が、2015年に1,325,299人と7%増加し、2025年の人口が1,298,951人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

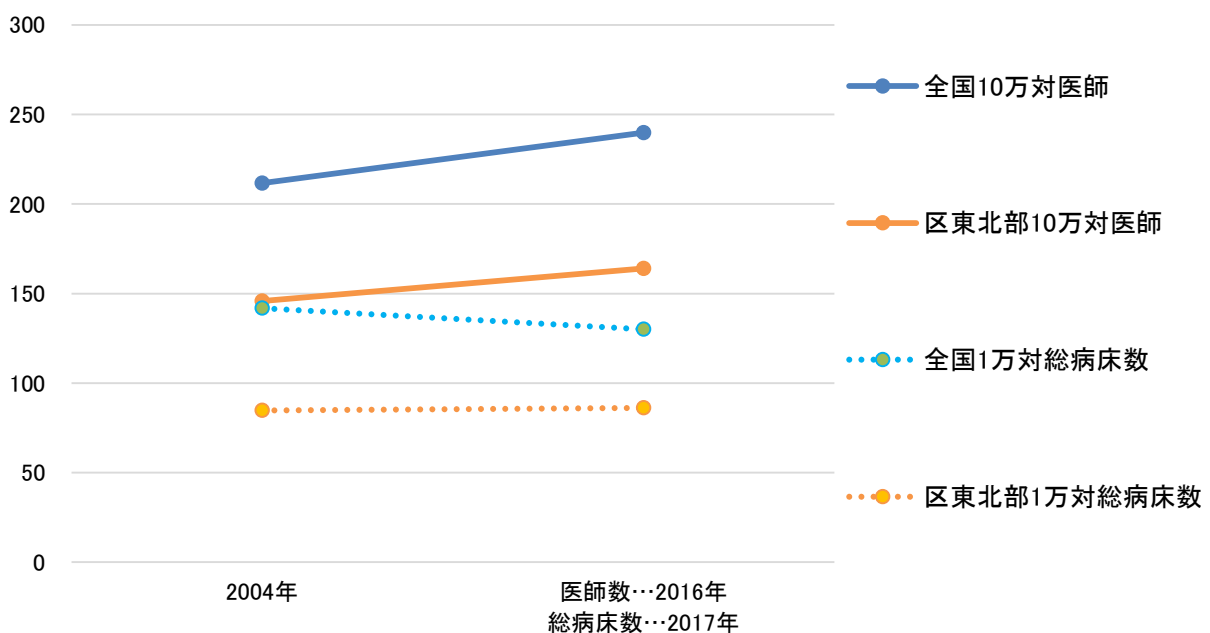
2004年の病院数が80(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2017年に91(人口10万人当たり6.9病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で11病院が増加した。

2004年の診療所数が892(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2017年に963(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、71診療所が増加した。

2004年の総病床数が10,518床(人口1万人当たり85(全国平均142)偏差値40)であったが、2017年に11,424床(人口1万人当たり86(全国平均130)偏差値42)と、906床の増加、率にして9%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,809人(人口10万人当たり146人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に2,173人(人口10万人当たり164人(全国平均240人)偏差値42)と、364人の増加、率にして20%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

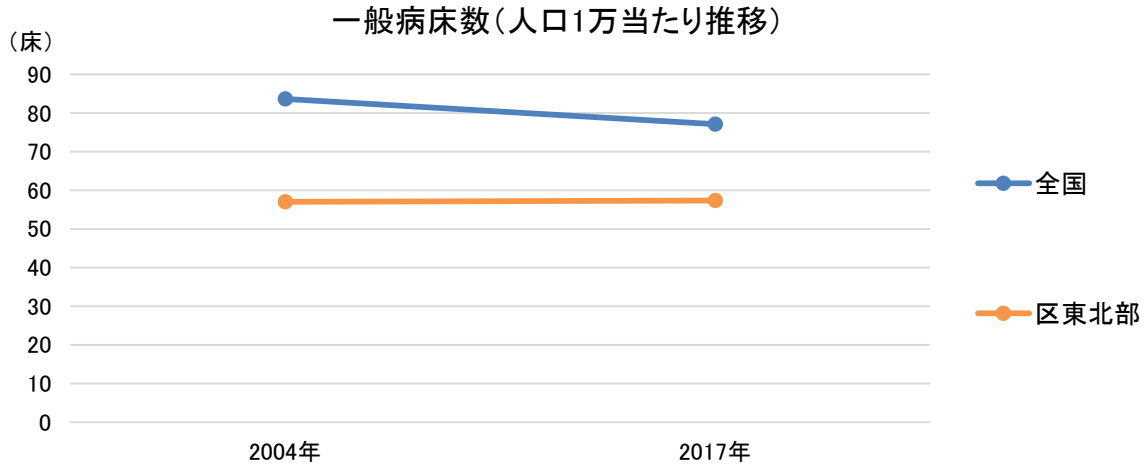
人口当たり医師数・総病床数の推移



13.東京都(2018年版)

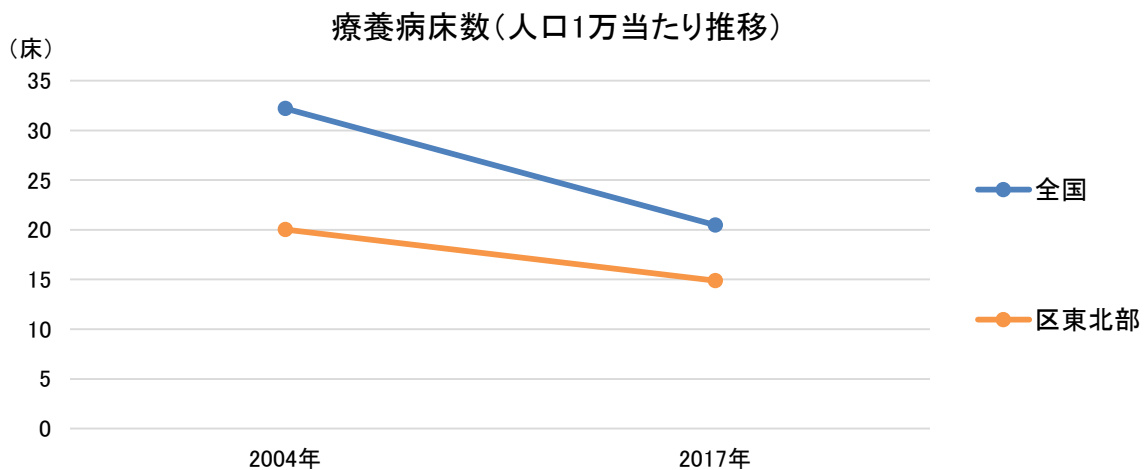
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,076床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値41)であったが、2017年に7,598床(人口1万人当たり57(全国平均77)偏差値42)と、522床の増加、率にして7%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



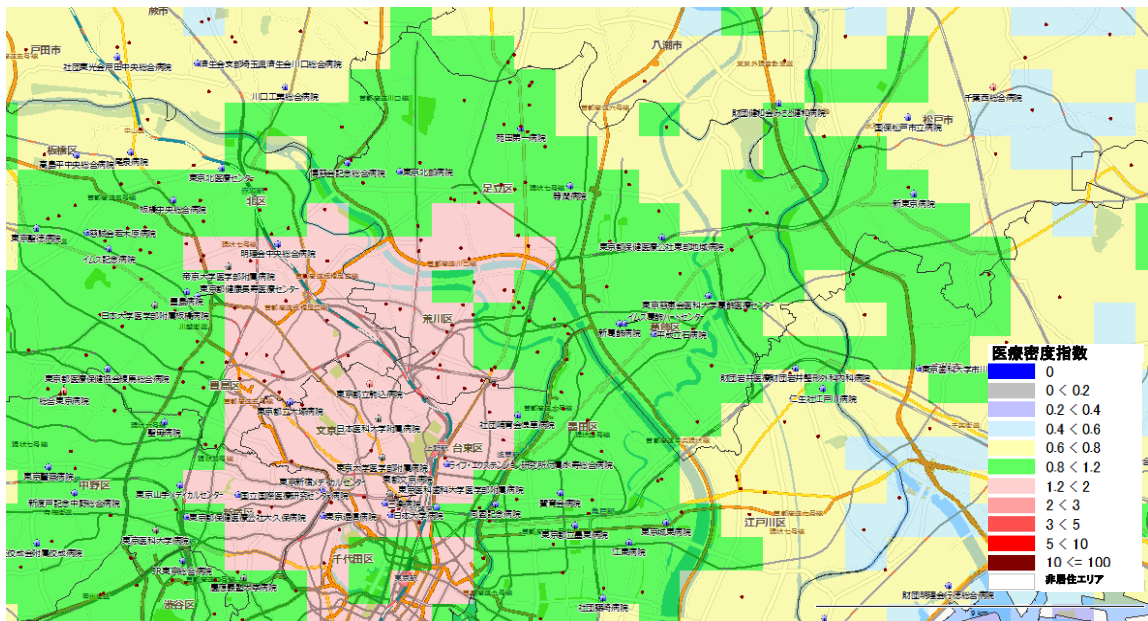
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,942床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に2,336床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、394床の増加、率にして20%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



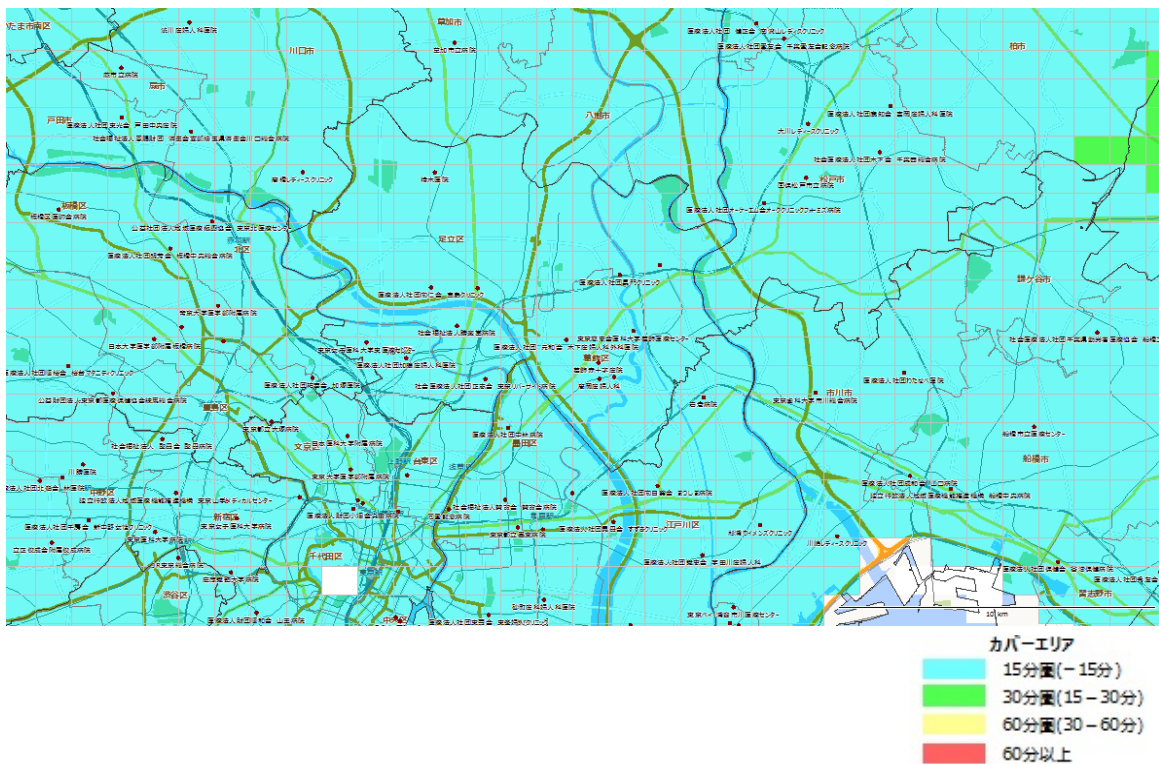
(区東北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-6-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

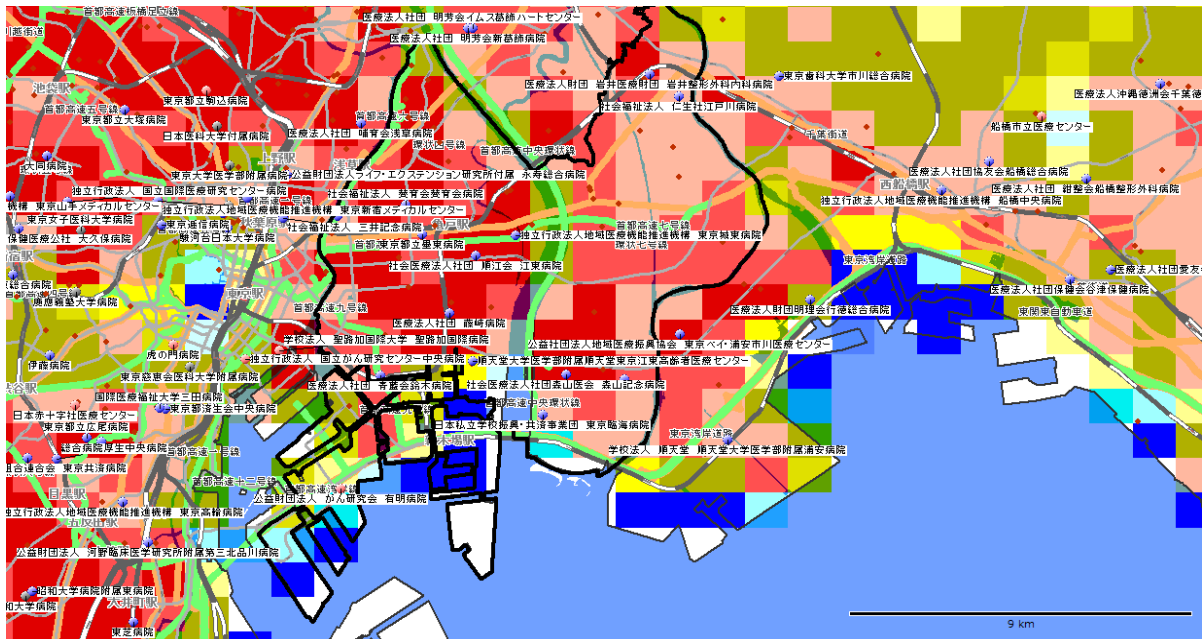


くとうぶ 13-7. 区東部医療圏

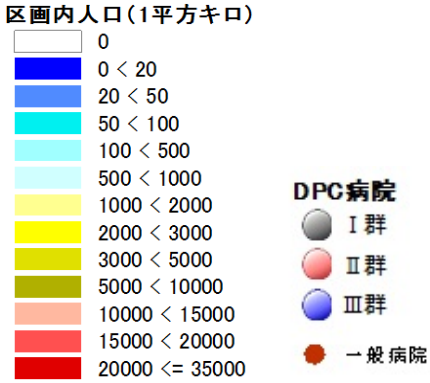
構成市区町村 [墨田区](#) [江東区](#) [江戸川区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(区東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 区東部(墨田区)は、総人口約1,436千人(2015年)、面積104km²、人口密度は13,827人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 区東部の総人口は2025年に1,480千人へと増加し(2015年比+3%)、2040年に1,482千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の139千人が、2025年にかけて179千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には175千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 区東部の一人当たり医療費(国保)は319千円(偏差値44)、介護給付費は229千円(偏差値43)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 区東部の一人当たり急性期医療密度指数は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数は0.31で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数43、診療所医師数49)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。区東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の江戸川病院(Ⅲ群)、昭和大学江東豊洲病院(Ⅲ群)、がん研有明病院(Ⅱ群)、東京都立墨東病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の東京臨海病院(Ⅲ群)、岩井整形外科内科病院(Ⅲ群)、江東病院(Ⅲ群)、東京曳舟病院(Ⅲ群)、同愛記念病院(Ⅲ群)、500例以上の森山記念病院(Ⅲ群)、順天堂東京江東高齢者医療センター(Ⅲ群)、藤崎病院(Ⅲ群)、賛育会病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値41と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は38で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 区東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,945人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,873床(偏差値35)、高齢者住宅等が5,072床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,999人(75歳以上1,000人当たりの偏差値31)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム39、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム59、軽費ホーム47、グループホーム43、サ高住33である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,850人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-36%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区東部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区東部医療圏の総人口は、2005年1,305,962人が、2015年に1,435,681人と10%増加し、2025年の人口が1,480,371人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

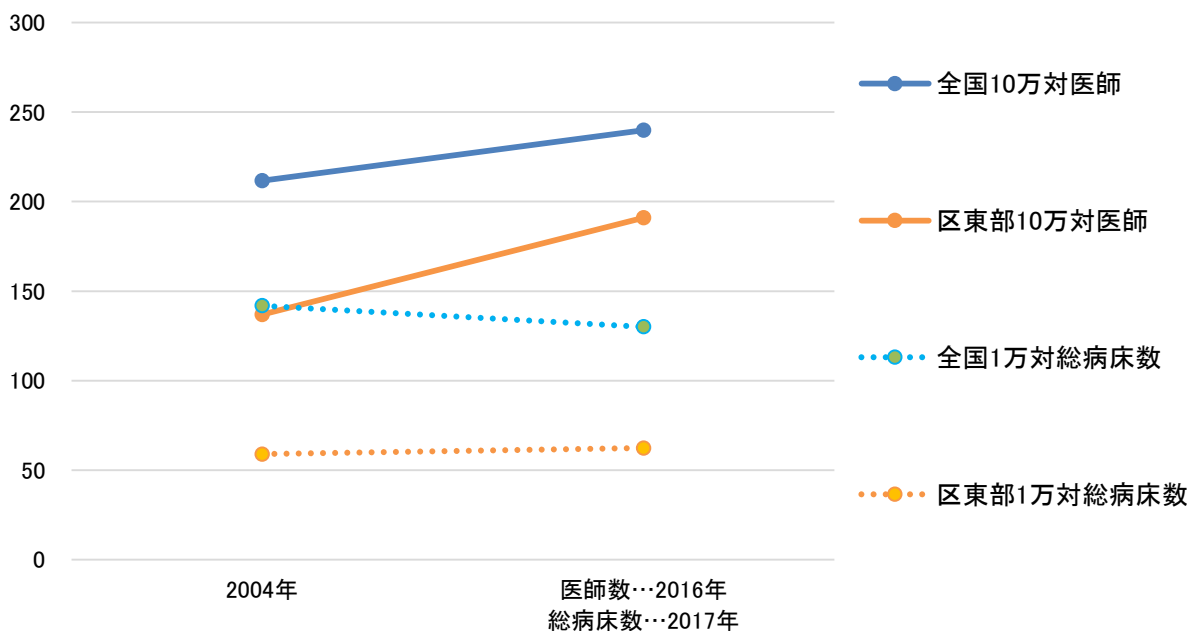
2004年の病院数が51(人口10万人当たり3.9病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2017年に54(人口10万人当たり3.8病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で3病院が増加した。

2004年の診療所数が914(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2017年に1,058(人口10万人当たり74診療所(全国平均80)偏差値47)と、144診療所が増加した。

2004年の総病床数が7,697床(人口1万人当たり59(全国平均142)偏差値35)であったが、2017年に8,955床(人口1万人当たり62(全国平均130)偏差値37)と、1,258床の増加、率にして16%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

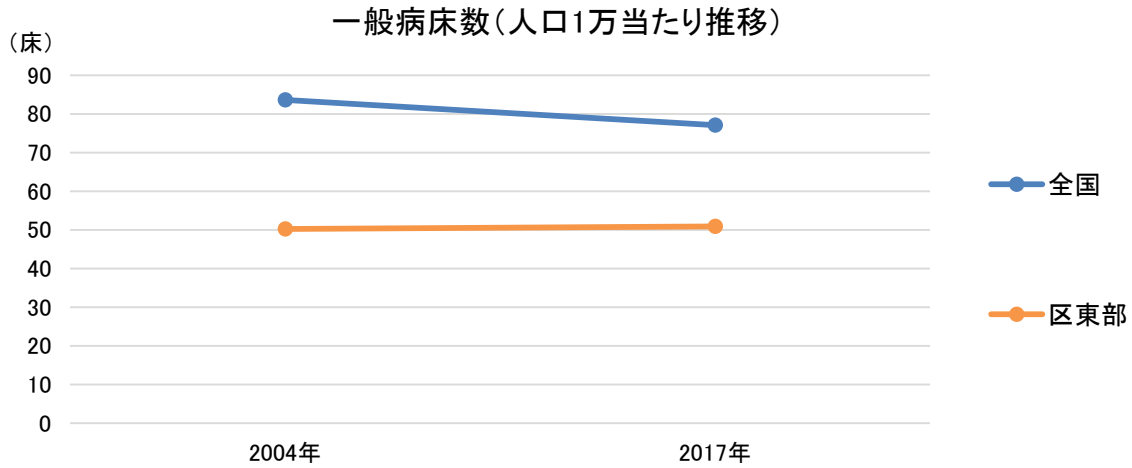
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,788人(人口10万人当たり137人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2016年に2,741人(人口10万人当たり191人(全国平均240人)偏差値45)と、953人の増加、率にして53%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



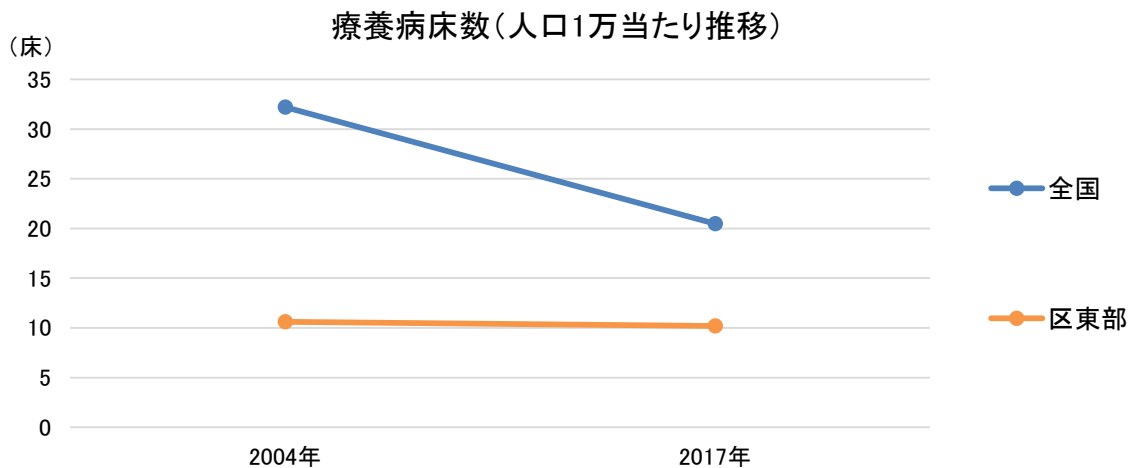
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,566床(人口1万人当たり50(全国平均84)偏差値38)であったが、2017年に7,310床(人口1万人当たり51(全国平均77)偏差値40)と、744床の増加、率にして11%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



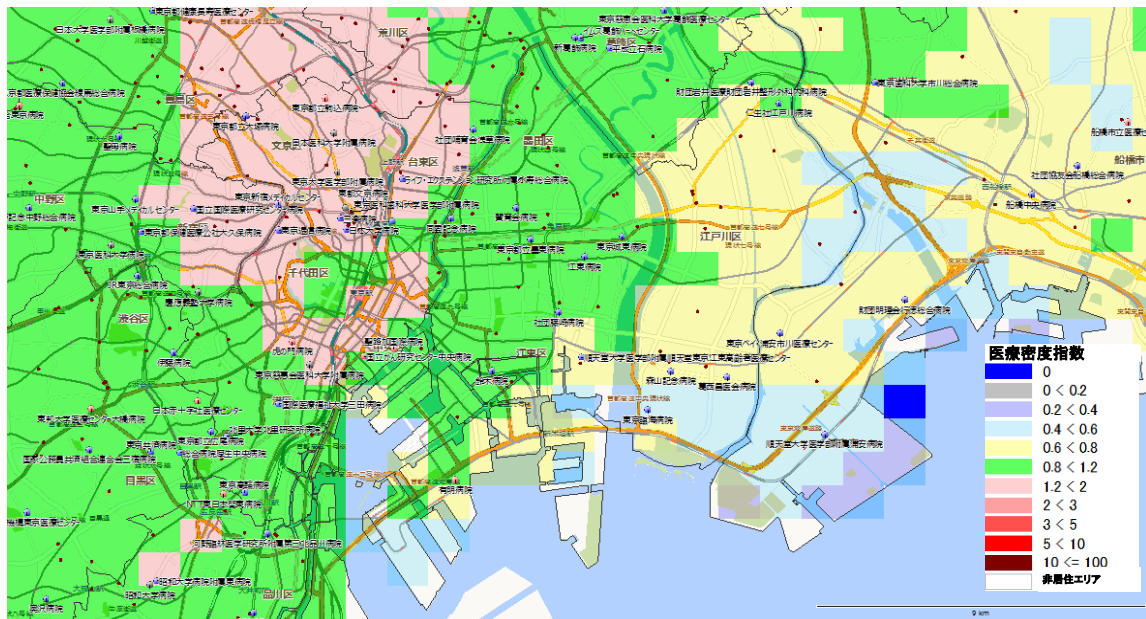
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が896床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2017年に1,420床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、524床の増加、率にして58%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



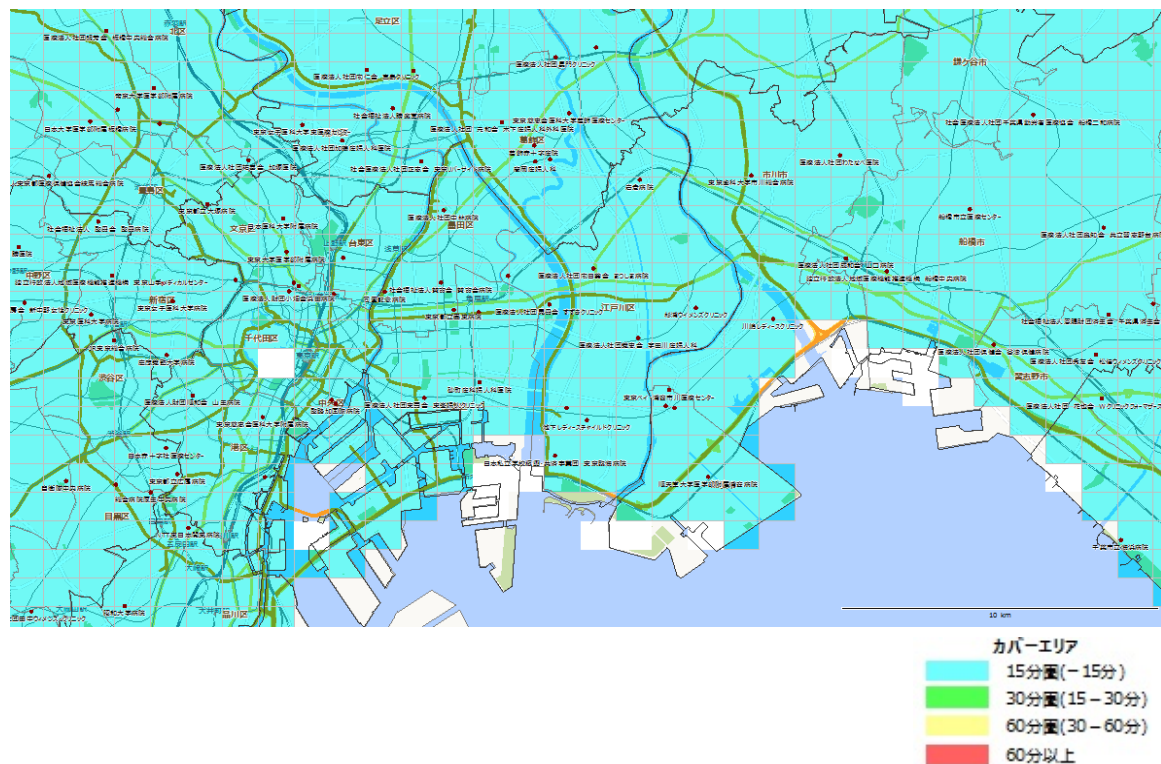
(区東部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

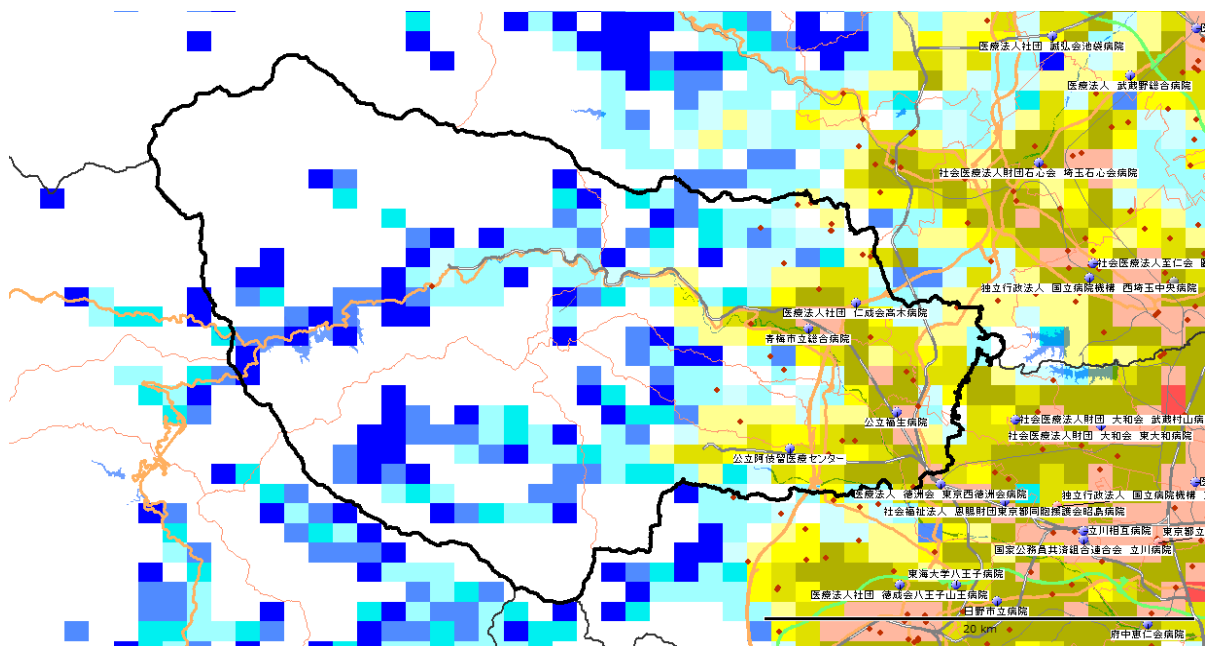


13-8. にしたま 西多摩医療圏

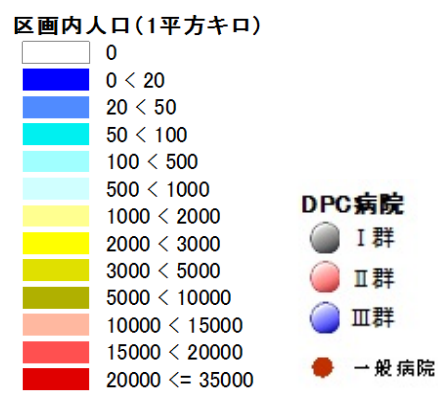
構成市区町村 [青梅市](#) [福生市](#) [羽村市](#) [あきる野市](#)
[瑞穂町](#) [日の出町](#) [檜原村](#) [奥多摩町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(西多摩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西多摩(青梅市)は、総人口約391千人(2015年)、面積573km²、人口密度は683人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西多摩の総人口は2025年に365千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に314千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて71千人へと増加し(2015年比+39%)、2040年には72千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西多摩の一人当たり医療費(国保)は318千円(偏差値43)、介護給付費は206千円(偏差値37)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西多摩の一人当たり急性期医療密度指数は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数は1.84で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数43、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。西多摩には、年間全身麻酔件数が1000例以上の公立福生病院(Ⅲ群)、青梅市立総合病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の公立阿伎留医療センター(Ⅲ群)、高木病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は66と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西多摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,983人(75歳以上1,000人当たりの偏差値105)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8,895床(偏差値142)、高齢者住宅等が1,088床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,878人(75歳以上1,000人当たりの偏差値101)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム147、介護療養型医療施設80、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム35、サ高住40である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、332人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+45%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

(西多摩医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

西多摩医療圏の総人口は、2005年398,832人が、2015年に390,897人と2%減少し、2025年の人口が364,620人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

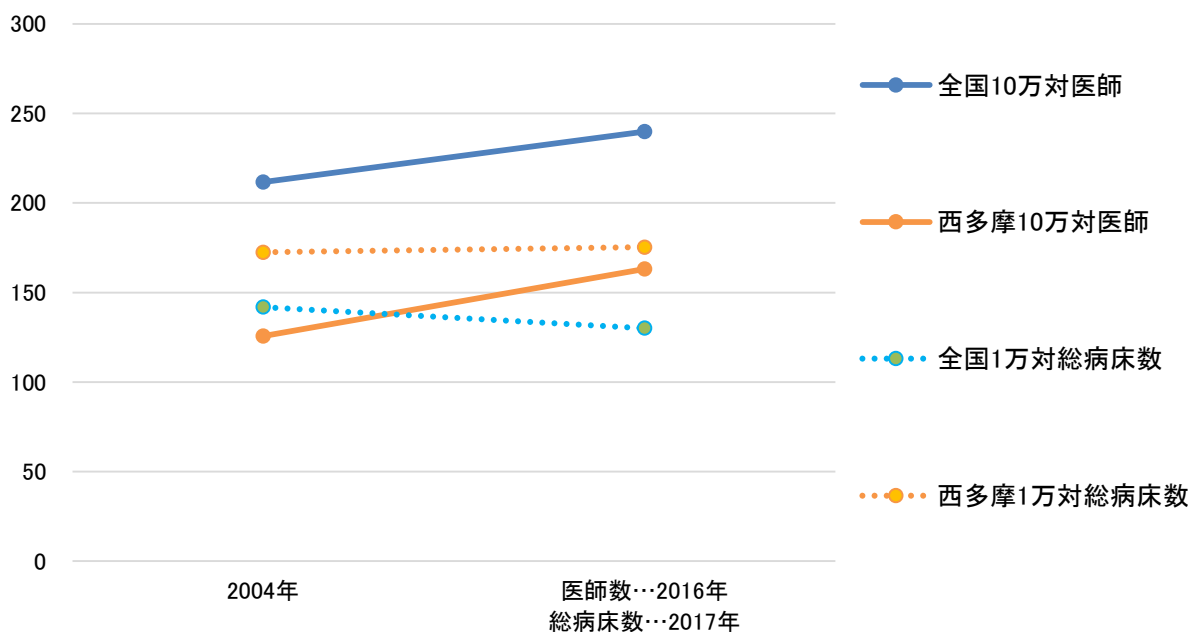
2004年の病院数が29(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2017年に30(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、13年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が253(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2017年に243(人口10万人当たり62診療所(全国平均80)偏差値41)と、10診療所が減少した。

2004年の総病床数が6,880床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値55)であったが、2017年に6,854床(人口1万人当たり175(全国平均130)偏差値58)と、26床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が501人(人口10万人当たり126人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2016年に638人(人口10万人当たり163人(全国平均240人)偏差値41)と、137人の増加、率にして27%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

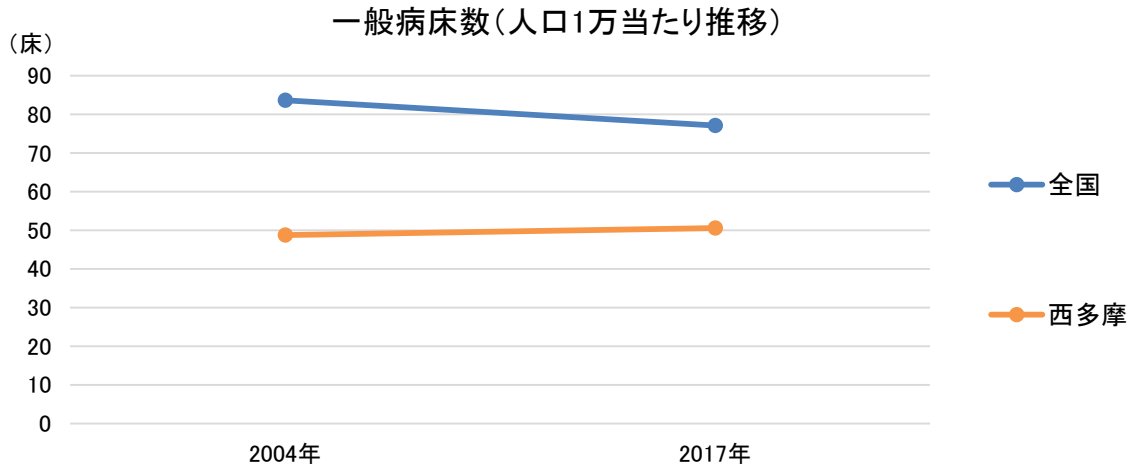
人口当たり医師数・総病床数の推移



13.東京都(2018年版)

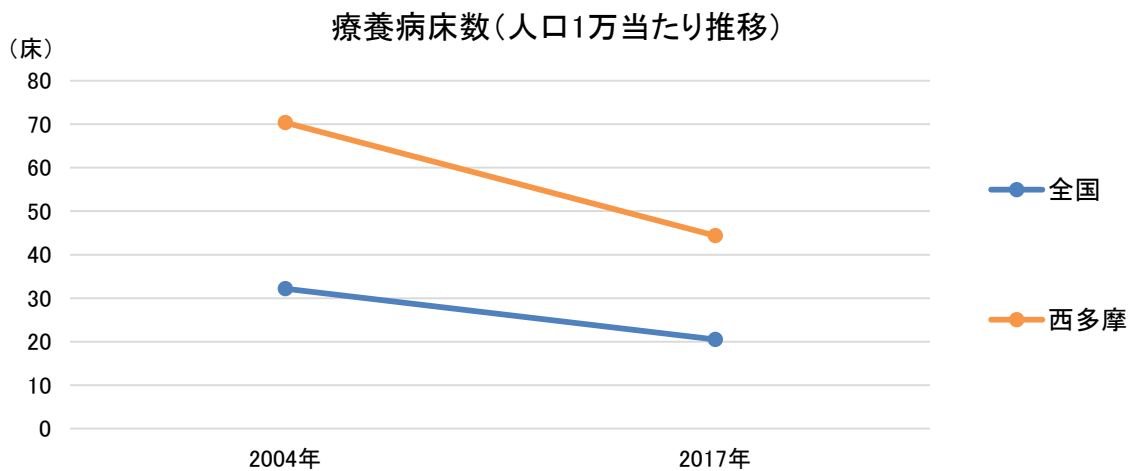
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,944床(人口1万人当たり49(全国平均84)偏差値38)であったが、2017年に1,979床(人口1万人当たり51(全国平均77)偏差値40)と、35床の増加、率にして2%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



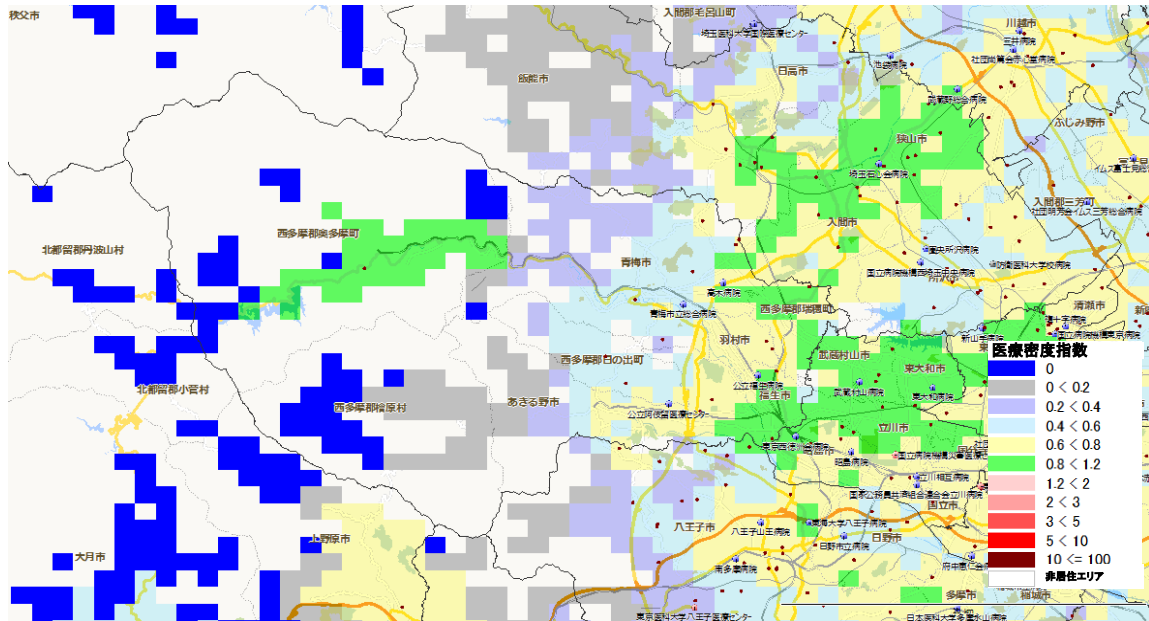
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,348床(75歳以上1,000人当たり70(全国平均32)偏差値72)であったが、2017年に2,256床(75歳以上1,000人当たり44(全国平均20)偏差値71)と、92床の減少、率にして4%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



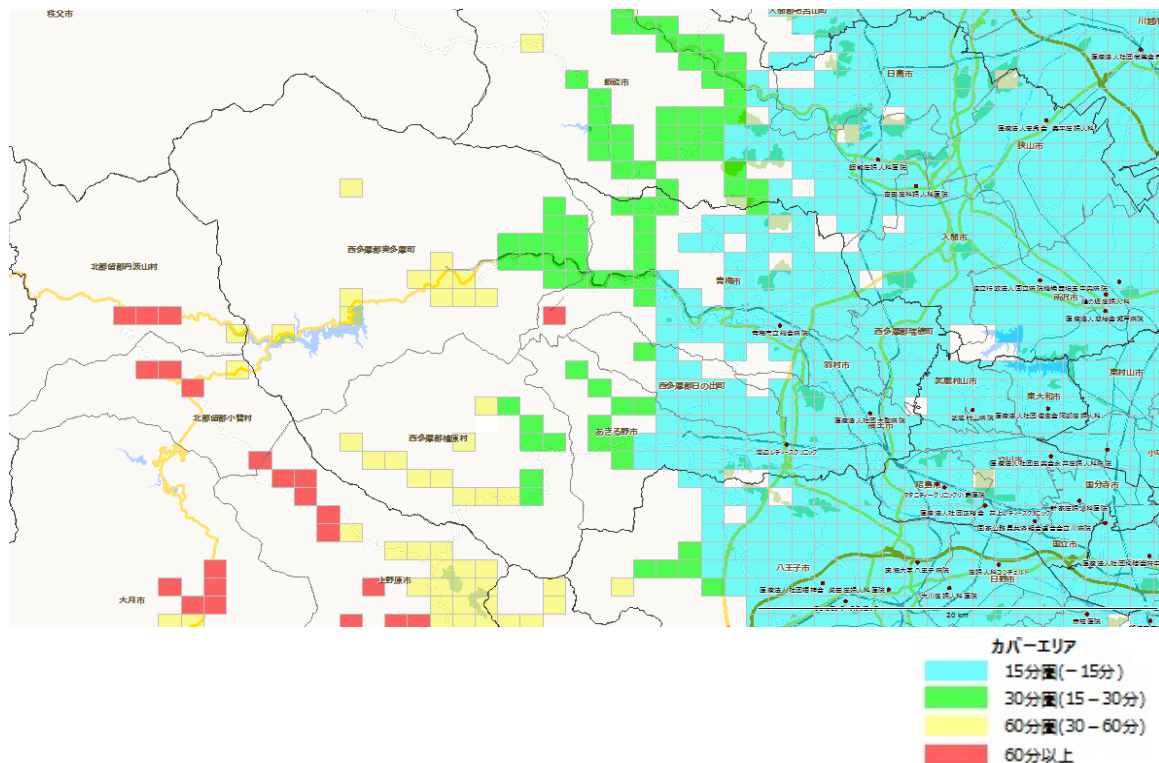
(西多摩医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-8-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

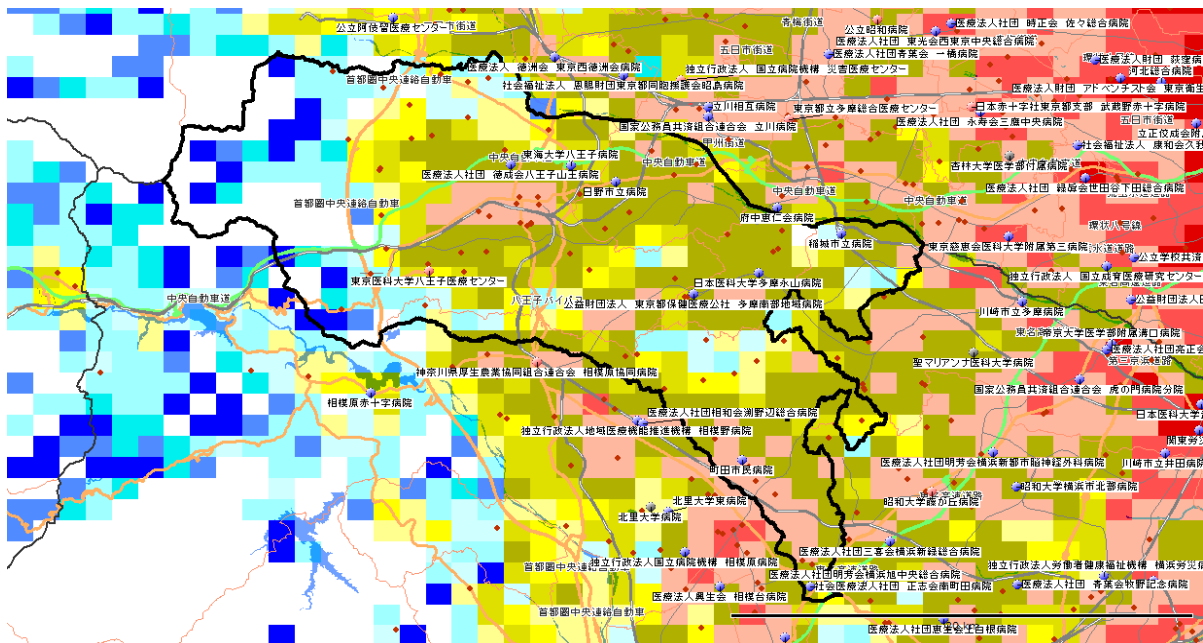


13-9. みなみたま 南多摩医療圏

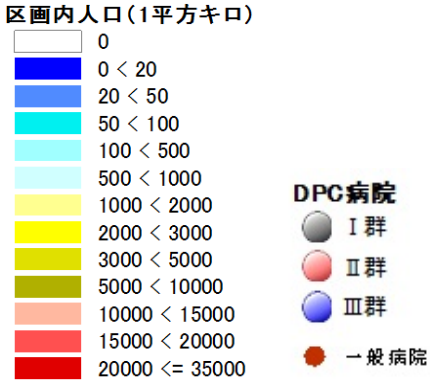
構成市区町村 [八王子市](#) [町田市](#) [日野市](#) [多摩市](#)
[稲城市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(南多摩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 南多摩(八王子市)は、総人口約1,430千人(2015年)、面積325km²、人口密度は4,405人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 南多摩の総人口は2025年に1,412千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に1,307千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の163千人が、2025年にかけて245千人へと増加し(2015年比+50%)、2040年には257千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 南多摩の一人当たり医療費(国保)は325千円(偏差値45)、介護給付費は219千円(偏差値40)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 南多摩の一人当たり急性期医療密度指数は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数は1.01で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。南多摩には、年間全身麻酔件数が2000例以上の日本医科大学多摩永山病院(Ⅲ群・救命)、東海大学医学部付属八王子病院(Ⅲ群)、東京医科大学八王子医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の稲城市立病院(Ⅲ群)、多摩南部地域病院(Ⅲ群)、日野市立病院(Ⅲ群)、町田市民病院(Ⅲ群)、500例以上の南町田病院(Ⅲ群)、南多摩病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 南多摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18,890人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,665床(偏差値48)、高齢者住宅等が9,225床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11,666人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム72、軽費ホーム44、グループホーム39、サ高住47である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,723人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(南多摩医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

南多摩医療圏の総人口は、2005年1,364,453人が、2015年に1,430,411人と5%増加し、2025年の人口が1,411,574人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に23%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

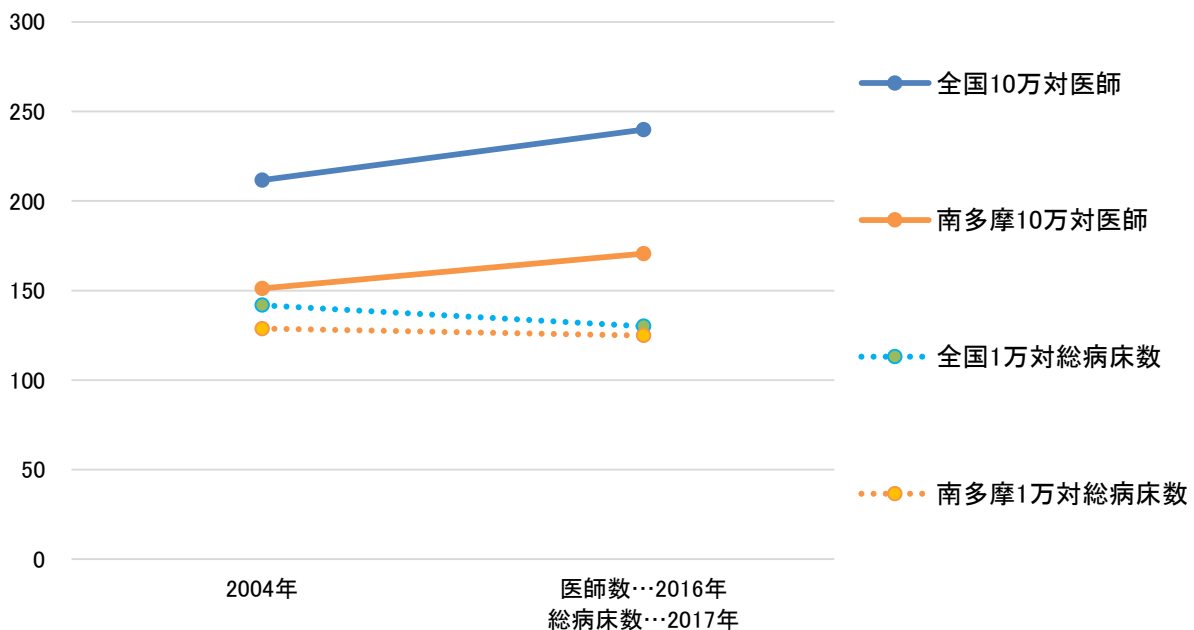
2004年の病院数が76(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に78(人口10万人当たり5.5病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、13年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が911(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2017年に979(人口10万人当たり68診療所(全国平均80)偏差値44)と、68診療所が増加した。

2004年の総病床数が17,567床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に17,860床(人口1万人当たり125(全国平均130)偏差値49)と、293床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

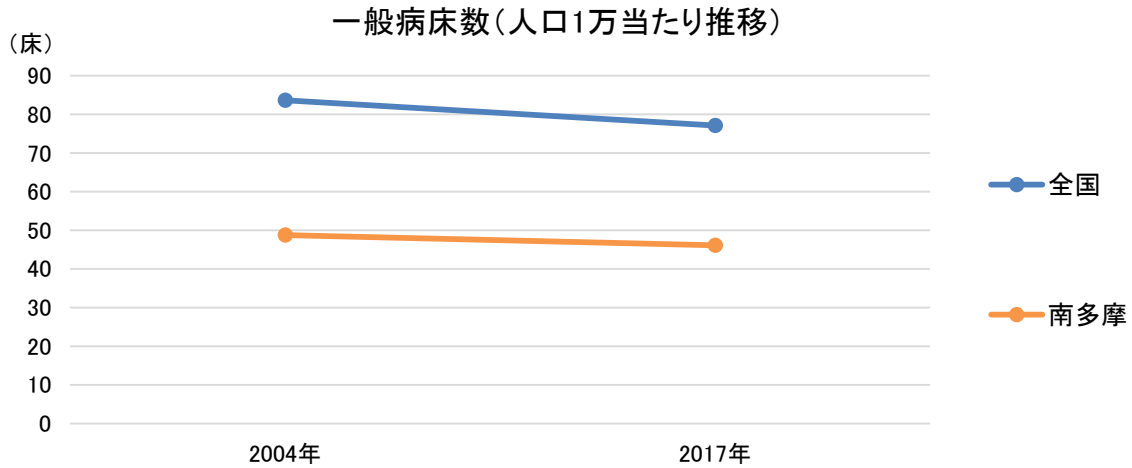
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,064人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に2,441人(人口10万人当たり171人(全国平均240人)偏差値42)と、377人の増加、率にして18%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



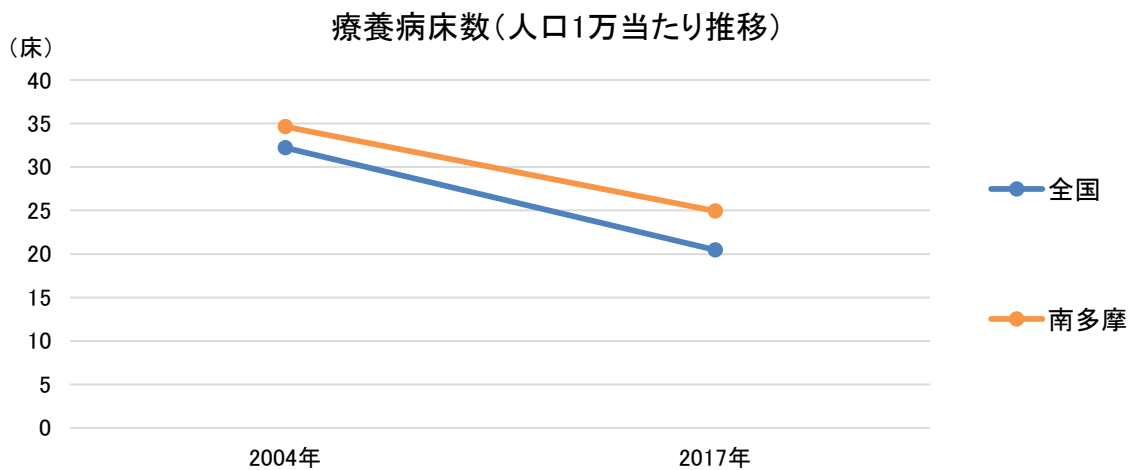
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,654床(人口1万人当たり49(全国平均84)偏差値38)であったが、2017年に6,599床(人口1万人当たり46(全国平均77)偏差値38)と、55床の減少、率にして1%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



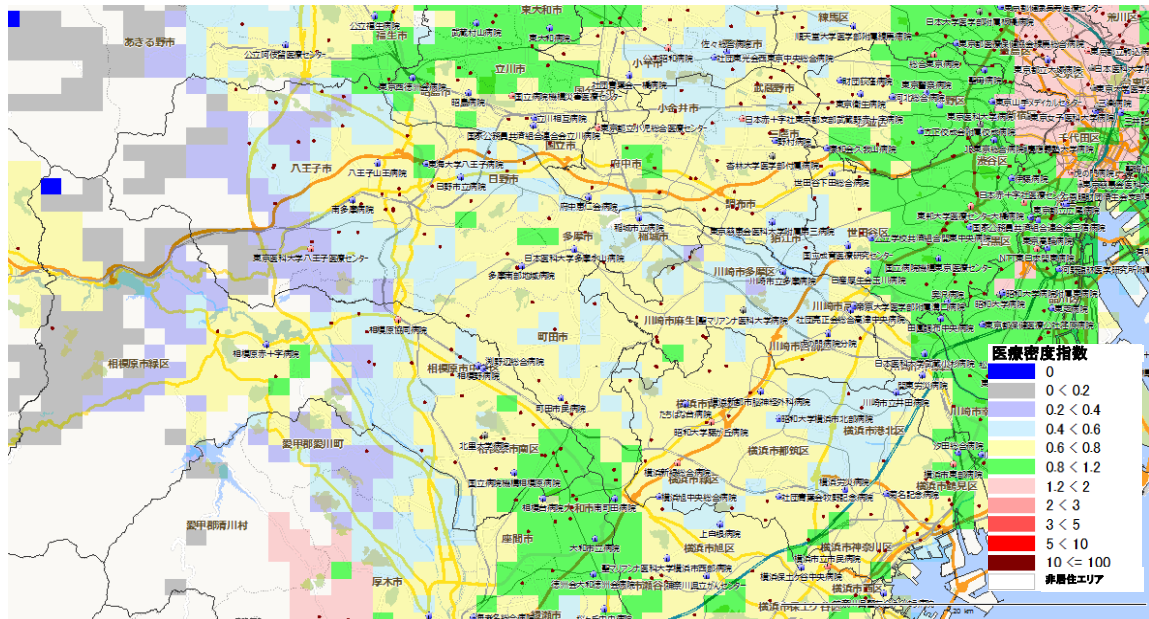
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,185床(75歳以上1,000人当たり35(全国平均32)偏差値51)であったが、2017年に4,078床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均20)偏差値54)と、893床の増加、率にして28%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



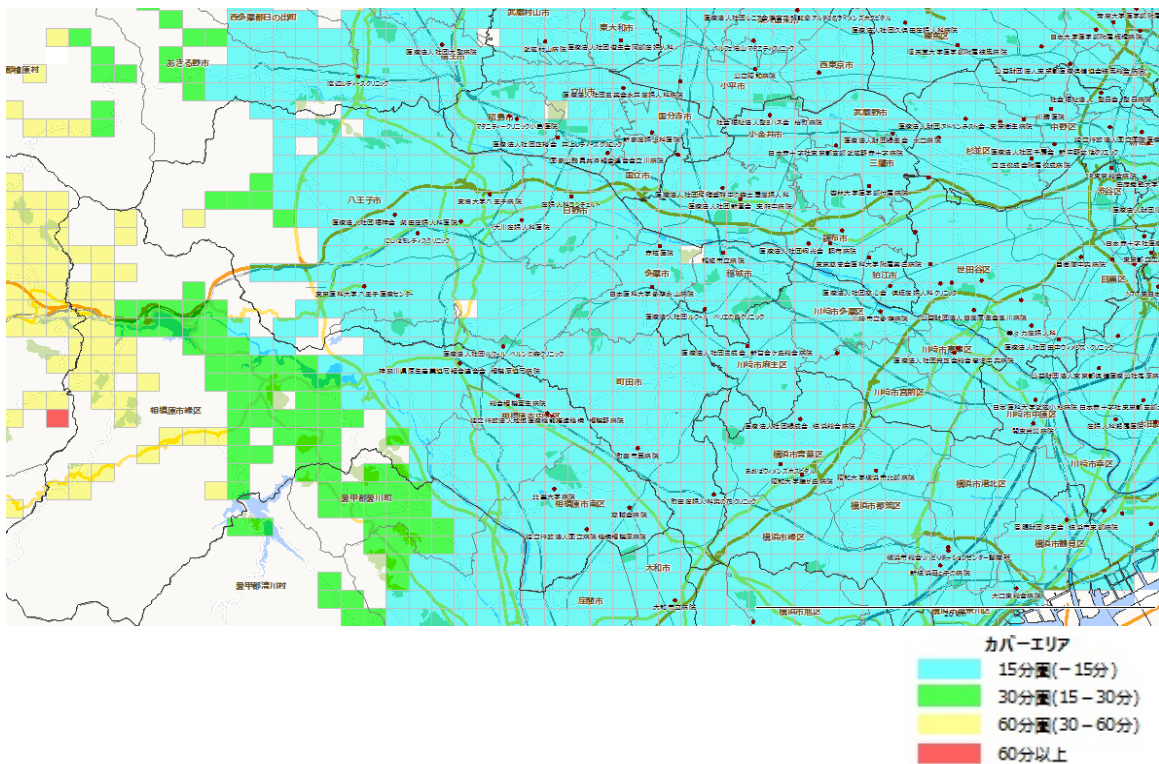
(南多摩医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-9-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

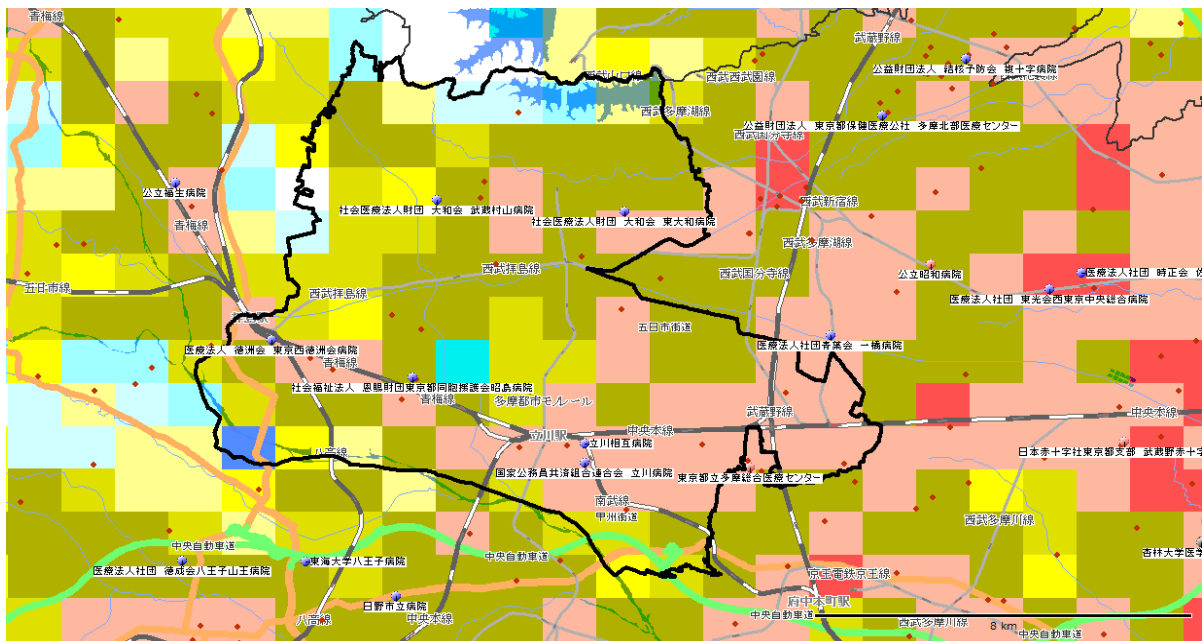


きたたませいぶ 13-10. 北多摩西部医療圏

構成市区町村 [立川市](#) [昭島市](#) [国分寺市](#) [国立市](#)
[東大和市](#) [武蔵村山市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(北多摩西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北多摩西部(立川市)は、総人口約641千人(2015年)、面積90km²、人口密度は7,114人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北多摩西部の総人口は2025年に640千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に616千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の72千人が、2025年にかけて98千人へと増加し(2015年比+36%)、2040年には105千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北多摩西部の一人当たり医療費(国保)は312千円(偏差値42)、介護給付費は231千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北多摩西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.77で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数41、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。北多摩西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の立川病院(Ⅲ群)、1000例以上のNH0災害医療センター(Ⅲ群・救命)、東大和病院(Ⅲ群)、東京西徳洲会病院(Ⅲ群)、立川相互病院(Ⅲ群)、500例以上の武蔵村山病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は38で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北多摩西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,206人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4,219床(偏差値48)、高齢者住宅等が2,987床(偏差値49)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,662人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム56、軽費ホーム44、グループホーム40、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、927人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-30%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北多摩西部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

北多摩西部医療圏の総人口は、2005年618,886人が、2015年に640,617人と4%増加し、2025年の人口が640,428人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

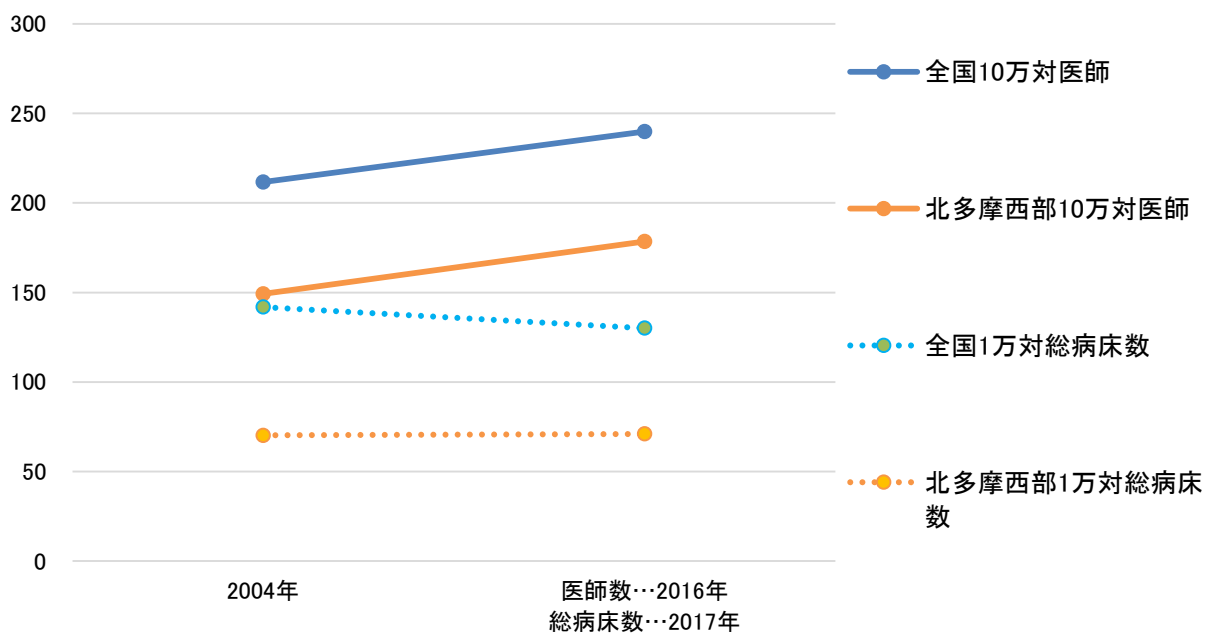
2004年の病院数が23(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2017年に25(人口10万人当たり3.9病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が469(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に502(人口10万人当たり78診療所(全国平均80)偏差値49)と、33診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,344床(人口1万人当たり70(全国平均142)偏差値37)であったが、2017年に4,551床(人口1万人当たり71(全国平均130)偏差値39)と、207床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が924人(人口10万人当たり149人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に1,143人(人口10万人当たり178人(全国平均240人)偏差値43)と、219人の増加、率にして24%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

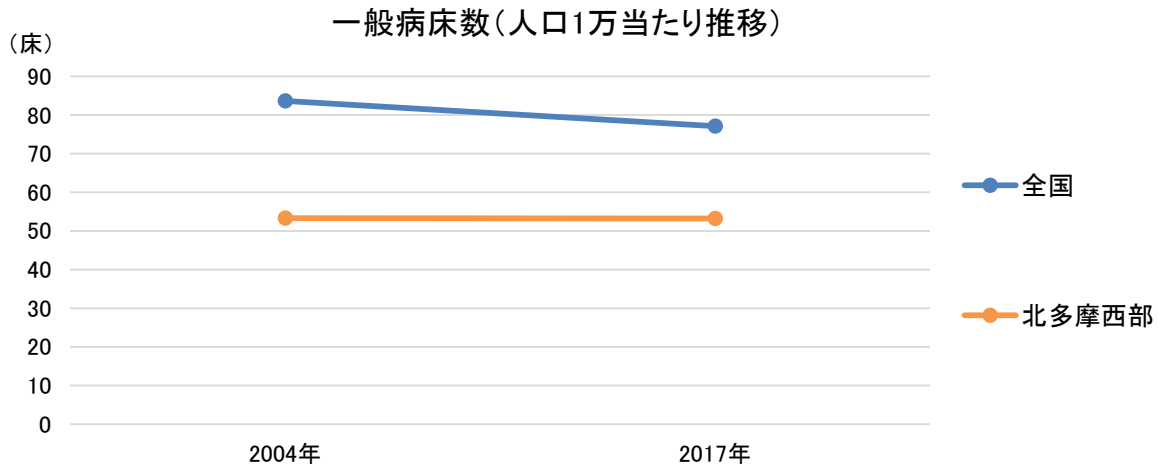
人口当たり医師数・総病床数の推移



13.東京都(2018年版)

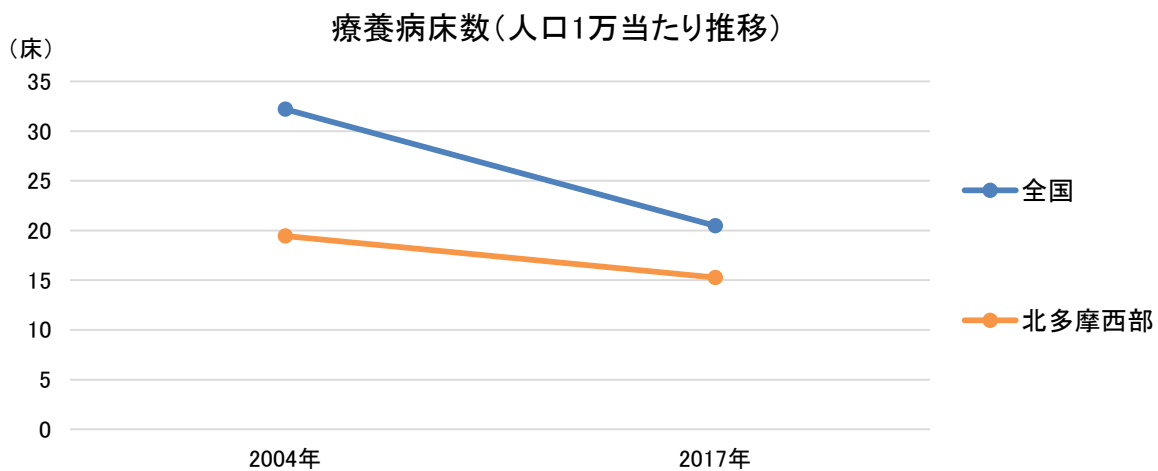
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,301床(人口1万人当たり53(全国平均84)偏差値39)であったが、2017年に3,410床(人口1万人当たり53(全国平均77)偏差値41)と、109床の増加、率にして3%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



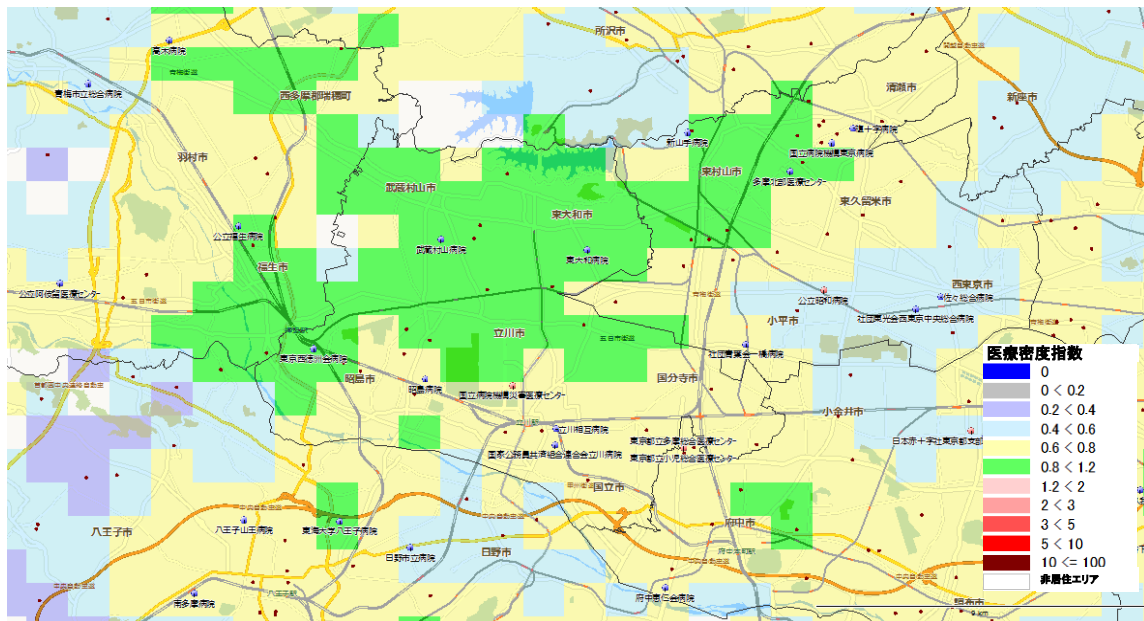
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が843床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に1,097床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、254床の増加、率にして30%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



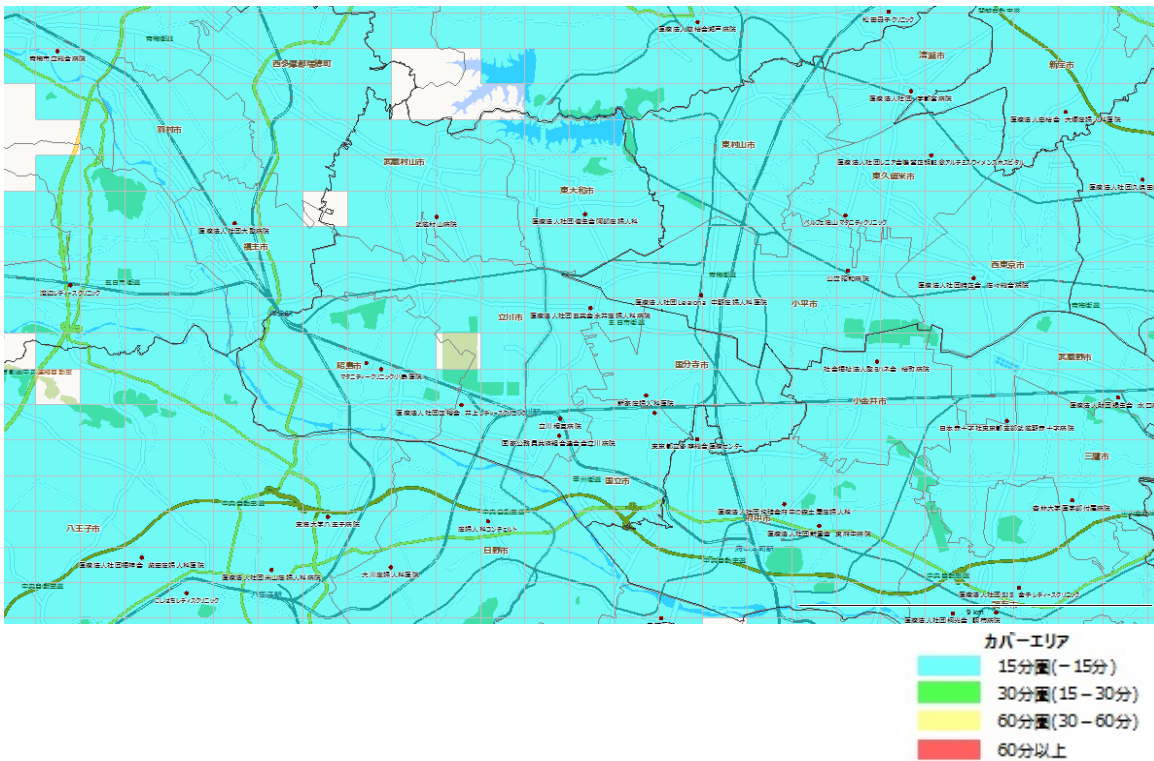
(北多摩西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-10-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

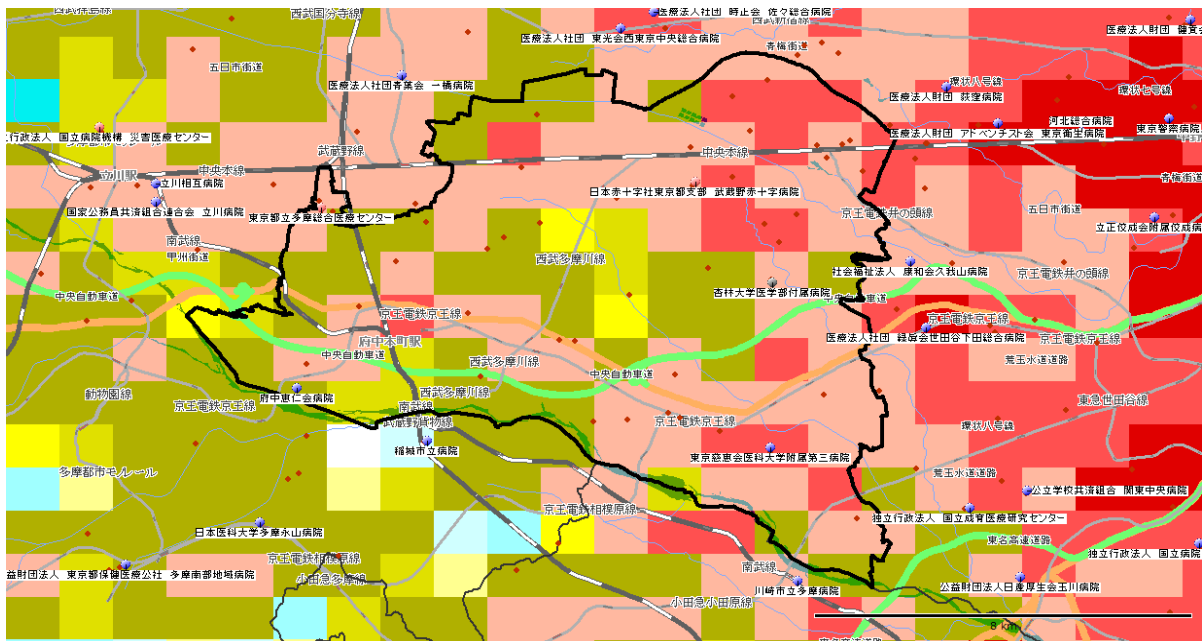


きたたまななぶ 13-11. 北多摩南部医療圏

構成市区町村 [武蔵野市](#) [三鷹市](#) [府中市](#) [調布市](#)
[小金井市](#) [狛江市](#)

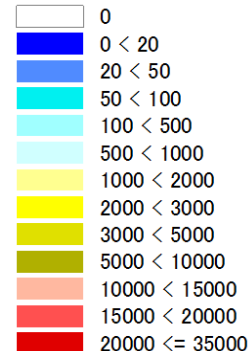
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群
- 一般病院

(北多摩南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北多摩南部(武蔵野市)は、総人口約1,023千人(2015年)、面積96km²、人口密度は10,641人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北多摩南部の総人口は2025年に1,046千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に1,037千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の107千人が、2025年にかけて143千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には163千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北多摩南部の一人当たり医療費(国保)は304千円(偏差値40)、介護給付費は251千円(偏差値50)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北多摩南部の一人当たり急性期医療密度指数は0.71、一人当たり慢性期医療密度指数は0.53で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が56(病院医師数56、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。北多摩南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東京慈恵会医科大学附属第三病院(Ⅲ群)、東京都立小児総合医療センター(Ⅲ群)、東京都立多摩総合医療センター(Ⅱ群・救命)、武蔵野赤十字病院(Ⅱ群・救命)、杏林大学医学部付属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の榊原記念病院(Ⅲ群)、500例以上の府中恵仁会病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北多摩南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,319人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,315床(偏差値33)、高齢者住宅等が6,004床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,549人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム37、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム74、軽費ホーム45、グループホーム39、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,405人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-28%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北多摩南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

北多摩南部医療圏の総人口は、2005年968,714人が、2015年に1,022,646人と6%増加し、2025年の人口が1,046,144人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

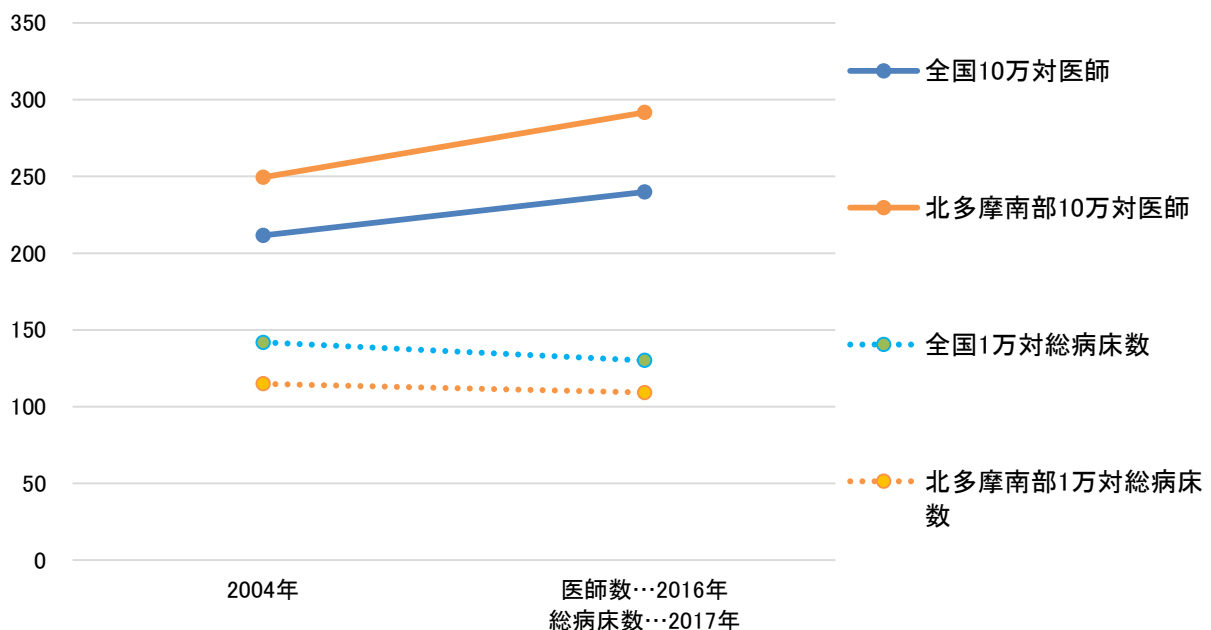
2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.9病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2017年に45(人口10万人当たり4.4病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が796(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2017年に858(人口10万人当たり84診療所(全国平均80)偏差値52)と、62診療所が増加した。

2004年の総病床数が11,134床(人口1万人当たり115(全国平均142)偏差値45)であったが、2017年に11,168床(人口1万人当たり109(全国平均130)偏差値46)と、34床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

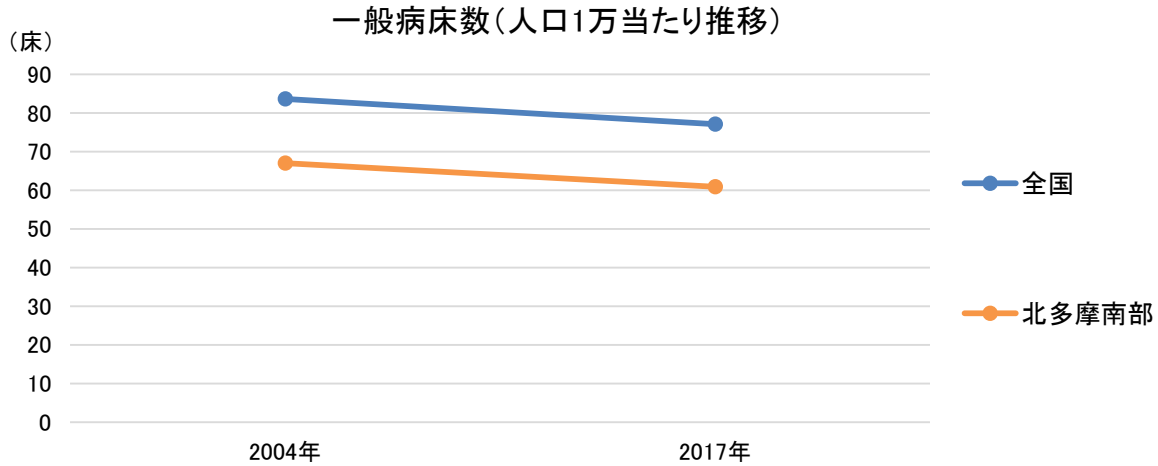
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,416人(人口10万人当たり249人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2016年に2,983人(人口10万人当たり292人(全国平均240人)偏差値56)と、567人の増加、率にして23%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



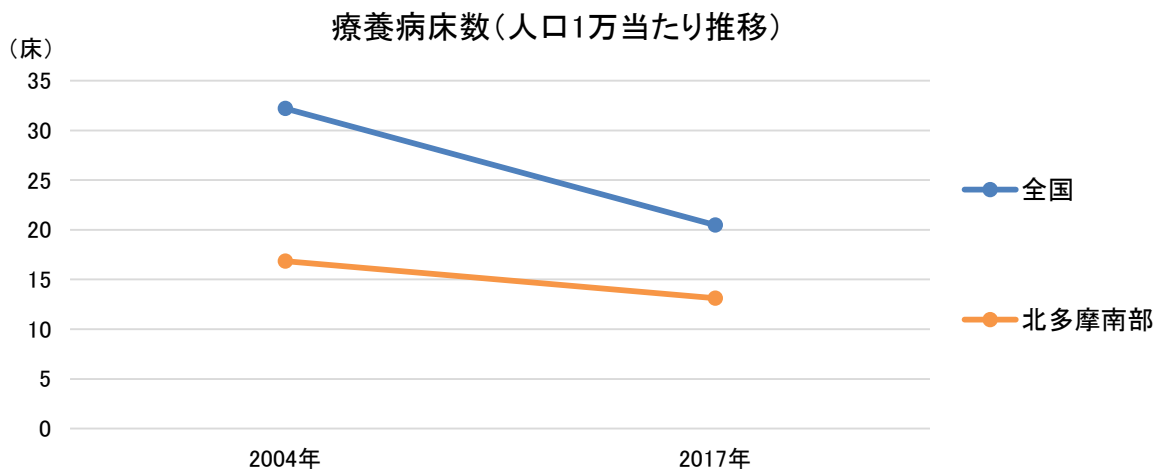
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,495床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2017年に6,227床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、268床の減少、率にして4%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



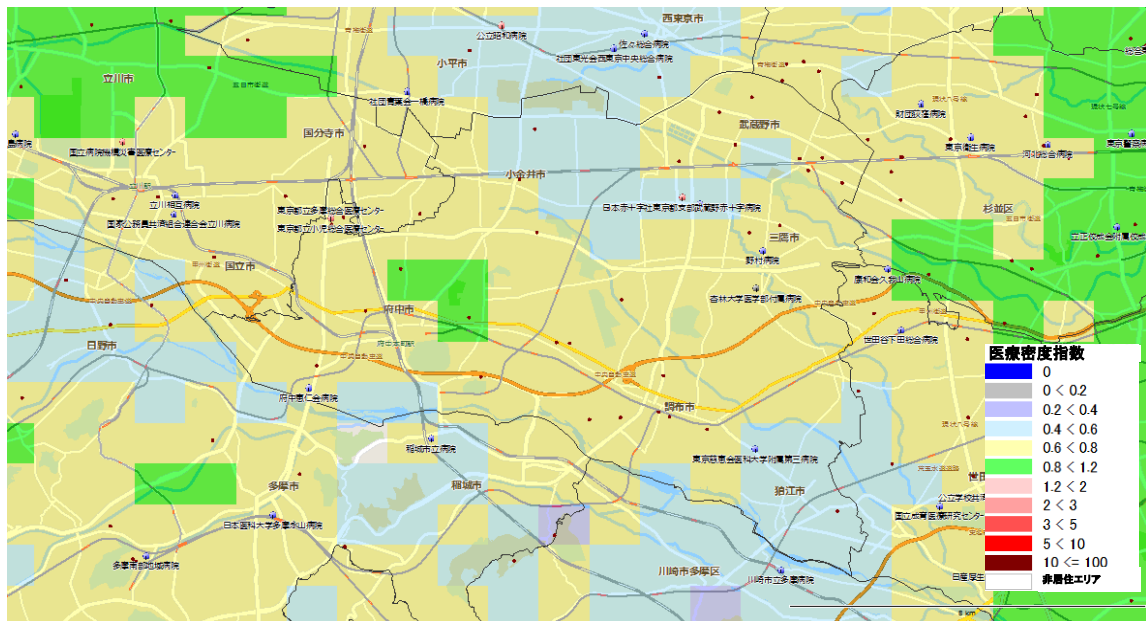
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,216床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2017年に1,407床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均20)偏差値44)と、191床の増加、率にして16%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



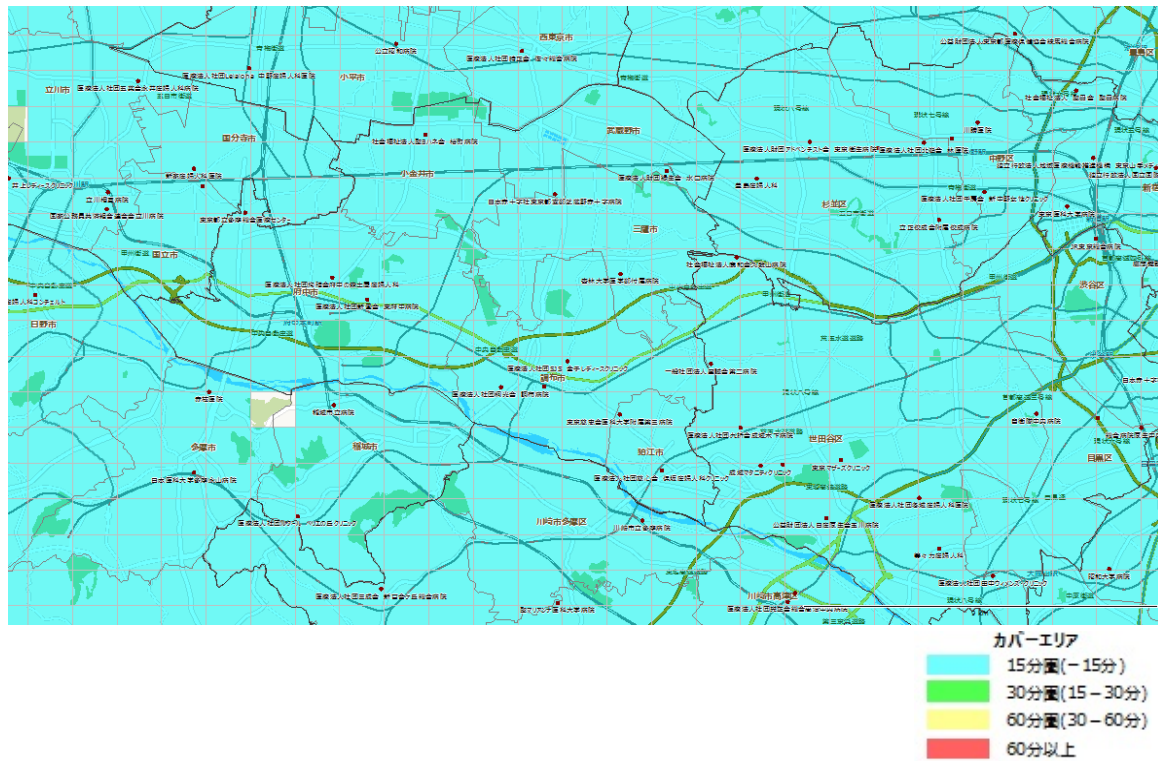
(北多摩南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-11-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

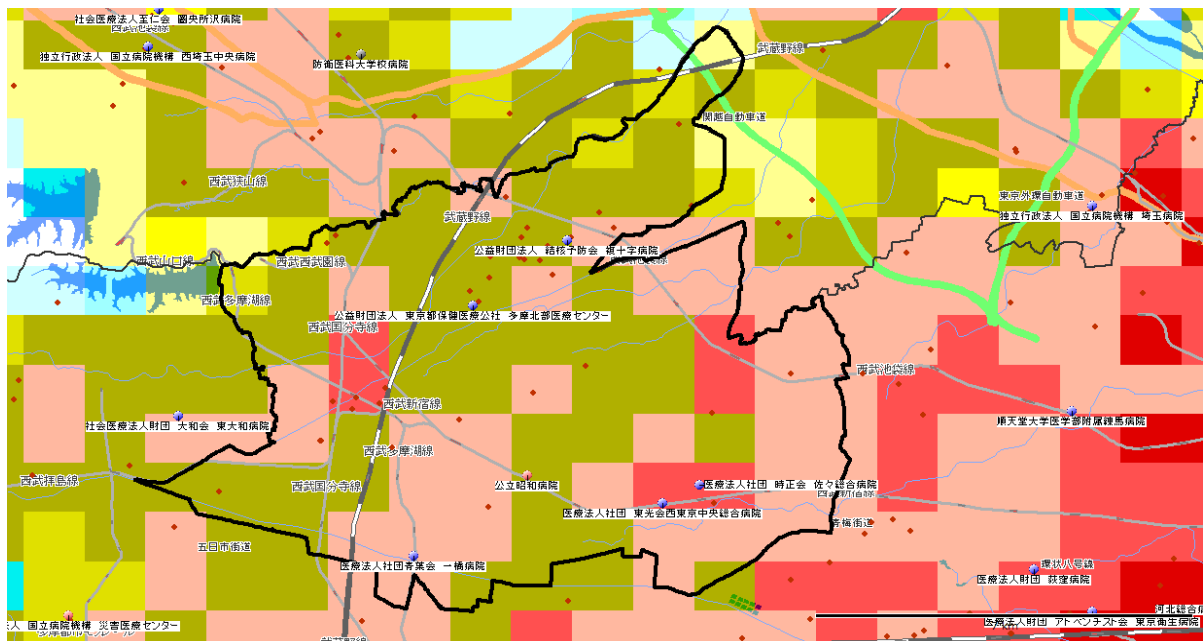


13-12. きたたまほくぶ北多摩北部医療圏

構成市区町村 [小平市](#) [東村山市](#) [清瀬市](#) [東久留米市](#)
[西東京市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(北多摩北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北多摩北部(小平市)は、総人口約731千人(2015年)、面積77km²、人口密度は9,560人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北多摩北部の総人口は2025年に728千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に708千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の90千人が、2025年にかけて118千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には128千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北多摩北部の一人当たり医療費(国保)は318千円(偏差値43)、介護給付費は245千円(偏差値48)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北多摩北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数は0.81で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。北多摩北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の公立昭和病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の複十字病院(Ⅲ群)、西東京中央総合病院(Ⅲ群)、佐々総合病院(Ⅲ群)、多摩北部医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北多摩北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,258人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5,241床(偏差値47)、高齢者住宅等が4,017床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,935人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム58、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,037人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北多摩北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

北多摩北部医療圏の総人口は、2005年707,319人が、2015年に731,469人と3%増加し、2025年の人口が728,025人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

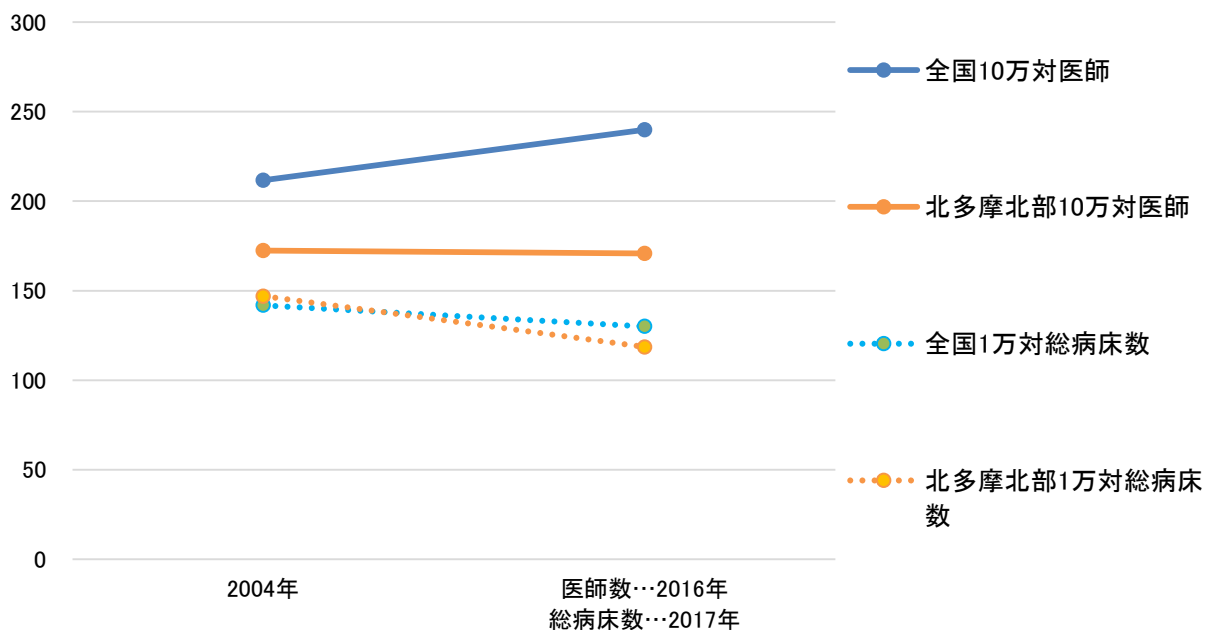
2004年の病院数が45(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2017年に41(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、13年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が465(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2017年に474(人口10万人当たり65診療所(全国平均80)偏差値42)と、9診療所が増加した。

2004年の総病床数が10,392床(人口1万人当たり147(全国平均142)偏差値51)であったが、2017年に8,675床(人口1万人当たり119(全国平均130)偏差値48)と、1,717床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,219人(人口10万人当たり172人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に1,249人(人口10万人当たり171人(全国平均240人)偏差値42)と、30人の増加、率にして2%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

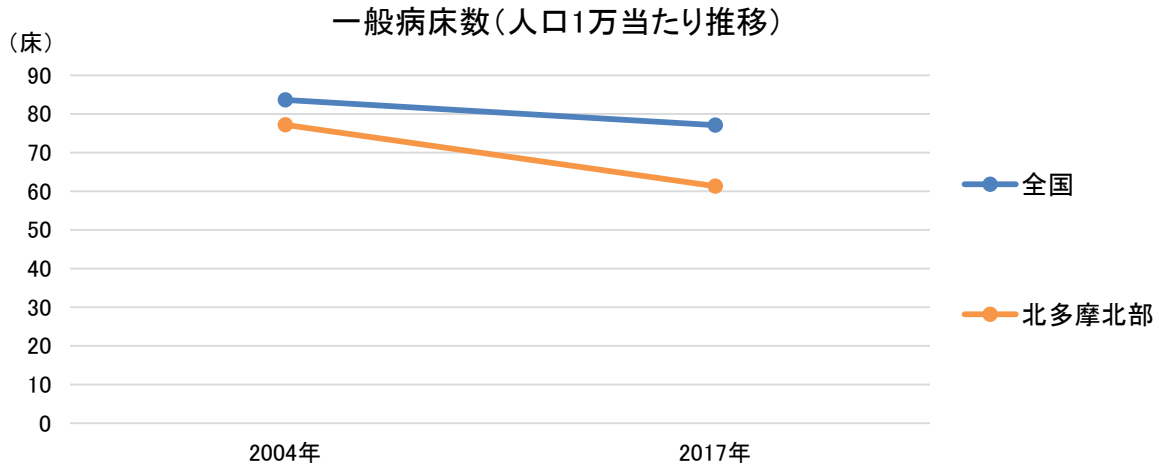
人口当たり医師数・総病床数の推移



13.東京都(2018年版)

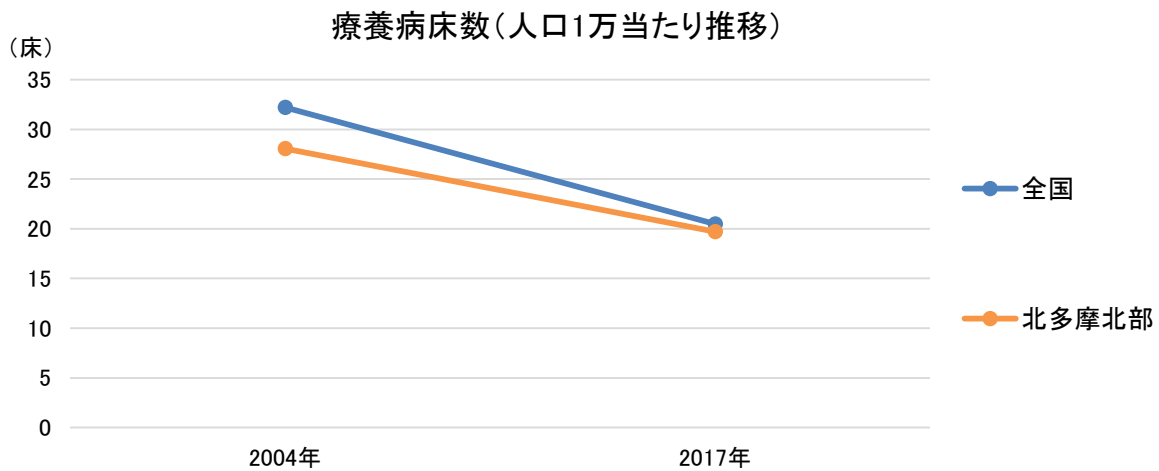
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,462床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2017年に4,488床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、974床の減少、率にして18%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



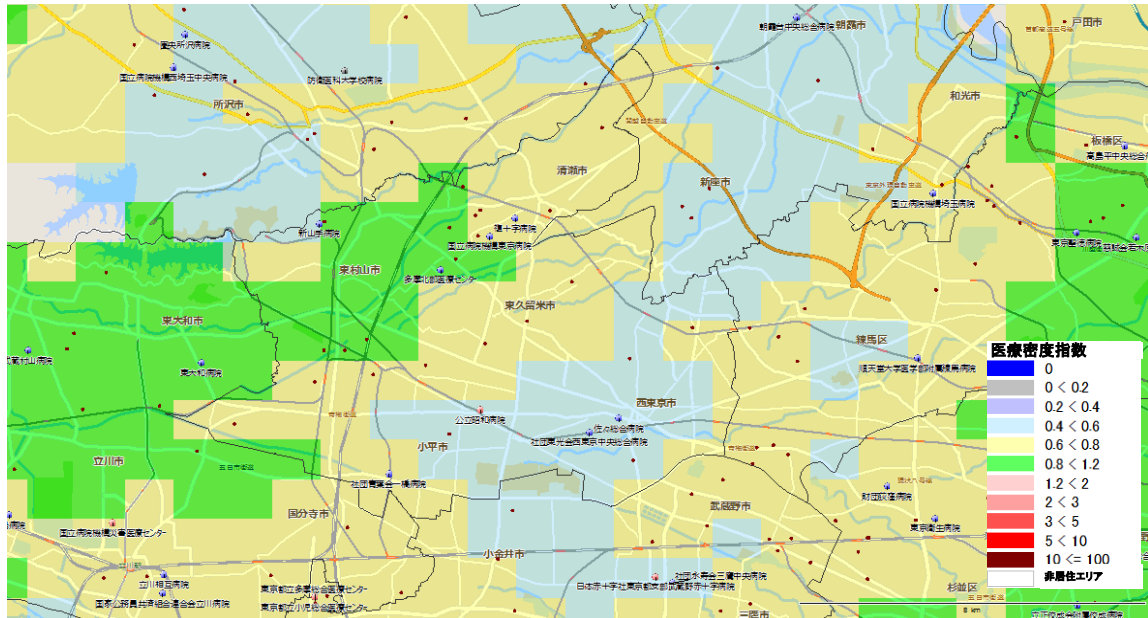
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,535床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2017年に1,781床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値49)と、246床の増加、率にして16%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



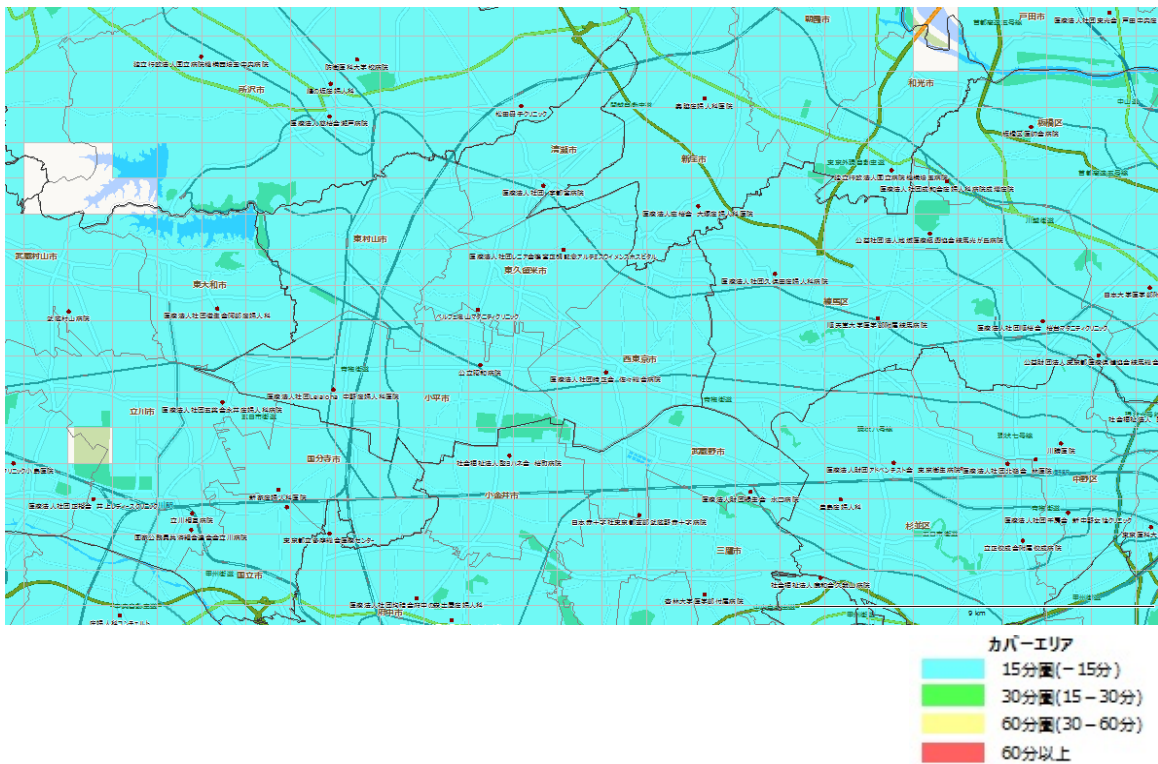
(北多摩北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-12-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-12-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

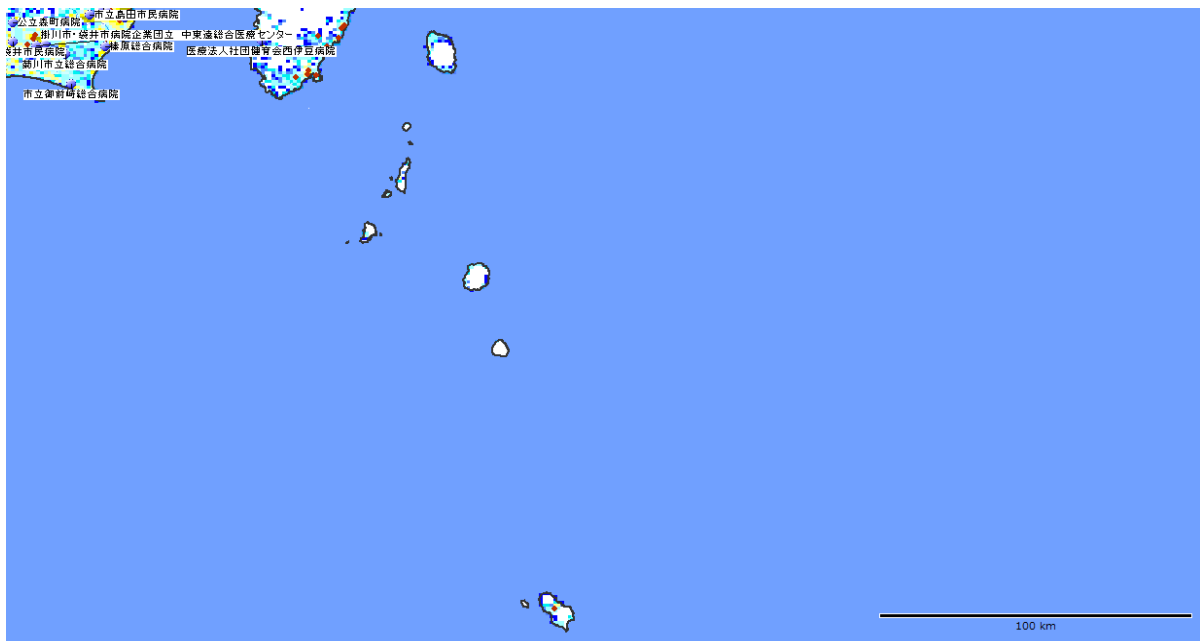


13-13. ^{とう}島しょ医療圏

構成市区町村 [大島町](#) [利島村](#) [新島村](#) [神津島村](#)
[三宅村](#) [御蔵島村](#) [八丈町](#) [青ヶ島村](#)
[小笠原村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(島しょ医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 島しょ(大島町)は、総人口約26千人(2015年)、面積399km²、人口密度は66人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 島しょの総人口は2025年に23千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に18千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の4千人が、2025年にかけて5千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 島しょの一人当たり医療費(国保)は322千円(偏差値44)、介護給付費は257千円(偏差値51)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 島しょの一人当たり急性期医療密度指数は0.18、一人当たり慢性期医療密度指数は0.37で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が35(病院医師数31、診療所医師数51)と、総医師数は少ないが、病院医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は35と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は27で、一般病床は非常に少ない。全身麻酔数は0件である。島しょには、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 療養病床は0である。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値32と非常に少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 島しょの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、358人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が319床(偏差値60)、高齢者住宅等が39床(偏差値29)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、254人(75歳以上1,000人当たりの偏差値32)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設なし(偏差値12)、特別養護老人ホーム89、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム32、サ高住40である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、42人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(島しょ医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

島しょ医療圏の総人口は、2005年28,744人が、2015年に26,491人と8%減少し、2025年の人口が22,699人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

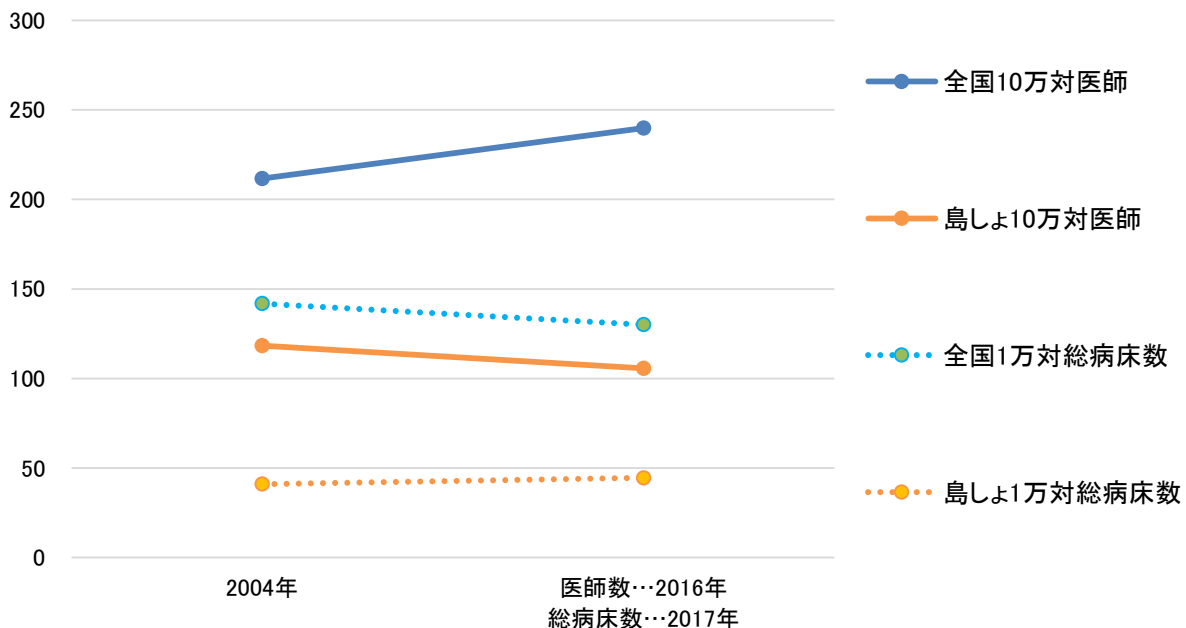
2004年の病院数が1(人口10万人当たり3.5病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2017年に1(人口10万人当たり3.8病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が18(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2017年に20(人口10万人当たり75診療所(全国平均80)偏差値48)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が118床(人口1万人当たり41(全国平均142)偏差値32)であったが、2017年に118床(人口1万人当たり45(全国平均130)偏差値34)と、増減がなかった(全国平均7%の減少)。

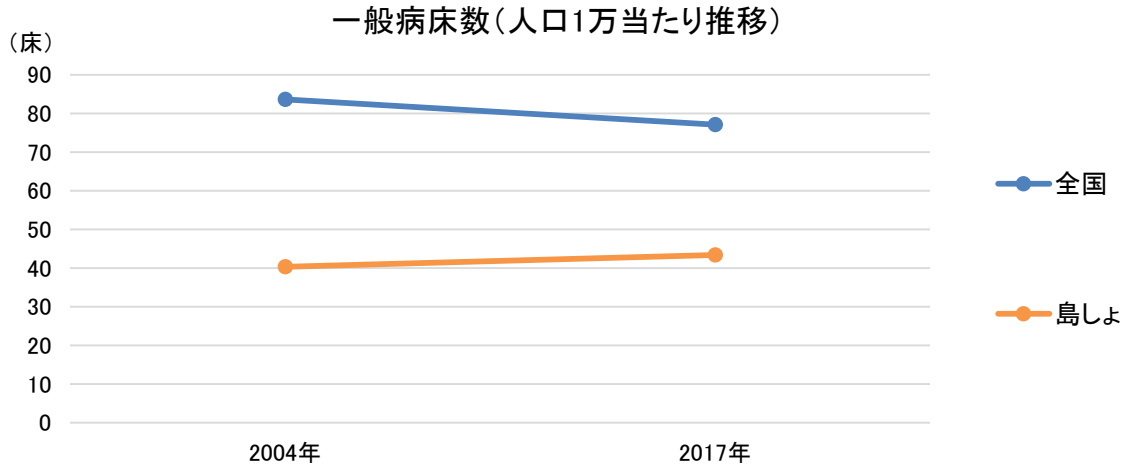
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が34人(人口10万人当たり118人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2016年に28人(人口10万人当たり106人(全国平均240人)偏差値35)と、6人の減少、率にして18%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移

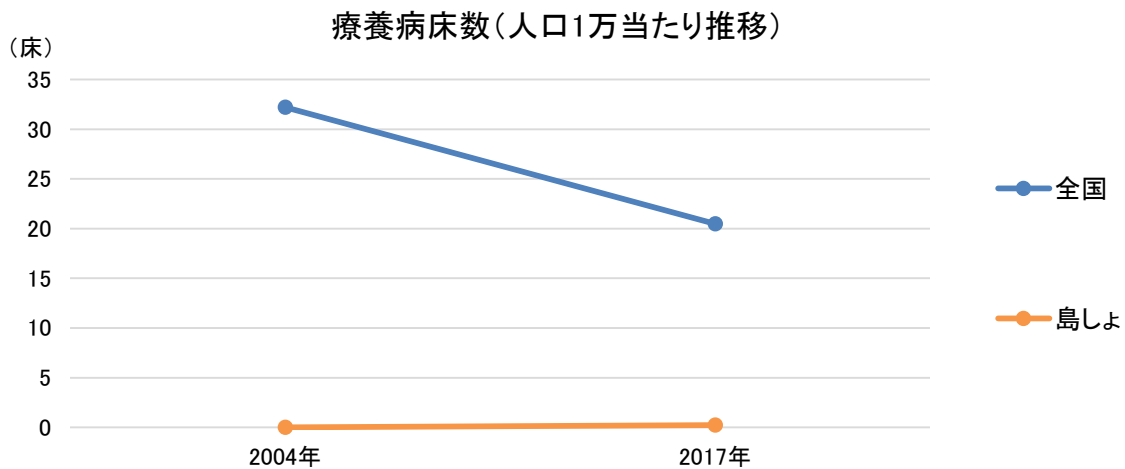


【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が116床(人口1万人当たり40(全国平均84)偏差値35)であったが、2017年に115床(人口1万人当たり43(全国平均77)偏差値37)と、1床の減少、率にして1%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。

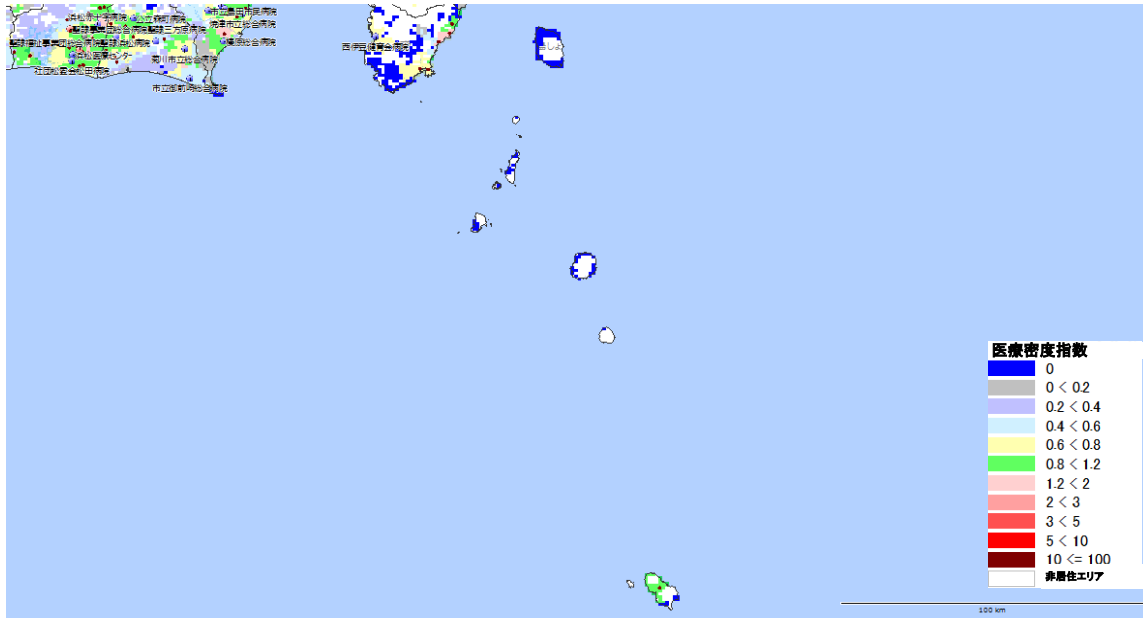


【療養病床(〃)推移】



(都しよ医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-13-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-13-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400））

